

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(平成25年度 国庫補助事業)

平成27年3月

岩手県教育委員会

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(平成25年度 国庫補助事業)

岩 手 県 教 育 委 員 会

序

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波から既に4年が経過したところであり、本県では、昨年、震災により発生したがれきと津波堆積物の処理が完了し、三陸沿岸の交通の柱となる三陸鉄道が完全復旧を果たすなど、着実に復興に向けた歩みが進んでおります。

当教育委員会では復興事業に伴う埋蔵文化財調査の増加に対応するため、平成24年度より文化庁の調整の下、全国の自治体から専門職員の派遣をいただいております。今年度も12道府県より支援を受け、埋蔵文化財調査の円滑な実施に努めてまいりました。

『岩手県内遺跡発掘調査報告書』は、県内に所在する遺跡の周知並びに開発事業との調整の中で行った諸調査の記録を目的として、平成元年度から当教育委員会が年次発刊してきたものです。本書には、平成25年度に実施した発掘調査、試掘及び分布調査のうち、復興関連事業を除いた通常事業に係る調査成果をまとめております。本書が広く活用され、埋蔵文化財保護に役立てば幸いです。

最後になりましたが、調査及び報告書作成に御指導と御協力をいただきました関係機関各位に厚く感謝申し上げます。

平成27年3月

岩手県教育委員会

教育長 高橋嘉行

目 次

序

例言

凡例

I 発掘調査

1	一関遊水地事業（第2管理用通路）（小島館（古館）遺跡）	2
2	地域連携道路整備事業飯岡工区（大宮遺跡）	6
3	岩手県企業局大規模太陽光発電所建設事業（相去遺跡）	9
4	地域連携道路整備事業（赤川II遺跡）	11
5	経営体育成基盤整備事業六原地区（町の内道下遺跡・町の内道上遺跡）	51
6	経営体育成基盤整備事業和賀中部第四地区（伍大坂II遺跡・六軒遺跡）	55
7	経営体育成基盤整備事業和賀中部岩崎地区（本郷野遺跡）	61

II 試掘調査

1	一関遊水地事業（第2管理用通路）（館岡II遺跡・小島館（古館）遺跡）	68
2	畠地帯総合整備事業（担い手育成型）湯田地区（段ノ越遺跡）	70
3	一般国道456号閔口地区交通安全施設整備事業（上野々遺跡）	72
4	一般国道340号和井内地区地域連携道路整備事業（和井内西遺跡）	74
5	主要地方道重茂半島線千鶴地区地域連携道路整備事業（千鶴IV遺跡）	75
6	災害復旧事業白浜（鶴）地区（向山遺跡）	76
7	経営体育成基盤整備事業石山地区（大日前遺跡）	77
8	経営体育成基盤整備事業荻ノ窪地区（小十文字遺跡・石行遺跡）	78
9	経営体育成基盤整備事業古城2期地区（中畠城遺跡）	80

調査一覧表

1	発掘調査一覧	83
2	試掘調査一覧	84
3	分布調査一覧	86
4	工事立会一覧	92

報告書抄録

例　　言

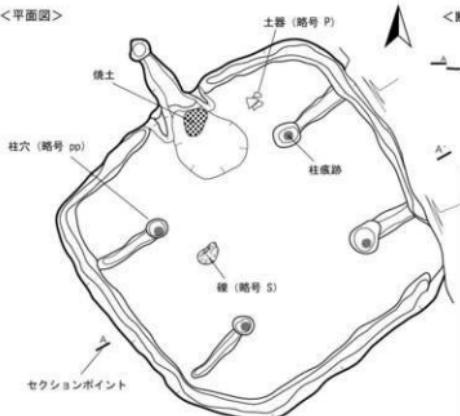
- 1 本書は岩手県教育委員会が平成25年度に実施した県内遺跡調査事業に係る調査成果の概要報告である。
- 2 本事業は岩手県教育委員会が調査主体となり、(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター(以下、県埋蔵文化財センターと略記する) 及び関係市町村教育委員会の協力を得て、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課埋蔵文化財担当が行った。
- 3 遺跡位置図は、国土地理院発行『数値地図25,000(地図画像)』(CD-ROM版)を使用した。
- 4 発掘調査の調査区位置図、試掘調査の調査図等は各事業者から提供された工事計画図・地形図等を原図として作製した。
- 5 遺跡位置図・調査区位置図等においては、遺跡範囲をアミフセ、トレンチ・調査区をシロヌキでそれぞれ示した。
- 6 発掘調査については調査成果の概要を記載した。
- 7 発掘調査の遺物実測図・遺物観察表は遺跡ごとに、試掘調査の遺物実測図は一括して掲載した。
- 8 遺構・遺物名称は次のように略号を付した。掘立柱建物：S B、竪穴住居：S I、土坑・陥し穴状遺構：S K、溝：S D、柱穴：p p、土器：P、石器・礫：S
- 9 遺構・遺物実測図の掲載の縮尺は以下のとおりで、それぞれにスケールを付した。実測図の表現は凡例のとおりである。
遺構：1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/150
遺物（土器）：1/3、1/4、(石器)：2/3、1/3、(本製品)：1/3、(古銭)：1/1
- 10 写真図版は、主な遺構・遺物を選択して掲載した。掲載縮尺は、遺構については任意、遺物については実測図と同寸である。
- 11 平成25年度、復興事業に伴う埋蔵文化財調査の増加が予想されたことから、文化庁の調整の下、当教育委員会では8道府県から各1名、計8名の専門職員の派遣を受けた。平成25年度の調査体制は次のとおりとした。

〈埋蔵文化財担当総括〉 文化財専門員　菅常久
〈予算・経理〉主任　藤村フサ子
〈通常事業担当〉 文化財専門員　千葉正彦・佐々木務・晴山雅光　文化財調査員　栗谷昭博
〈復興事業担当〉 文化財専門員　半澤武彦・鳥居達人・相原伸裕
〔派遣専門職員〕 文化財専門員　宗像公司(北海道)・齊藤慶史(青森県)・宇田川浩一(秋田県)、
上席文化財専門員　安井健一(千葉県)、文化財専門員　武田寛生(静岡県)・北原治(滋賀県)・
横田明(大阪府)・平美典(鹿児島県)
※()は派遣元の道府県
※このほかに、平成25年4月の約1か月間、青森県教育委員会から5名(永嶋豊・浅田智晴・葛城和穂・荒谷伸郎・加藤隆則各氏)による復興事業に伴う調査支援をいただいた。
- 12 本書には、埋蔵文化財緊急調査費国庫補助の交付を受けて実施した通常事業関係調査を収録した。野外調査・室内整理は主として千葉・晴山・栗谷・鳥居・佐々木が担当し、報告書の作成・編集は千葉・晴山・鳥居・高橋が行った。なお、復興事業関係の調査については、第143集として別途刊行した。
- 13 本事業の調査記録及び出土品は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課が保管している。

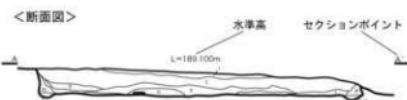
凡 例

遺構図の表現

<平面図>

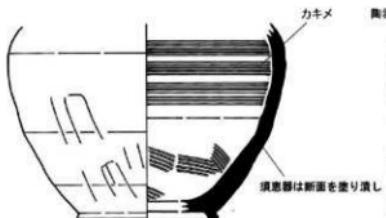
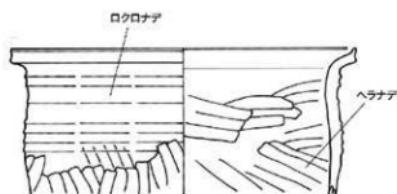
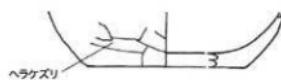
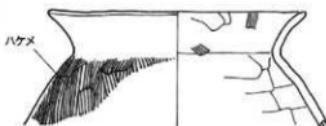


<断面図>

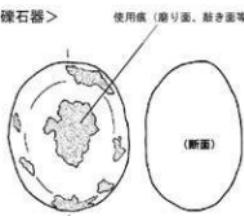


遺物実測図の表現

<土師器・須恵器>

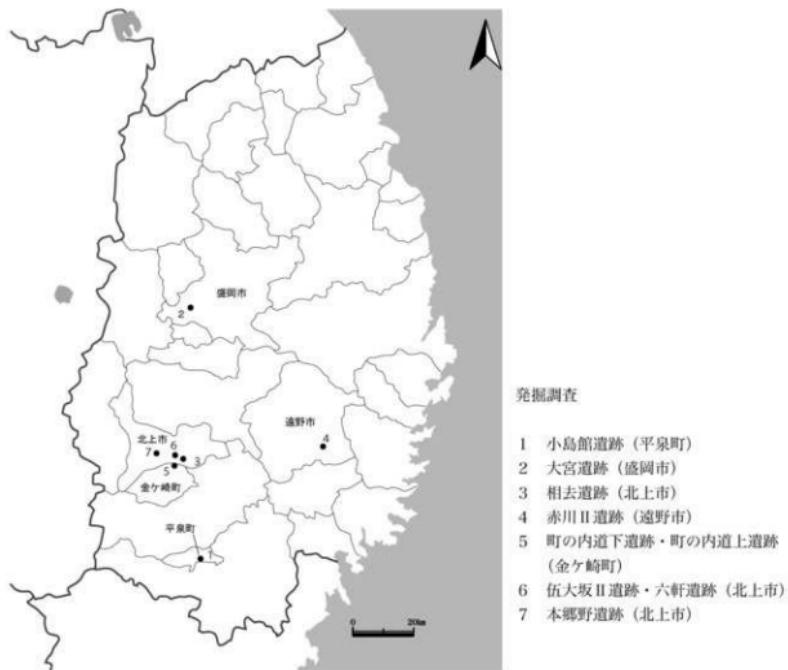


<礫石器>



第1図 凡例

I 発掘調査



第2図 発掘調査位置

1 一関遊水地事業（第2管理用通路）

小島館（古館）遺跡（NE76-1383）

所在 地：西磐井郡平泉町長島字古館

事 業 者：国土交通省東北地方整備局岩手河川国道
事務所

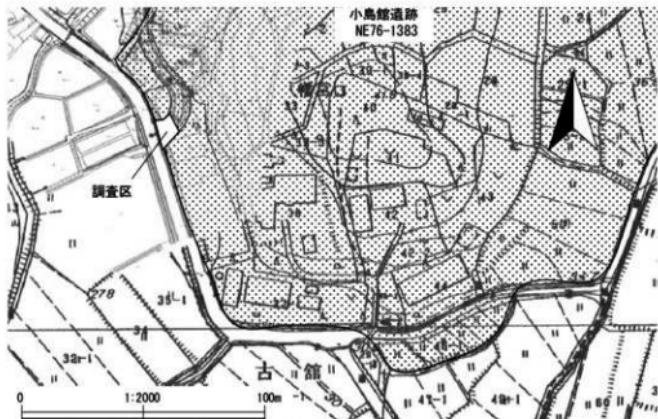
調査期日：平成25年8月21日（水）～8月22日（木）

小島館遺跡は平泉町役場の東約2.7km、北上川左岸の氾濫低地へと舌状に張り出す段丘面に立地している。当遺跡は中世末期の城館跡であり、城主は「小島三右衛門」と伝えられている。遊水地の管理用通路工事に係り、遺跡の一部が工事予定地に含まれることから7月に試掘調査を実施した結果、遺構が検出されたため、今回、検出遺構周辺について発掘調査を行ったものである。調査地は現町道脇の畑地で、現道から1m弱の段差をもって高くなっている。基本層序は次のとおりである。I層：表土・盛土（層厚80～150cm、ビニール片、磁器等の近現代遺物を含む。新旧2期あると思われる）。II層：黒褐色土（層厚0～20cm、ほぼ削平されているが、部分的に残存）。III層：明黄褐色土（層厚不明。砂質で疊を疊らに含む、遺構検出面）。

調査の結果、土坑2基（SK01・02）が検出された。調査区中央付近のSK01は試掘で確認したもので、開口部は1.3m×1.3mの隅丸方形、深さ15cm、埋土はにぶい黄褐色粘質土の単層である。壁の立ち上がりは緩やかで、断面形は浅皿形になっている。また、底面には地山に含まれる巨礫が露出している。一方、南側調査区境に位置するSK02は、一部が調査区外に延びており全体形は不明であるが、開口部平面形は径1.4m程度の円形と推測される。深さは70cmで、壁は底面からほぼ直立している。埋土は黒褐色粘質土の単層でしまり無く、底面直上には大疊が混入している。この2基の埋土から、ロクロかわらけ、石器と思われる扁平な疊が出土した。なお試掘で検出した溝跡は、地山面では



第3図 小島館遺跡位置

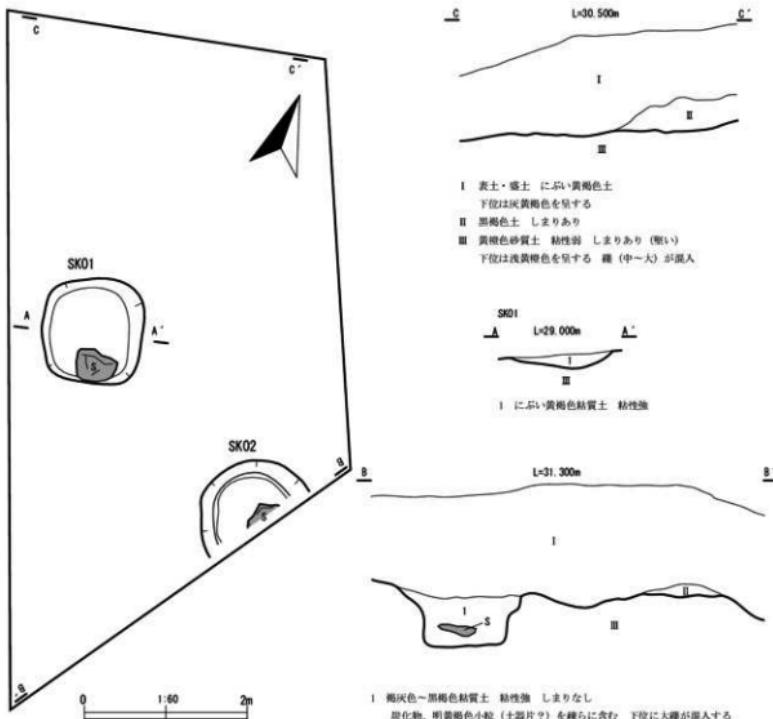


第4図 小島館遺跡調査位置

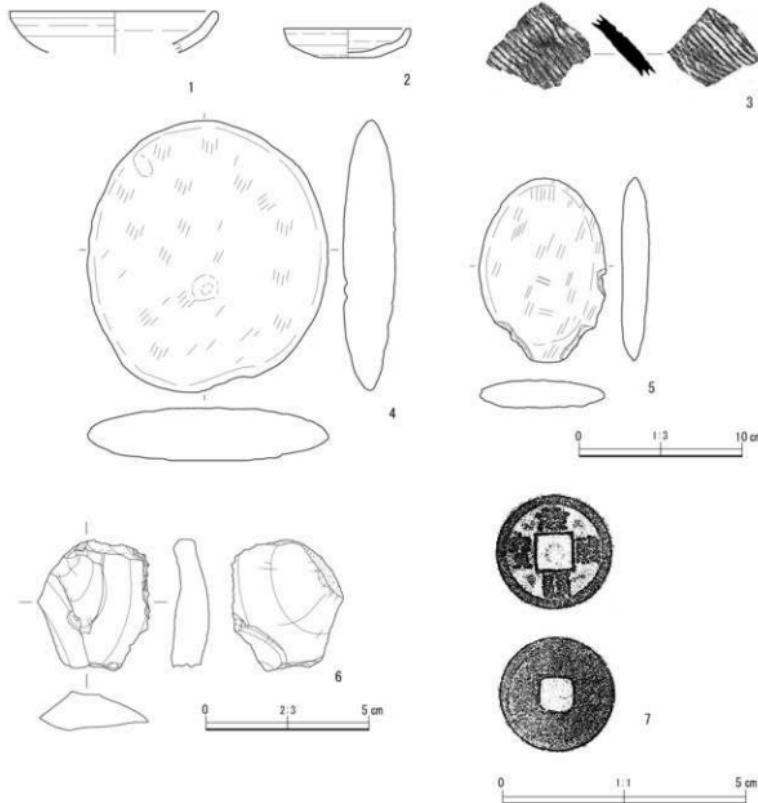
ごく浅い痕跡程度のものであるが、調査区境の土層断面を観察したところ盛土層から掘り込まれていると判明したため、遺構とは認定しなかった。遺物はごく少なく、上述のかわらけ・石器以外に、遺構外・盛土層から須恵器(小型甕)片、北宋銭(元祐通宝、1086年)がそれぞれ1点出土したのみである。

今回調査地は、土層断面を参照するところ地山(IV層)上面まで削平されており、現況の段のほとんどが盛土によって造成されたものと判明した。検出した土坑2基は上部を削平されていると推測される。2基ともにかわらけが出土したことから、12世紀、奥州藤原氏時代に属する可能性がある。

なお、今回調査地よりも奥側(東側)については、本来は斜面上方にあたり削平著しいものと推測し、試掘結果を考えあわせて、調査区を拡張しなかった。また地山面では柱穴等の遺構は確認されなかつたため、削平が中世城館にともなう普請によるものとは思われず、調査地内では中世城館に関連する遺構・遺物はないと判断した。



第5図 小島館遺跡遺構配置・検出遺構



第6図 小島館遺跡出土遺物

第1表 小島館遺跡出土遺物観察表

遺跡名	測定番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm)				特徴
							口径 縦	器高 横	底部径 横	厚さ	
小島館	1 SK01	理土	土師器	かわらけ	口縁部	(13.0)	(2.6)	—	—	—	内外面クロナデ
小島館	2 SK02	理土	土師器	かわらけ	口縁部～底部	(8.0)	1.8	3.4	—	—	内外面ナデ
小島館	3 発掘区	盛土	須恵器	壺	体部	—	—	—	—	—	内外面タタキ
小島館	4 SK01	理土	石器	根石	—	16.8	14.9	3.4	1074.4	中央部に柱軸？あり	
小島館	5 SK02	理土	石器	磨石	—	11.4	7.9	1.8	202.6	—	
小島館	6 SK02	理土	石器	フレーク	—	4.1	3.5	1.1	15.9	真岩	
小島館	7 発掘区	盛土	古銭	元祐通宝	—	2.4	2.4	0.1	3.0	削	



調査状況（北西から）



1号土坑 断面（南東から）

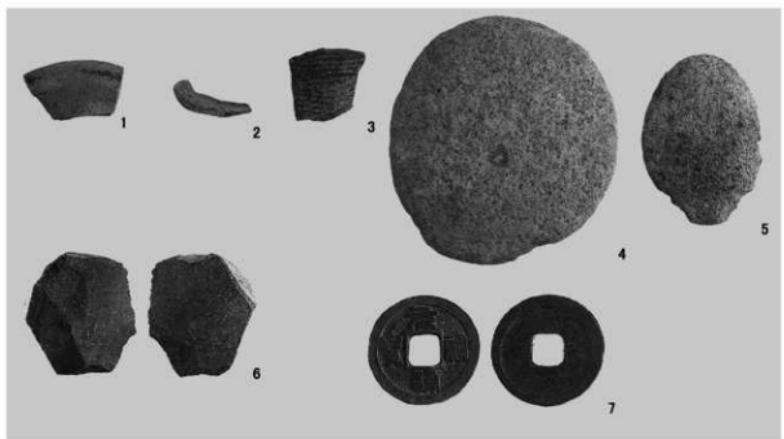


1号土坑 完掘（北から）



2号土坑 完掘（北から）

写真図版1 小島館遺跡検出遺構・調査状況



写真図版2 小島館遺跡出土遺物

2 地域連携道路整備事業飯岡工区

大宮遺跡 (LE16-2035)

所在 地：盛岡市本宮字大宮

事 業 者：盛岡広域振興局土木部

調査期日：平成25年5月7日(火)～5月8日(水)

大宮遺跡は盛岡市役所の西北西約4kmに位置する。

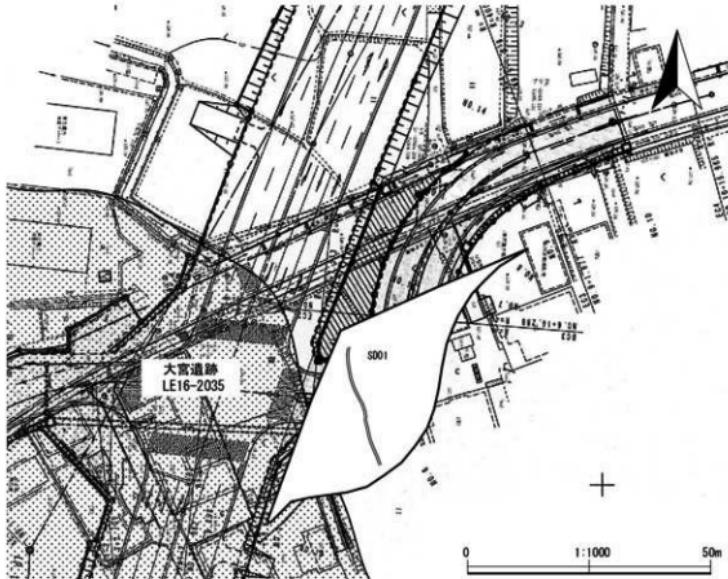
付近は零石川右岸の砂礫段丘低位面に分類されており、現況で宅地・神社地となっている微高地及びその周辺が遺跡範囲とされている。遺跡を貫いて北東-南西方向に走る現道により遺跡範囲は大きく二分されるが、遺跡の主体部分は北西側の大宮神社周辺と推測されている。当遺跡の所在する大宮地区は国史跡志波城跡の東側隣接地であり、当遺跡の周辺には北に大宮北遺跡、東に鬼柳A・B遺跡、南には小林遺跡・水門遺跡等、古代の集落跡が密に分布している。

今回の調査は、県道13号の改築工事に伴うもので、調査区は遺跡範囲の北東縁辺部とその隣接部分の960m²である。調査区は、東側が宅地隣接の畑地、西が水田面であり地形的には二分されている。東側が僅かに標高高く、宅地部分から連続する微高地面に相当すると解される。

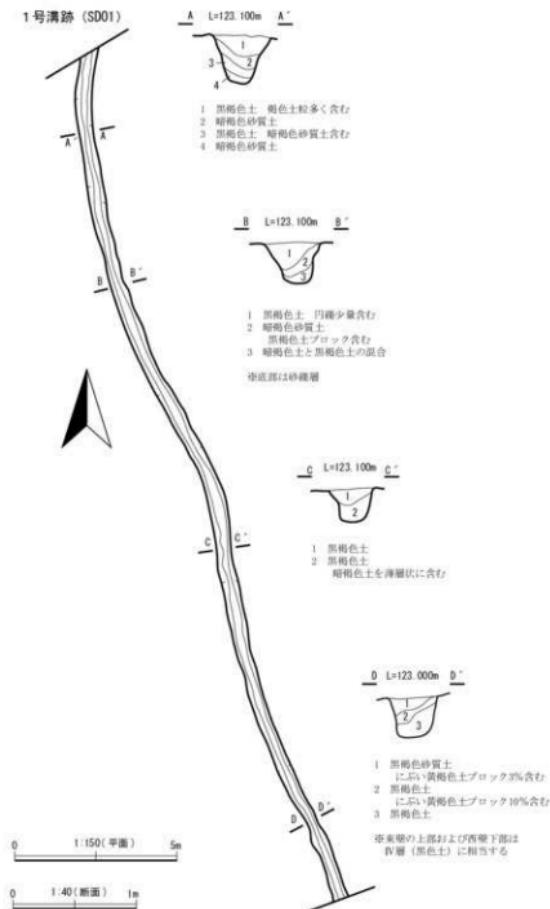
基本層序は次のとおりである。I層：表土・盛土（層厚40～60cm）。II層：黒褐色土（層厚0～20cm）。III層：黄褐色土（層厚0～30cm。地山。遺構検出面）。



第7図 大宮遺跡位置



第8図 大宮遺跡調査位置・遺構配置



第9図 大宮遺跡検出遺構

掘削の結果、東側の高位面は、ごく一部に黒色土（Ⅱ層）が見られたが、大部分は盛土層の下で地山である黄褐色土層（Ⅲ層）が露出する形となっており、削平を被ったと推測される。一方、西側の水田面は西に向けて地山（Ⅲ層）が徐々に落ち込んでおり、礫の混入が著しくなることから、低地的な様相だったと推測される。

検出された遺構は、調査区の中央付近を南北に縦断している溝跡1条である。検出面は主にⅢ層上面である。当溝跡は試掘調査の際に検出されていたもので、調査区東西の境界付近に位置し、旧地形の微高地面縁辺を巡る形であったと推測される。溝跡の確認部分は延長約27m、開口部幅35~50cm、深さ25~40cmを測る。埋土は黒褐色及び暗褐色の砂質土が主体で、高位の東側から流入している。遺物は出土せず、当溝跡の時期は不明である。またその用途について推測できる痕跡も確認されなかった。一方、今回調査区から遺物は全く出土しなかった。なお、表土・盛土層中に赤褐色の微細粒がごく疎らに混入しており、粉碎された土器片とも思われたが、判然としなかった。

以上のとおり、今回調査区からは溝跡が検出されたものの、その性格・時期は不明であり、当地がどのように利用されていたのか、その詳細は不明である。



1号溝跡 平面（北から）



1号溝跡 断面（A-A'）（北から）



1号溝跡 断面（B-B'）（南から）



1号溝跡 断面（C-C'）（南から）

写真図版3 大宮遺跡検出遺構

3 岩手県企業局大規模太陽光発電所建設事業

相去遺跡（ME75-1139）

所在 地：北上市相去町高前壇

事 業 者：企業局経営総務室

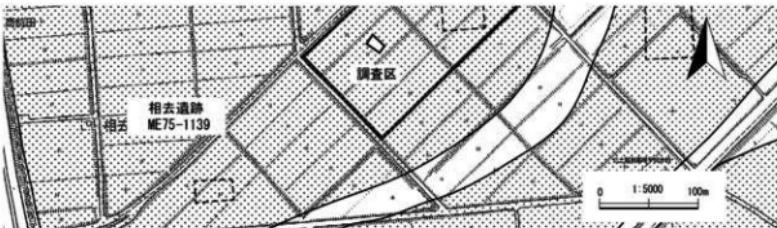
調査日：平成25年6月18日(火)～6月21日(金)

相去遺跡は北上市役所の南西約3.9km、県立北上翔南高校の西南西約0.7kmの牧草地である。調査地の周辺には水田が広がり、北東側には新堤が位置する。昭和48年、水田区画整理に伴って県教委と北上市が相去地区の試掘調査及び一部の発掘調査を行い、今回調査地部分で竪穴住居跡や方形土坑等を検出している。その後、造成工事が行われたことで、遺跡の大部分は壊滅したとされている。平成24年度に大規模太陽光発電所建設が計画されたため、平成25年1月及び3月に試掘調査を行い、陥し穴状遺構1基が検出された（以下、便宜的に「陥し穴」と呼称する）。今回の発掘調査は、当該陥し穴について実施したものである。調査地は遺跡範囲の中央東寄りに位置する。周辺は、現況では南に向かって標高を下げる棚田状に造成されているが、造成前の旧地形では遺跡を南西→北東方向に貫く小河川に向かって南東へと向斜する緩斜面だったと思われる。基本層序は次のとおりである。I層：暗褐色土（層厚20～35cm。表土。しまりなし）。II層：暗褐色土（層厚35～50cm。明黄褐色ブロックを疎らに含む。造成土か）。III層：明黄褐色土（層厚20～40cm。橙色スコリアを疎らに含む。遺構検出面。地山）。IV層：黄橙色土（層厚不明。橙色スコリア40%混入。地山）。陥し穴を再検出して精査を行った。遺構はIII層上面で検出され、最大長3.1m、開口部の最大幅30cm、底面最大幅15cmの溝状を呈する。長軸は概ね南西→北東方向をとり、旧地形の等高線に沿う形だったと推測される。調査地全体が耕地整理の際に削平されているため、底面付近のみしか遺存しないと予想したが、実際には深さ80～90cmを測り、遺存状態は良好であった。壁の上位はIV層に相当するが、壁の中～下位及び底面はIV層を掘り込んでいる。埋土は概ね3層に大別され、中間に黄褐色土（III層由来、壁の崩落土）を挟んで、その上下に黒褐色土が堆積しており、自然に埋没した様相を示している。埋土中からの出土遺物はなかった。

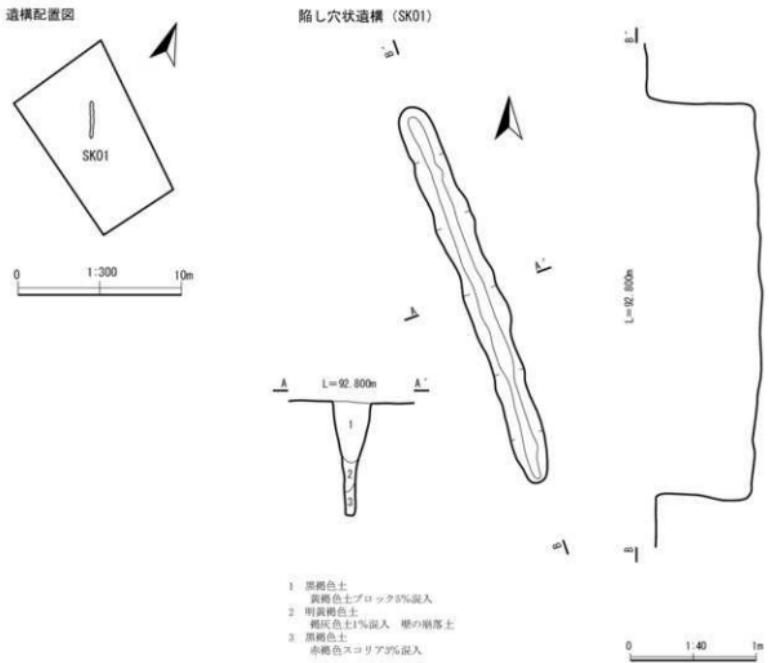
当陥し穴は出土遺物を欠き、所属時期は明確ではない。かかる陥し穴については、これまでの調査事例から縄文時代の遺構であると見做されており、今回調査した陥し穴についても該期の遺構である可能性が高いものと思われる。また、陥し穴は複数基がセットで配置される例が多いことから、今回調査でも周辺に他の陥し穴がないか確認したが検出されなかった。



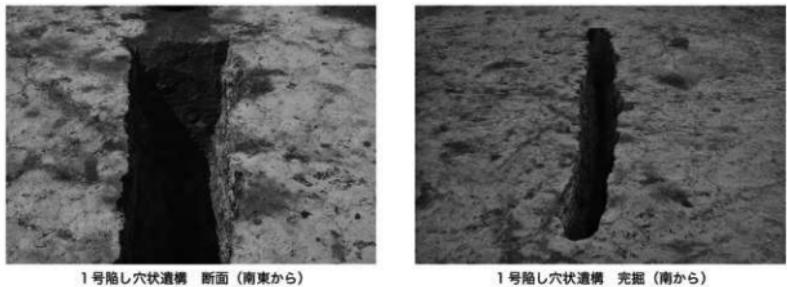
第10図 相去遺跡位置



第11図 相去遺跡調査位置



第12図 相去遺跡遺構配置・検出遺構



写真図版4 相去遺跡検出遺構

4 地域連携道路整備事業

赤川II遺跡 (MF56-2180)

所 在 地：遠野市上郷町板沢地内

事 業 者：県南広域振興局土木部

調査期日：平成25年7月22日(月)～8月20日(火)

平成25年9月9日(月)～10月1日(火)

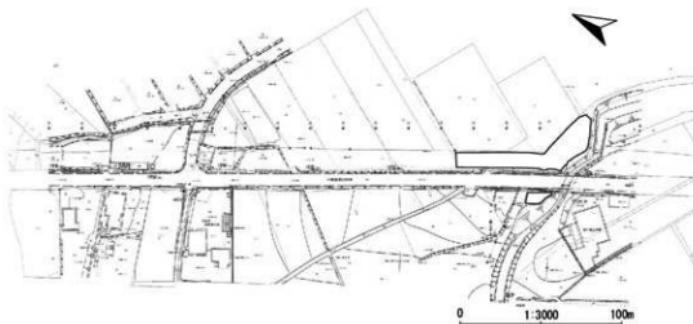
赤川II遺跡は、遠野市役所の南東約5.1km、同市上郷町板沢地内に位置する。今回の調査は国道283号線の道路拡幅及び河道掘削の工事に係るものである。調査に先立つ試掘調査で、従来の遺跡範囲の隣接地より長梢円形の陥し穴状遺構（以下、便宜的に「陥し穴」と呼称する）が検出され、拡幅部分について遺構の精査を行ったところ、陥し穴の密集度とその範囲より、河道付替え部分まで遺構が広範することが明確となり、追調査を行った。調査期間は、上記の通り、二期に分かれ、第一次調査がお盆にかかる一週を除き、延べ17日間と、第二次調査が、延べ15日間である。周辺の地形は、扇状地に区分されている（『北上山地系開発地域 土地分類基本調査 遠野』岩手県1970）が、当遺跡付近は扇状地上を西流する赤沢川によって開析が進んでいる。調査地は、赤沢川の右岸に接し、遺跡の載る地形面は赤沢川により浸食されてきたと考えられる。

調査地の基本層序は、I層：表土・耕作土（層厚20～30cm）、II層：黒褐色土（層厚10～20cm）、III層：褐色土（層厚0～10cm・バミスを含む）、IV層：黄褐色粘質土（30cm以上・地山・遺構検出面）、V層：灰白色粘質土（30cm～）、VI層：暗灰色砂礫（30cm～）となっており、III層は、主に第二次調査区でみられた。

調査の結果、第一次調査（道路拡幅部分）では土坑1基（SK5・時期不明）、平面形状の異なる陥し穴34基（SK1～4・6～35）を検出、第二次調査では、時期の新しい土坑1基（SK303）、陥し穴30基（SK201～228・301・302）計66基が確認された。陥し穴は、その形態から概ね3種類に分けられ



第13図 赤川II遺跡位置



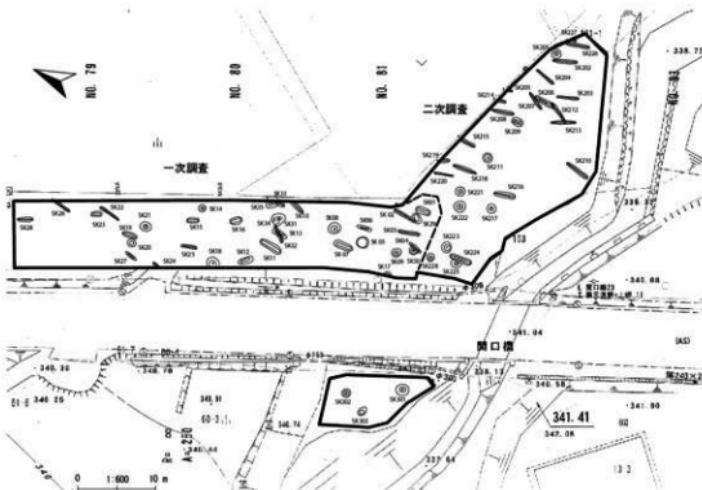
第14図 赤川II遺跡調査位置

る。開口部の平面形が溝形のもの【①】、長楕円形のもの【②】、円形のもの【③】、の3類型である。

①に属するものは28基である。長さ200~370cm、幅40~70cm、深さ40~110cmを測る。埋土上位に黒色土が堆積し、中~下位には縦まりのない黄褐色粘土が堆積し、底に黒色土が堆積するものが多い。また、埋土の大部分が地山系の黄褐色粘土で占められているもの（SK02）や、黒色土で占められているもの（SK220）などもみられる。②に属するものは17基である。長径160~350cm、短径70~120cm、深さ60~110cmを測る。埋土は、暗褐色や黄褐色を呈するシルトを主体とし、中~下位に黄色バミス粒（中振火山灰と考えられる）を僅かに含んでいる。③に属するものは19基である。径105~200cm、深さ65~115cmを測る。当類のうち規模が大きいもの（SK08・18・31・301）は、理土最上位に中振火山灰が塊状に堆積している。また、SK20を除き、規模の大小に関わらず底面中央付近に「逆茂木」痕と考えられる小穴を伴っている。形態の推移をみると、大型円形は、縄文時代前期前葉には埋没した状況にあり、構築時期は縄文時代早期~前期初頭と推測される。埋土上~中位に黄色バミス粒を含む小型円形と長楕円形では、重複関係（SK224・225）より、小型円形が古く長楕円形が新しい。II層起源の黒褐色土を埋土とする溝形が最も新しく、縄文時代中期以降と推測される。

調査区内、形状別陥し穴出現率（個体数）、溝形43.75%、楕円形（小判形）26.56%、円形29.69%で、溝形が多く、配置は広範にわたる。旧地形、南側河道域は低位で、二次調査区より南向き緩斜面となる。円形や楕円形は、高位段丘面から段丘縁辺にみられるが、溝形は南側低位河道域付近までみられる。溝形・楕円形の長軸はおよそ南北方向が多く、東西に連設するものが多い。以上より、時期ごとのおおよその獵道が推測される。

今回の調査地は、縄文時代早期以降、長期に亘って狩場として利用されていたことが判明した。調査地の東側畠地が、遺跡の主要部と考えられ、陥し穴を設けた人々のムラが存在している可能性がある。



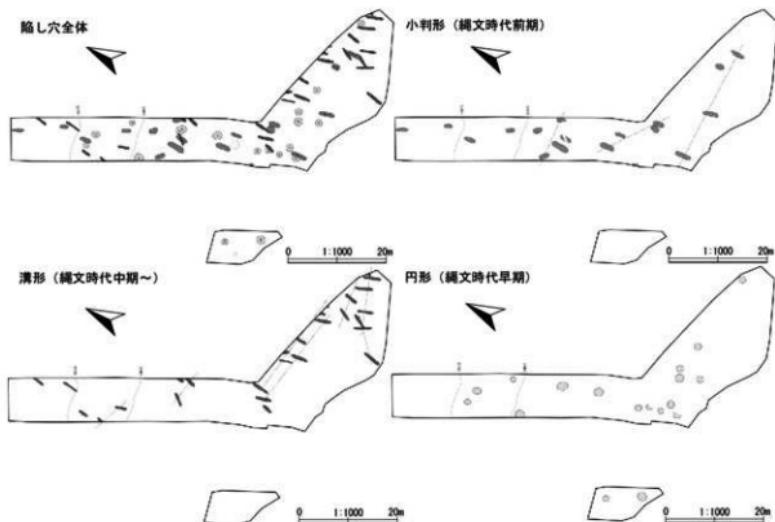
第15図 赤川Ⅱ遺跡遺構配置

【一次調査】

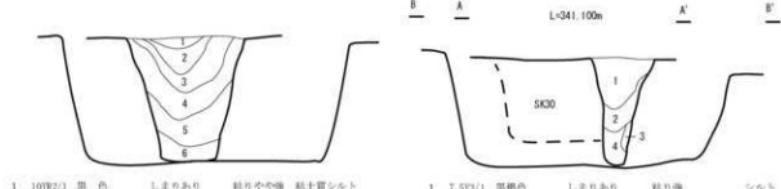
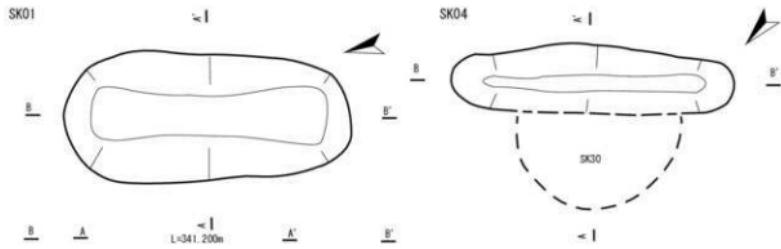
北側の一次調査では、検出された遺構35基の内、陥し穴が34基と9割7分以上を占める。陥し穴は先述の通り、形状より大きく3種に分類され、溝形が12基、楕円形（小判形）が13基、円形が9基検出された。SK5は、平面円形の平底で、壁面内傾するフラスコ状の底の部分にも見えるが、検出状況から明確でない。遺構内に土器片など遺物は確認されず、溝形陥し穴の埋土では、中位に崩落土と思われる締まりのない褐色粘土層が、9割以上の遺構にみられる。形状同種の重複は、みられず、溝形と楕円形（SK13・32）の他は、円形と溝形もしくは円形と楕円形である。

【二次調査】

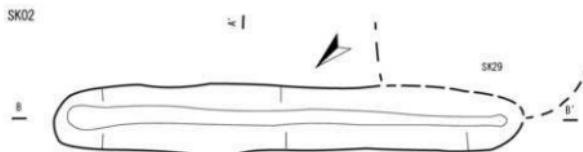
南側の二次調査では、検出された遺構31基の内、陥し穴が30基と9割6分以上を占める。陥し穴は先述の通り、形状より大きく3種に分類され、溝形が16基、楕円形（小判形）が4基、円形が10基検出された。形状同種の重複する陥し穴（SK212・213）がみられ、軸方向が違い、時期差がみられる。その他、円形と楕円形や溝形と楕円形の重複は一次調査同様にみられる。遺構内から土器片など遺物は確認されていない。



第16図 赤川II遺跡遺構配置（形状別・陥し穴状遺構）



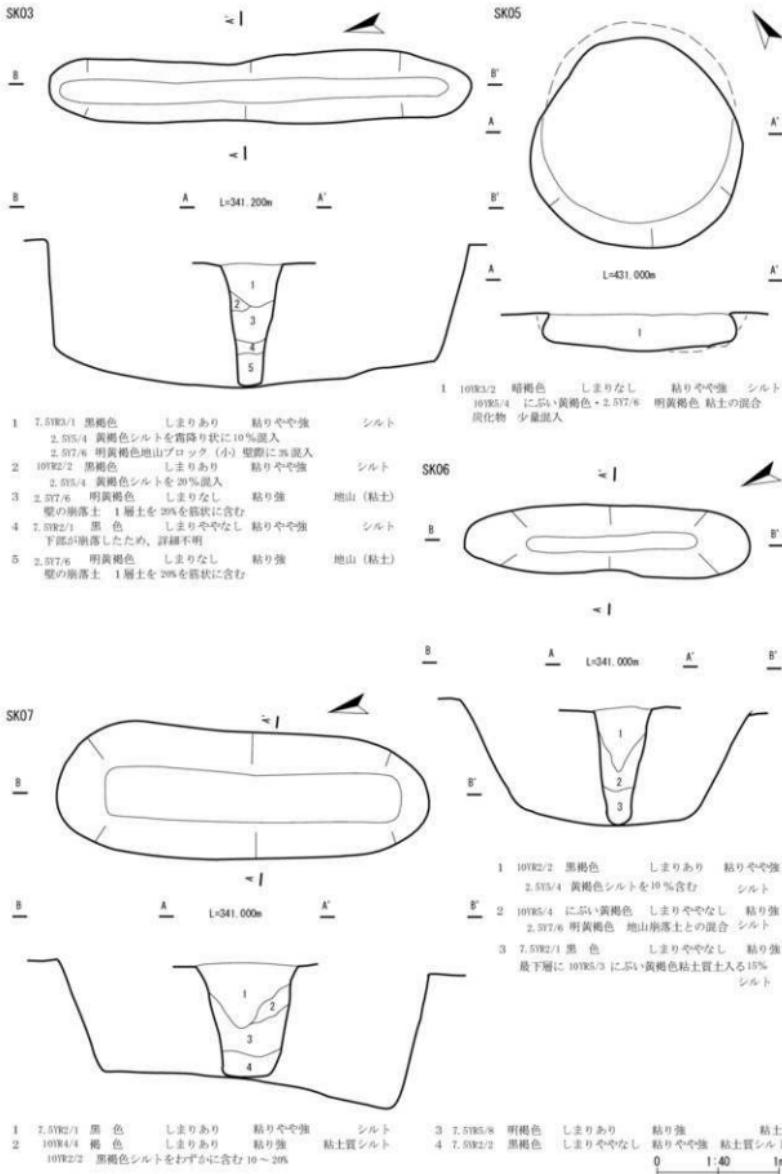
1	10W2/2 黒褐色	しまりあり	粘りやや強	粘土質シルト	1	7.SY3/1 黒褐色	しまりあり	粘り強	シルト
2	10W3/1 黒褐色	しまりあり	粘りやや強	シルト	2	10W4/6 黄褐色/ミヌ校	5% 全体に入る		
3	10W7/3 にふく黄褐色	しまりあり	粘りやや強	シルト	2	10W4/6 黄褐色/ミヌ校	5% 全体に入る		
4	10W3/3 黄褐色	しまりややなし	粘り強	粘質土	3	2.SY7/6 明黄褐色	しまりなし	粘り強	地山(粘土)
5	10W3/6 黄褐色/ミヌ 3%混入	しまりややなし	粘り強	粘質土	4	10W4/4 開灰色	しまりあり	粘りやや強	シルト
	地山 (2.SY8/6 黄褐色粘土) ブロック 10% 主に下位に混入 (箱降伏)								
5	2.SY7/6 明黄褐色	しまりなし	粘り強	地山崩落土					
6	2.SY6/4 にふく黄褐色	しまりややなし	粘り強	地山崩落土					



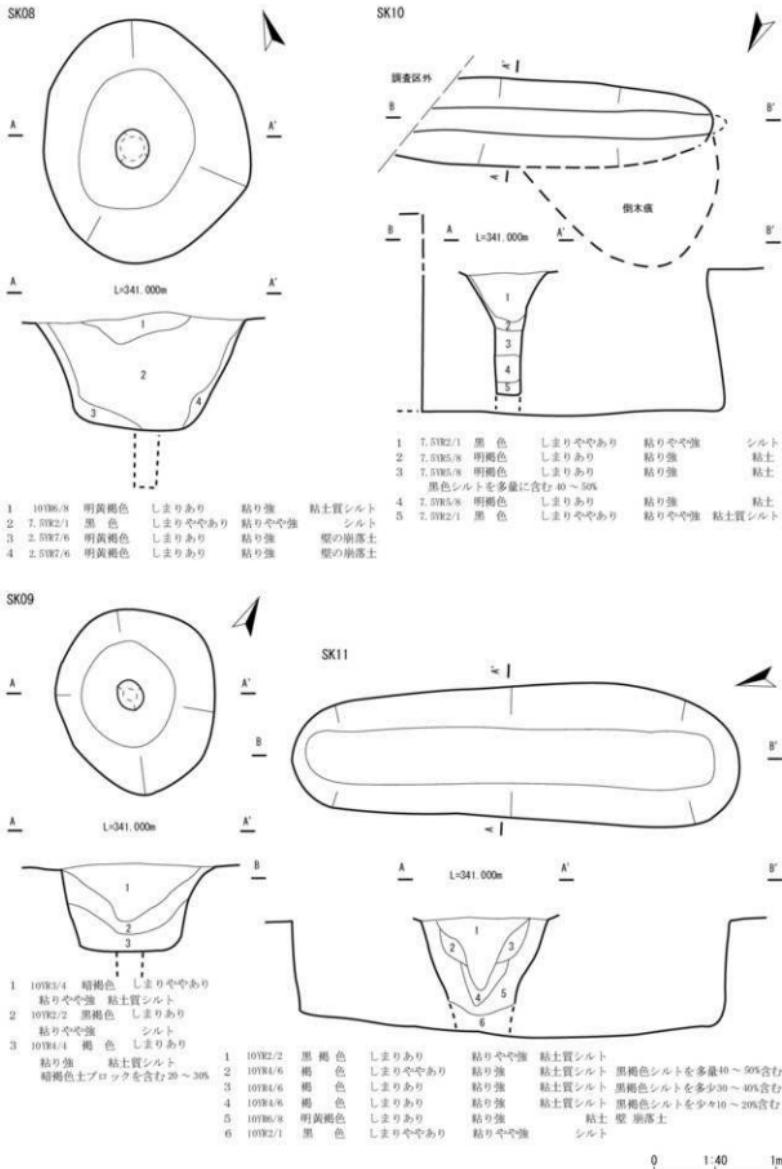
1	2.SY5/4 黄褐色	しまりなし	粘りやや強	粘土質シルト
2	2.SY7/6 明黄褐色	しまりなし	粘りやや強	粘質土
3	2.SY6/4 にふく黄褐色	しまりなし	粘りやや強	粘質土

0 1:40 1m

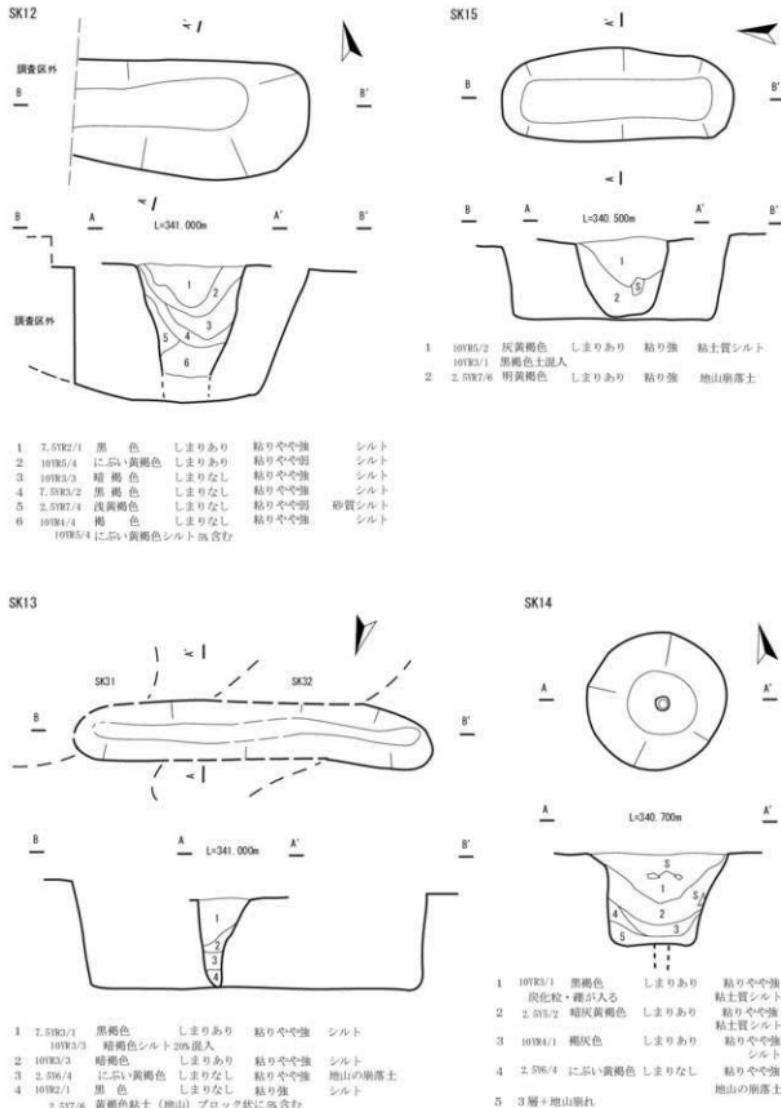
第17図 赤川II遺跡検出遺構（1）



第18図 赤川II遺跡検出遺構(2)

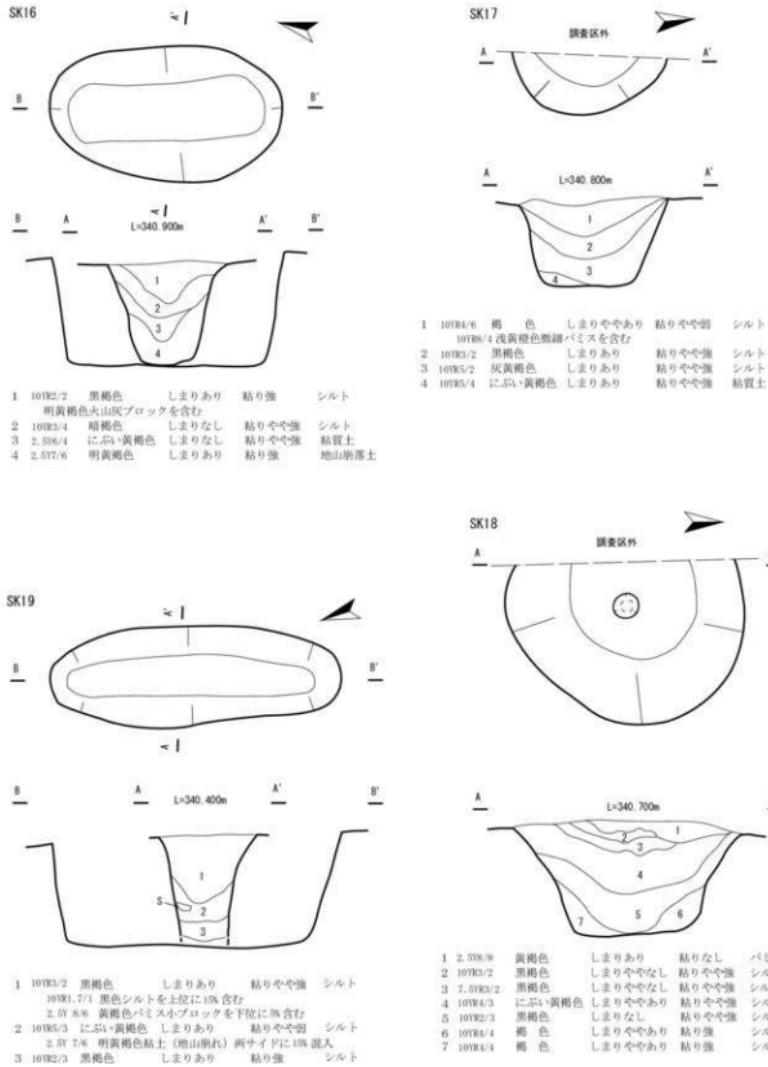


第19図 赤川II遺跡検出遺構（3）

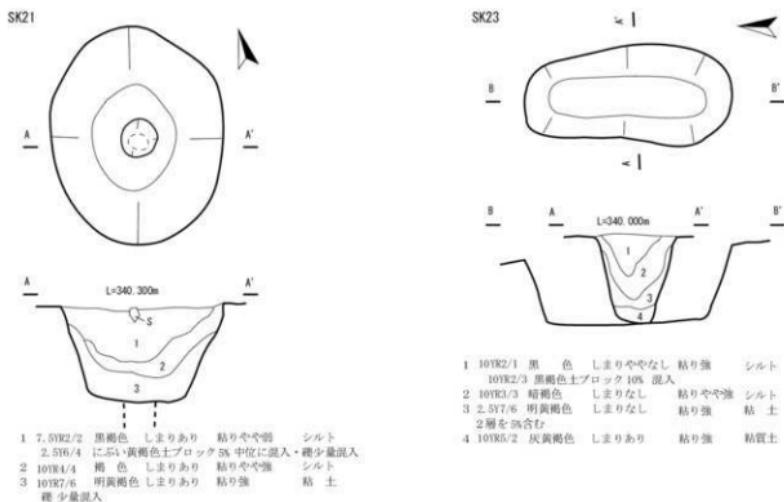
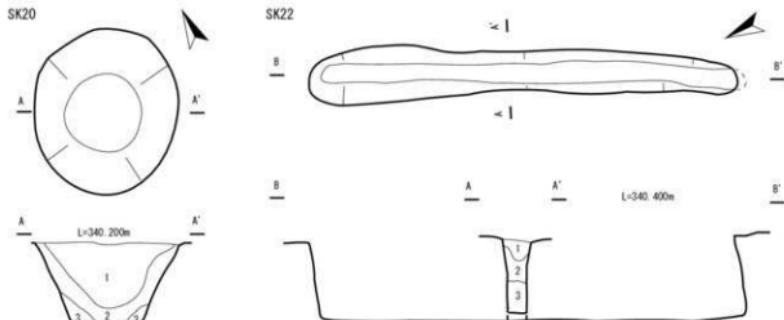


0 1:40 1m

第20図 赤川Ⅱ遺跡検出遺構(4)

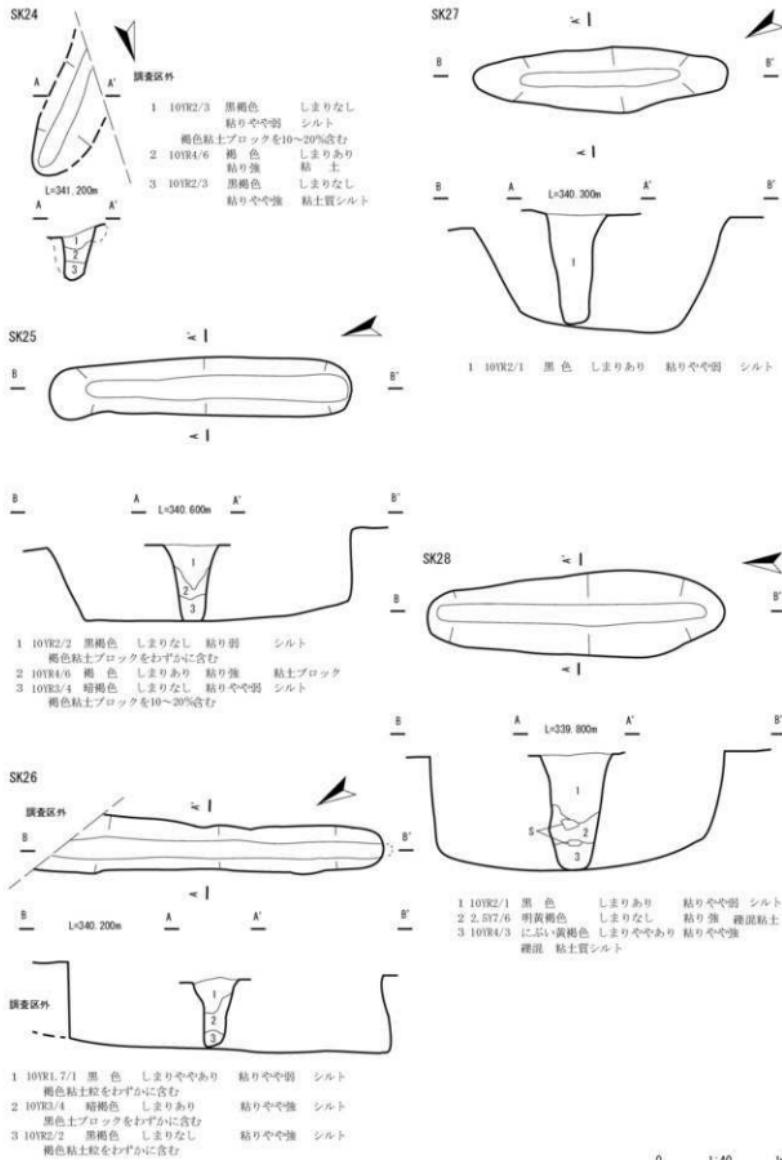


第21図 赤川II遺跡検出遺構（5）

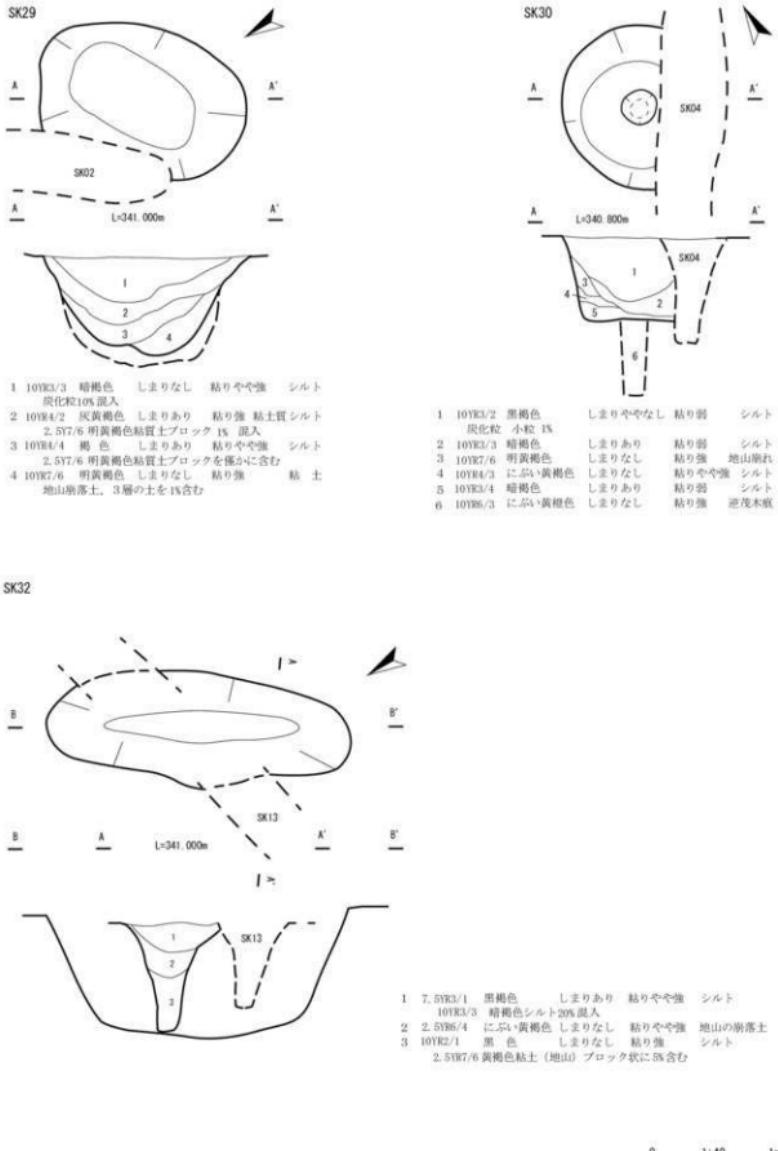


0 1:40 1m

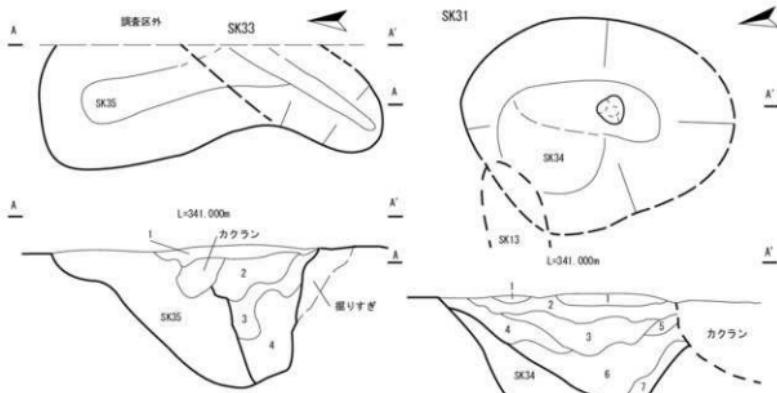
第22図 赤川II遺跡検出遺構(6)



第23図 赤川II遺跡検出遺構(7)

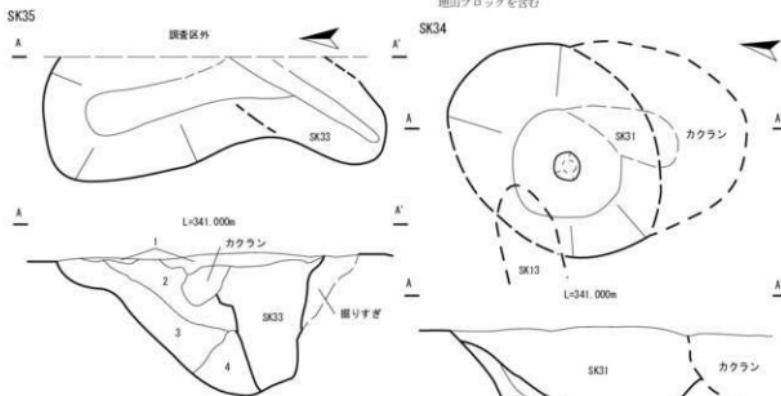


第24図 赤川II遺跡検出遺構(8)



- 1 10YR4/2 灰黄褐色 しまりややなし 黏りやや弱 シルト (表土層)
 2 10YR2/1 黒 色 しまりややなし 黏りやや強 シルト
 3 10YR4/1 黑褐色 しまりややなし 黏りやや強 シルト
 黄褐色バミスブロック 5% 混入
 4 10YR3/3 黑褐色 しまりなし 黏りやや弱 シルト
 地山がジグザグ状に5%入る

- 1 2.5YR8 黄褐色 しまりあり 黏りなし バニス
 2 10YR2/2 黑褐色 しまりややなし 黏りやや強 シルト
 2.5YR2/3 黑褐色シルトが40%混在する
 3 7.5YR3/2 黑褐色 しまりややなし 黏りやや強 シルト
 4 10YR3/3 に5% 黄褐色 しまりややあり 黏りやや強 シルト
 2.5Y7/3 深黄色土が10%入る
 5 10YR3/3 に5% 黄褐色 しまりややあり 黏りやや強 シルト
 2.5Y7/3 深黄色土が10%入る
 6 10YR2/3 黑褐色 しまりなし 黏りやや強 シルト
 7 10YR4/4 閑 色 しまりややあり 黏り強 シルト
 地山ブロックを含む

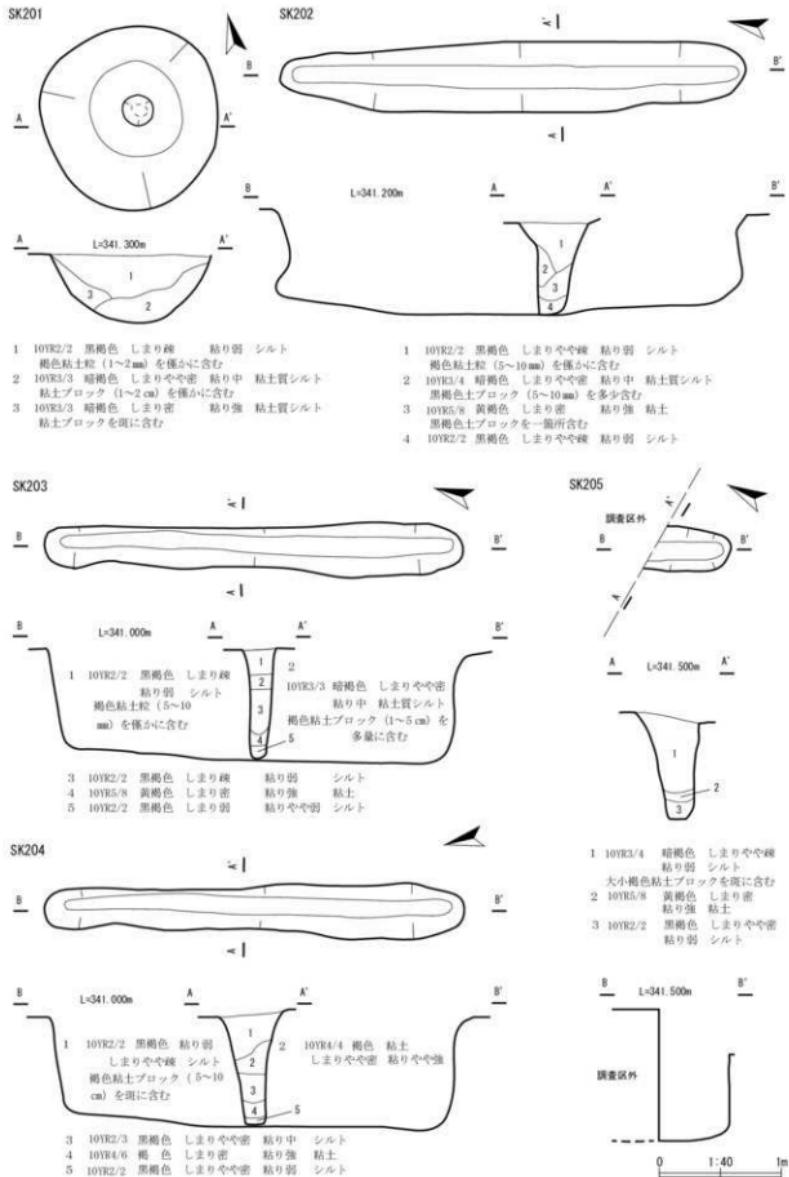


- 1 10YR4/2 灰黄褐色 しまりややなし 黏りやや弱 シルト (表土層)
 2 10YR3/2 黑褐色 しまりあり 黏りやや強 シルト
 黄褐色バミス (To-Cu?) ブロック 20%混入
 3 10YR4/4 閑 色 しまりあり 黏りやや強 シルト
 4 10YR3/4 黑褐色 しまりややなし 黏り弱 シルト
 SK35の埋土

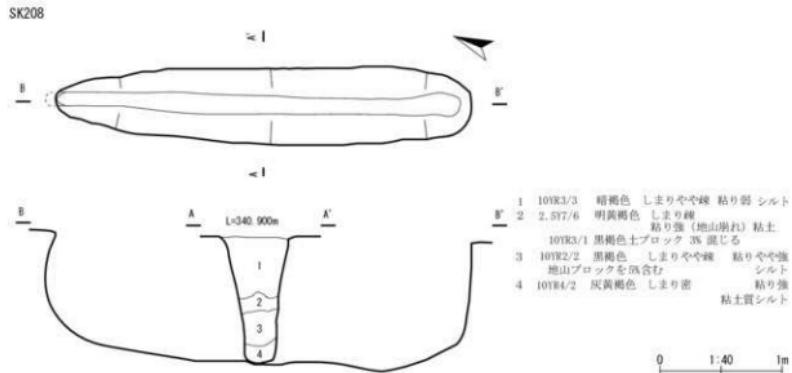
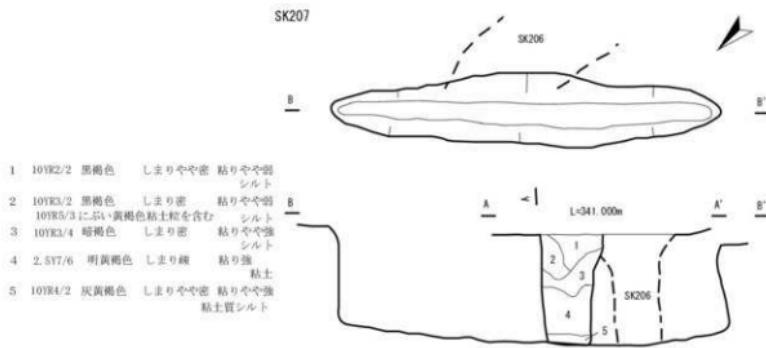
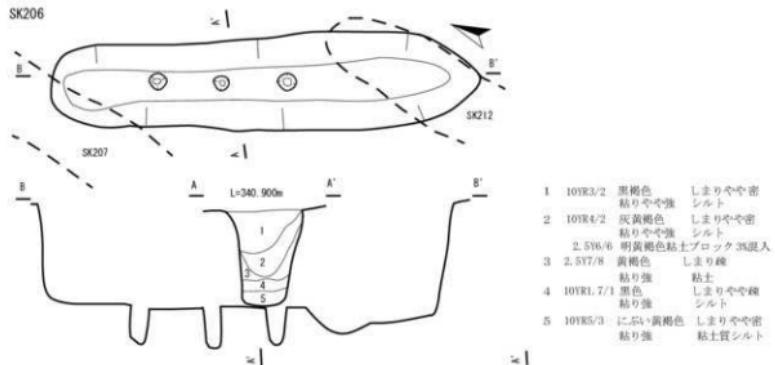
- 1 10YR4/2 灰黄褐色 しまりあり 黏りやや強 シルト
 2 10YR4/4 閑 色 しまりややあり 黏り強 シルト
 地山ブロックを含む
 3 10YR5/3 に5% 黄褐色 しまりあり 黏り強 粘土質シルト

0 1:40 1m

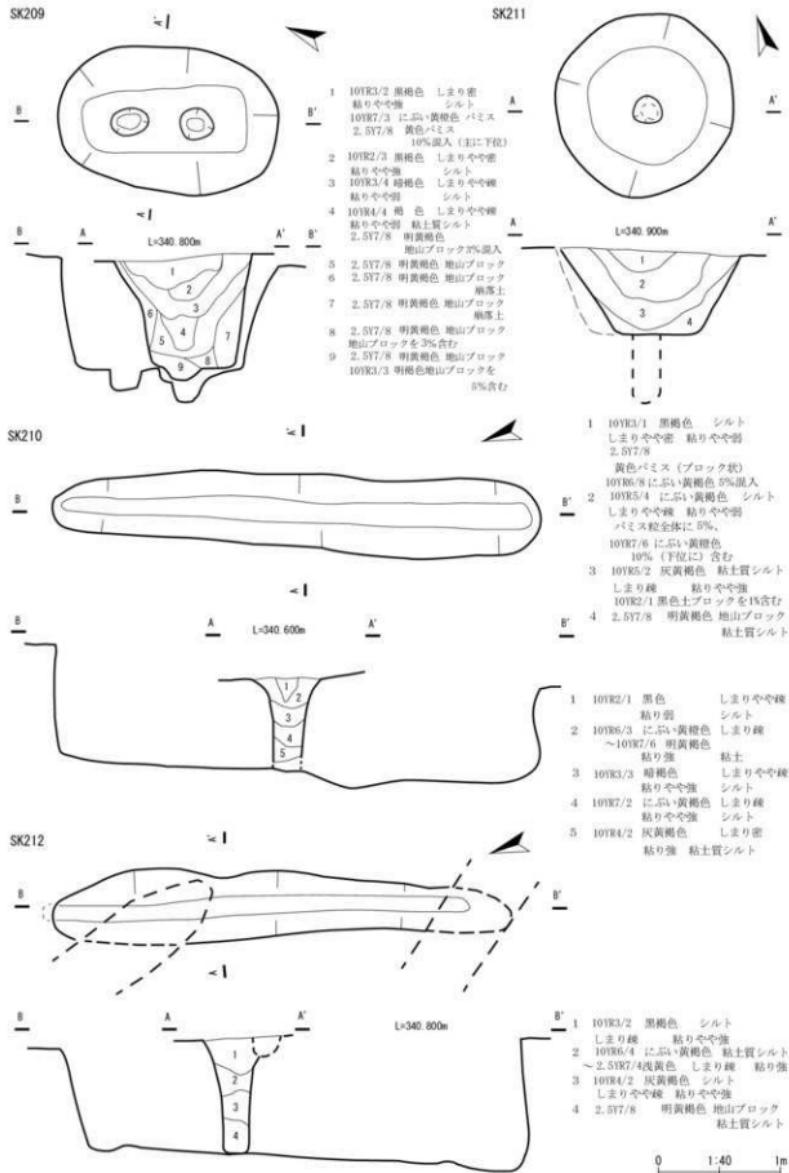
第25図 赤川Ⅱ遺跡検出遺構 (9)



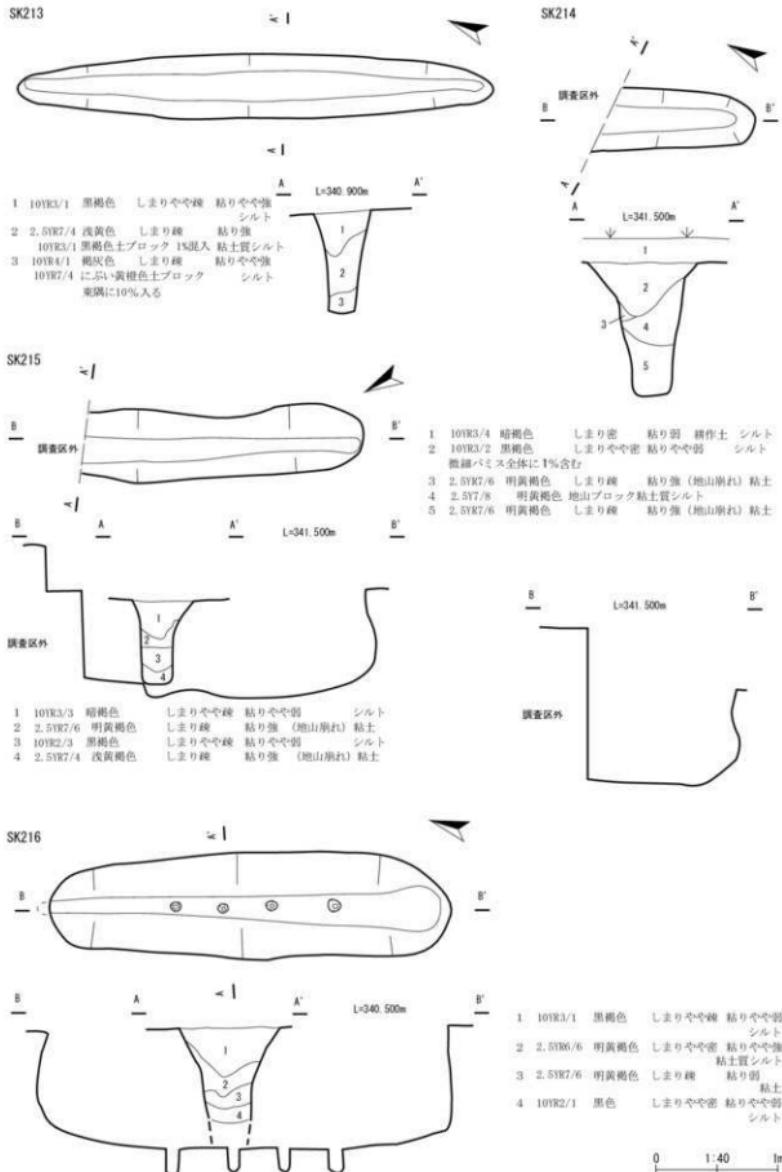
第26図 赤川II遺跡検出構 (10)



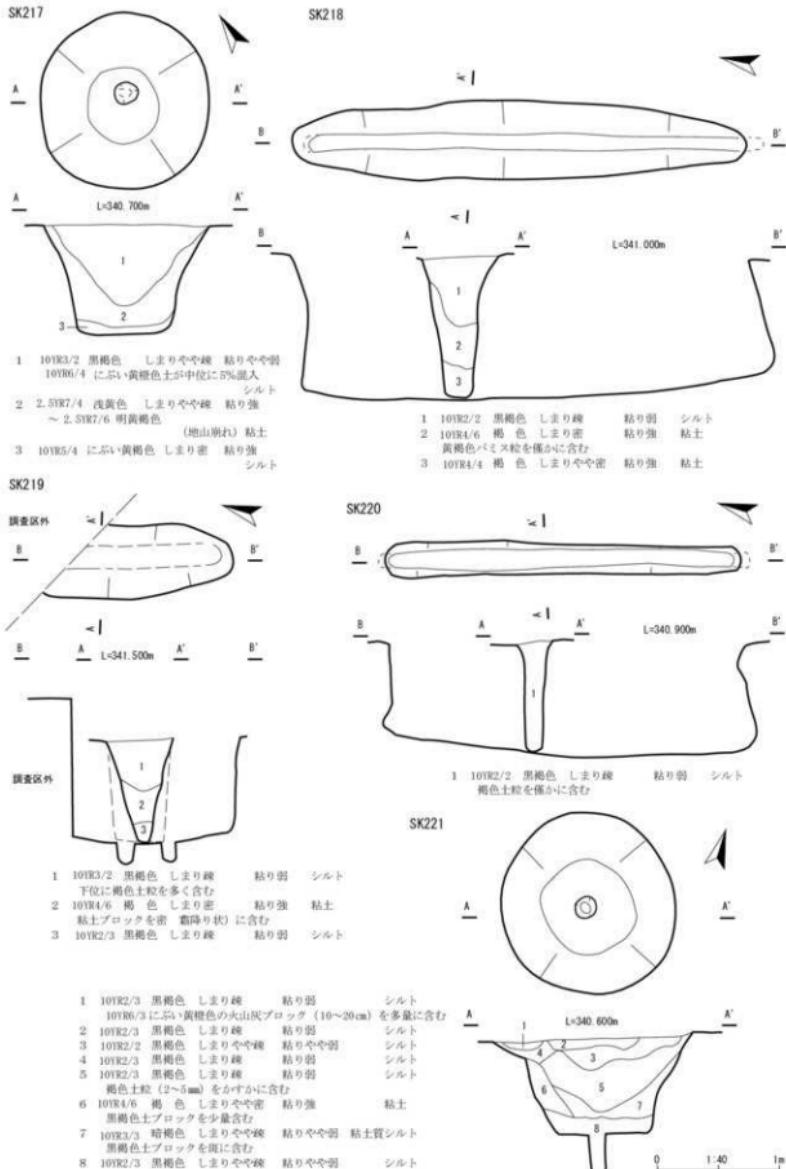
第27図 赤川Ⅱ遺跡検出遺構 (11)



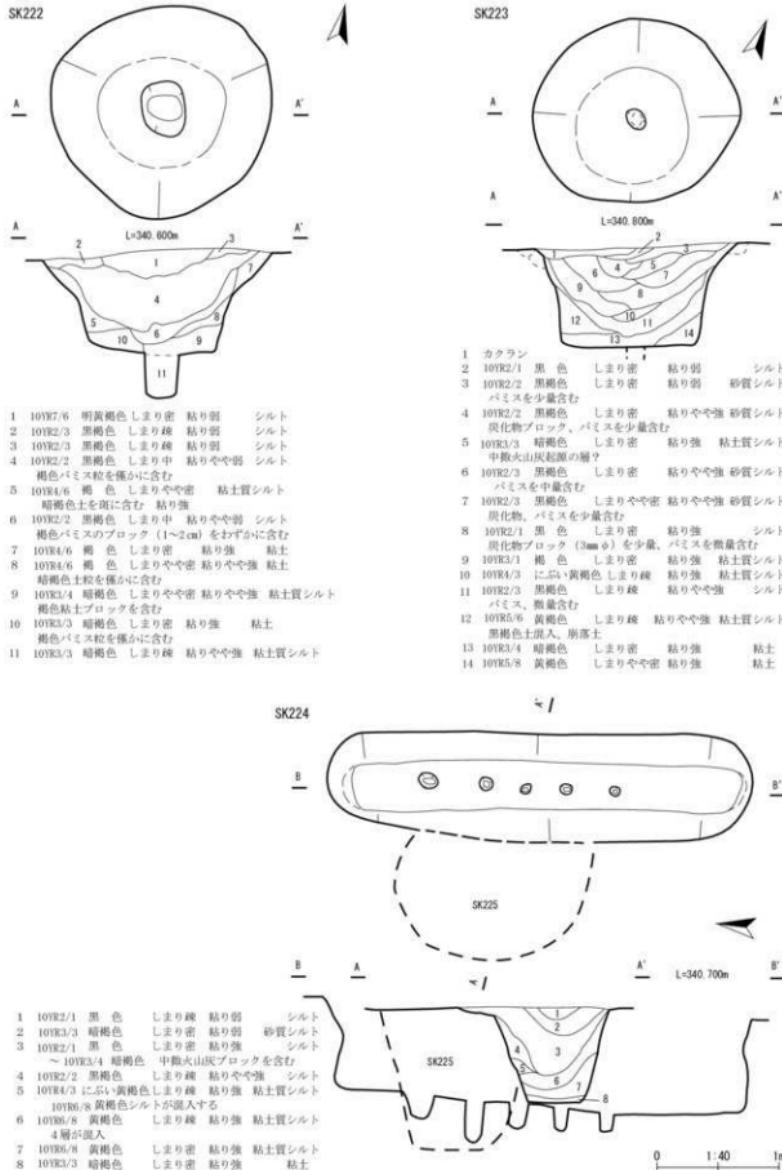
第28図 赤川II遺跡検出遺構 (12)



第29図 赤川Ⅱ遺跡検出遺構(13)

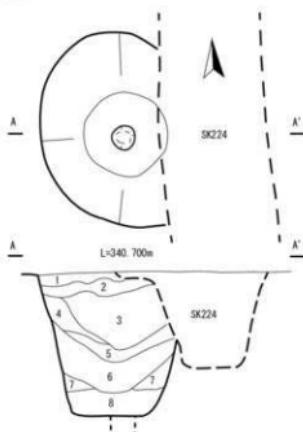


第30図 赤川Ⅱ遺跡検出遺構 (14)



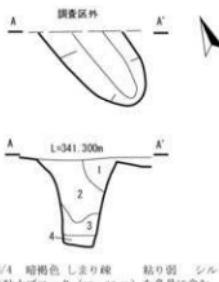
第31図 赤川Ⅱ遺跡検出遺構 (15)

SK225

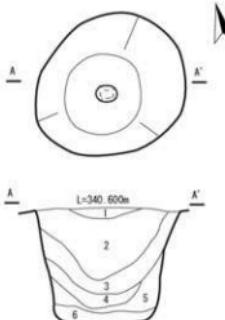


- 1 10YR2/2 黒褐色 しまり密 粘り弱 砂質シルト
- 2 10YR2/1 黒褐色 しまり密 粘り弱 砂質シルト
- 3 10YR2/1 黒褐色 しまり密 粘り強 シルト
バニス少量、炭化物を少量含む
- 4 10YR4/6 黑 色 しまり密 粘り強 粘土
- 5 10YR2/3 黒褐色 しまり密 粘り強 シルト
10YR4/6 黑褐色粘土をばらに含む
- 6 10YR4/6 黑 色 しまり密 粘り強 粘土質シルト
～10YR2/3 黑褐色
- 7 10YR4/6 黑 色 しまり密 粘り強 粘土
- 8 10YR2/3 黑褐色 しまり密 粘り強 シルト
～10YR5/8 黄褐色。下位に暗褐色粘土が点在する

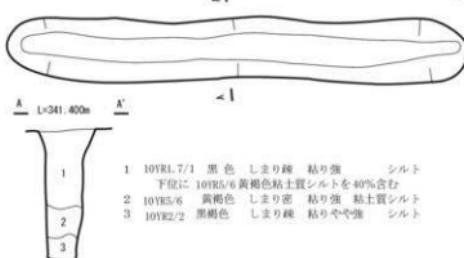
SK227



SK228



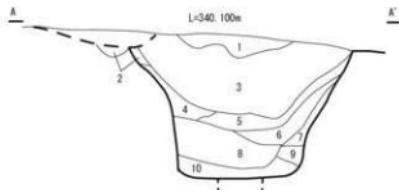
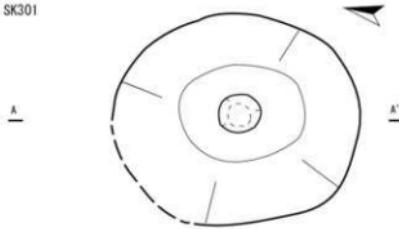
SK226



0 1:40 1m

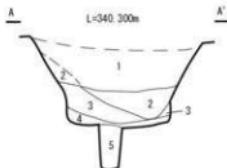
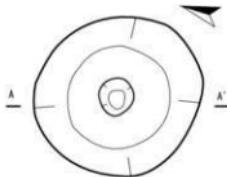
第32図 赤川II遺跡検出遺構 (16)

SK301



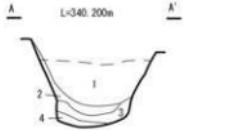
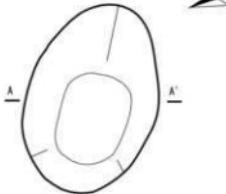
- 1 10YR8/8 黄褐色 しまりやや密 粘り弱 砂質シルト
～10YR4/2 暗黄褐色（グライ化）中粒火山灰
- 2 10YR3/3 暗褐色 しまり強 粘りやや強 シルト
- 3 10YR2/1 黒色 しまり密 粘り強 シルト
下位で 10YR5/6 黄褐色土の混入あり
- 4 10YR4/6 黄色 しまり強 粘り強 シルト
- 5 10YR2/1 黑色 しまり強 粘り強 シルト
- 6 10YR5/8 黄褐色 しまり強 粘り強 シルト
～10YR4/6 黄色
- 7 10YR5/8 黄褐色 しまり強 粘り強 粘土質シルト
- 8 10YR6/8 黄褐色 しまり密 粘り強 粘土質シルト
10YR3/3 始褐色粘土を含む
- 9 10YR2/1 黑色 しまりやや密 粘り強 粘土質シルト
10YR4/6 棕褐色粘土質シルトを含む
- 10 10YR3/3 暗褐色 しまり密 粘り強 粘土質シルト

SK302



- 1 黑褐色シルト（カクラン）
- 2 10YR2/1 黑色 しまり密 粘り強 シルト
炭化物を少量、バミスを微量含む
- 3 10YR3/1 暗褐色 しまり密 粘り強 粘土質シルト
10YR4/6 棕褐色粘土質シルトが混入
- 4 10YR2/3 黑褐色 しまり密 粘り強 粘土質シルト
～10YR5/6 黄褐色
- 5 10YR3/3 暗褐色 しまり密 粘り強 粘土質シルト
夾縫（深3cm）を含む

SK303



- 1 10YR2/1 黑色 しまり極密 粘り強 シルト
混合物多い カクラン（近現代）
- 2 10YR2/3 黑褐色 しまり密 粘りやや強 粘土質シルト
バミス、黄褐色粘土が混入する
- 3 10YR5/8 黄褐色 しまり密 粘り強 粘土質シルト
～10YR4/6 棕褐色
- 4 10YR3/3 暗褐色 しまり密 粘り強 粘土質シルト

0 1:40 1m

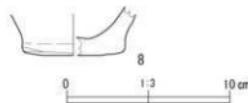
第33図 赤川II遺跡検出遺構（17）

第2表 赤川II遺跡遺構計測表(1)

遺構名	平面形状	長さ(cm)	幅(cm)	深さ(cm)	重複関係・埋土・その他
SK01	②梢円形	230	100	100	石皿出土。
SK02	①溝形	320	50	100	重複するSK29より新しい。埋土の大部分が黒褐色ブロック混じり黄褐色土。底にわずかに黒褐色土層。
SK03	①溝形	330	55	100	長軸方向壁面は外傾。
SK04	①溝形	235	55	90	重複するSK30より新しい。
SK05	円形	170	160	30	底面形状は円形で、壁面は内傾する。(フラスコ形?)
SK06	①溝形	220	50	95	長軸方向壁面は内傾する。
SK07	②梢円形	290	100	90	埋土は、黒・黄褐色・黒褐色の三層。(溝形の基本パターン)
SK08	③円形	190	160	90	埋土の上位に中腹火山灰塊あり。底面中央に逆茂木痕。
SK09	④円形	150	130	70	底面中央に逆茂木痕。壁面や外傾する。
SK10	①溝形	—	70	110	東側、調査区外に延びる。長軸方向壁面は内傾する。
SK11	②梢円形	350	110	90	長形・黒褐色埋土が底面までつながる。
SK12	②梢円形	—	90	110	長形・黒褐色埋土が底面まで広がる。
SK13	①溝形	280	50	70	重複するSK31・SK32より新しい。
SK14	③円形	110	105	70	底面に小穴。
SK15	②梢円形	180	70	60	長形・埋土は溝形に特徴的な基本の三層。
SK16	②梢円形	180	110	80	短形。
SK17	②梢円形	—	—	70	調査区の南西境界にあり、全体は不明。
SK18	③円形	185	—	90	埋土最上位に中腹火山灰塊あり。底面に小穴。調査区の国道境界にかかる。
SK19	②梢円形	225	80	90	埋土のはとんどが黒褐色土の縮穴。
SK20	③円形	130	110	65	底面が平底で、壁面や外傾・外溝する。
SK21	③円形	170	130	75	底面に小穴あり。
SK22	①溝形	340	50	65	壁面ほぼ垂直に立ち上がる。
SK23	②梢円形	160	80	70	短形・埋土のはとんどが黒褐色土。
SK24	①溝形	—	50	40	地山より下げる検査。調査区国道側の西境界にある。
SK25	①溝形	240	50	60	壁面や外傾する。埋土は基本的に三層だが、黒褐色土が底面までつながっている。
SK26	①溝形	—	40	60	調査区の東境界に位置し、長さは不明。埋土は褐色粘土ブロックを含む黒褐色土。
SK27	①溝形	200	50	90	壁面直位、やや外傾し、開口している。
SK28	②梢円形	230	70	90	長形・埋土は溝形に特徴的な三層。地山検出面に礫が散在する。
SK29	②梢円形	170	—	80	短形・重複するSK01とSK02より古い。壁面わずかに内溝する。
SK30	③円形	130	—	65	重複するSK04より古い。底面に小穴あり。
SK31	③円形	220?	160?	90	重複するSK34より新しい。埋土最上位に中腹火山灰塊あり。底面に小穴あり。
SK32	②梢円形	240	90	90	重複するSK13より古い。断面や、褐色粘土層の壁面が確認できる。
SK33	①溝形	—	70	100	重複するSK35・SK36より新しい。調査区外、北東に延びる。
SK34	③円形	180	150	90	重複するSK31より古い。底面に小穴あり。
SK35	②梢円形	—	100	110	SK33と重複する。調査区の断面より推測。
SK201	③円形	150	140	50	東端、平底、壁面外傾、小穴あり。
SK202	①溝形	370	55	70	東側、壁面ほぼ垂直(上部やや外傾)。
SK203	①溝形	330	40	90	東側、壁面ほぼ垂直。埋土下位まで黒褐色土。
SK204	①溝形	330	45	45	東側、壁面ほぼ垂直(上部やや外傾)。長軸方向壁面は内傾。
SK205	①溝形	—	35	80	東側、北側査区境、壁面ほぼ垂直、埋土水平断状に堆積。
SK206	②梢円形	340	80	80	SK207・SK212と長軸の端で重複。床面高低差有り。新旧関係有り。
SK207	①溝形	310	60	85	重複するSK206より新しく深い。埋土下半分は黒褐色土。
SK208	①溝形	330	60	100	壁面や外傾、溝形に差あり。
SK209	②梢円形	180	120	100	壁面や外傾。底面2ヵ所に小穴あり。
SK210	①溝形	390	60	80	南側、河川付近。埋土ブロック状に黒色土と褐色土入る。
SK211	③円形	150	145	70	埋土最上位に中腹火山灰塊あり。底面に小穴あり。
SK212	①溝形	360?	60	95	SK206・SK213と長軸の端で重複。床面高低差有り。新旧関係有り。SK206より新しい。
SK213	①溝形	385	50	80	重複するSK212より新しく深い。
SK214	①溝形	—	50	105	調査区境、北側に延びる。
SK215	①溝形	—	55	70	調査区境、北側に延びる。
SK216	②梢円形	325	85	90	比較的幅広の溝形で、底面に細い小穴が4つ並ぶ。
SK217	③円形	135	135	90	埋土上位に黒色土が堆積。底面に小穴。
SK218	①溝形	360	65	110	壁面ほぼ垂直(上部やや外傾)。長軸方向壁面は内傾に近い。
SK219	①溝形	—	60	85	調査区境、北側に延びる。壁面はやや外傾。長軸方向壁面は内傾に近い。底面抉い。

第3表 赤川Ⅱ遺跡遺構計測表（2）

遺構名	平面形状	長さ(cm)	幅(cm)	深さ(cm)	重複関係・埋土・その他	
					細く、直線的な平面で、直垂に掘り込まれ。埋土のほとんどが黒褐色土に覆われている。	
SK220	①溝形	280	30	90		
SK221	③円形	145	140	75	埋土上位(検出面)西側で灰褐色の土(火山灰)がみられ、平底中央に小穴あり。	
SK222	③円形	175	170	85	埋土上位(検出面)中央に中層火山灰がみられ、椭円の平底中央には中穴あり。	
SK223	③円形	165	150	80	埋土上位から底付近まで黒褐色土がみられ、椭円の平底中央には小穴あり。	
SK224	②梢円形	340	90	80	長い梢円形陥し穴。壁面やや外傾し、底面には細い小穴が5つ並ぶ。重複するSK225より新しい。	
SK225	③円形	155	—	115	SK224と重複する。壁面やや外傾し、平底中央に小穴がみられる。	
SK226	①溝形	365	50	105	東側、壁面ほぼ垂直(上部や外傾)長軸方向壁面は内傾。	
SK227	①溝形	—	50	70	東側、調査区東、北側に延びる。壁面やや外傾し、長軸方向壁面は内傾。	
SK228	③円形	120	110	95	埋土上位(検出面)中央に褐色地山ブロックがみられ、平底中央には逆茂木痕あり。	
SK301	③円形	200	170	115	調査区西側、埋土上位(検出面)中央に中層火山灰がみられ、椭円の平底中央には中穴あり。	
SK302	③円形	130	125	70?	埋土上位(検出面)カタランがみられ、平底中央には中穴あり。	
SK303	円形	150	105	50	やや梢円形の丸底、壁面内湾する丸型の土坑。	



第34図 赤川Ⅱ遺跡遺構出土遺物

第4表 赤川Ⅱ遺跡出土遺物観察表

遺跡名	掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm)				特徴
							口径 幅	器高 横	底部径 厚さ	重量	
赤川Ⅱ	8 発掘区			土器	深鉢	底部	—		(6.4)	—	内外面ナデ、縄文土器か。



一次調査前の状況 (南東から)



調査後の状況 (南東から)



調査後の状況 中央 (南から)



調査後の状況 北端部 (北西から)



1号陥し穴状遺構 断面 (南から)



1号陥し穴状遺構 完掘 (南から)



2号陥し穴状遺構 断面 (南から)



2号陥し穴状遺構 完掘 (南から)

写真図版5 赤川II遺跡検出遺構・調査状況 (1)



3号陥し穴状遺構 断面（南から）



3号陥し穴状遺構 完掘（南から）



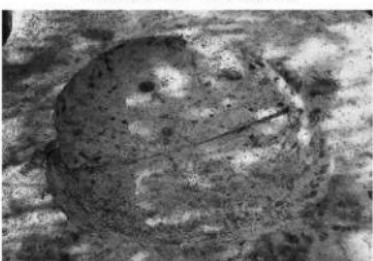
4号陥し穴状遺構 断面（南から）



4号陥し穴状遺構 完掘（南から）



5号土坑 断面（南から）



5号土坑 完掘（南から）



6号陥し穴状遺構 断面（南から）



6号陥し穴状遺構 完掘（南から）

写真図版6 赤川II遺跡検出遺構・調査状況（2）



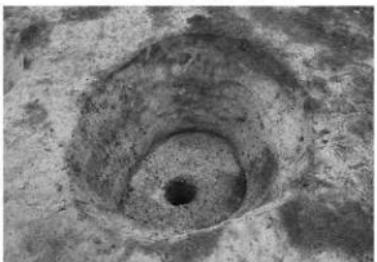
7号陥し穴状遺構 断面（南から）



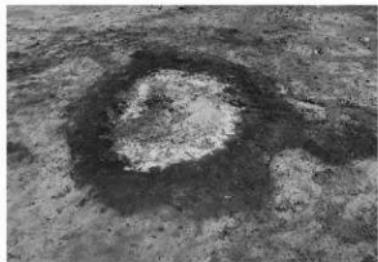
7号陥し穴状遺構 完掘（南から）



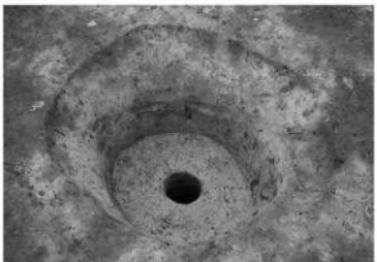
8号陥し穴状遺構 断面（南から）



8号陥し穴状遺構 完掘（南から）



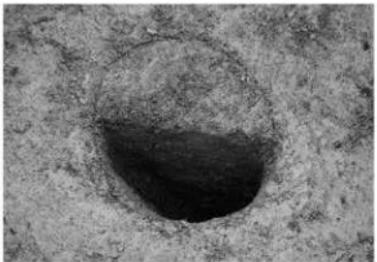
8号陥し穴状遺構 検出状況（南から）



9号陥し穴状遺構 完掘（南から）



9号陥し穴状遺構 断面（南から）



9号陥し穴状遺構 逆茂木痕検出（南から）

写真図版7 赤川II遺跡検出遺構・調査状況（3）



10号陥し穴状遺構 断面（南から）



10号陥し穴状遺構 完掘（南から）



11号陥し穴状遺構 断面（南から）



11号陥し穴状遺構 完掘（南から）



12号陥し穴状遺構 断面（南から）



12号陥し穴状遺構 完掘（南から）



13号陥し穴状遺構 断面（南西から）

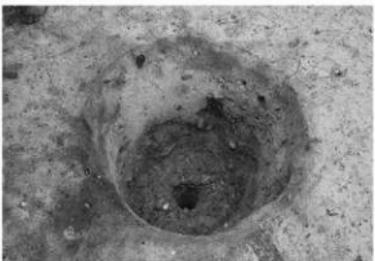


13号陥し穴状遺構 完掘（南西から）

写真図版8 赤川II遺跡検出遺構・調査状況（4）



14号陥し穴状遺構 断面（南から）



14号陥し穴状遺構 完掘（南から）



15号陥し穴状遺構 断面（南から）



15号陥し穴状遺構 完掘（南から）



16号陥し穴状遺構 断面（南から）



16号陥し穴状遺構 完掘（南から）



17号陥し穴状遺構 断面（南東から）



17号陥し穴状遺構 完掘（北西から）

写真図版9 赤川II遺跡検出遺構・調査状況（5）



18号陥し穴状遺構 断面（北東から）



18号陥し穴状遺構 完掘（南西から）



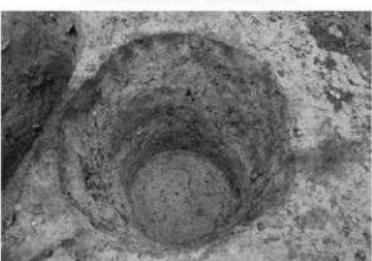
19号陥し穴状遺構 断面（南から）



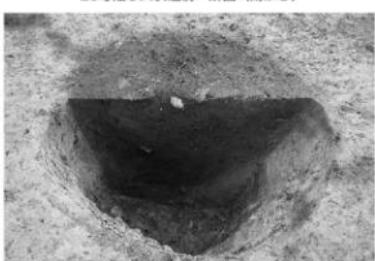
19号陥し穴状遺構 完掘（南から）



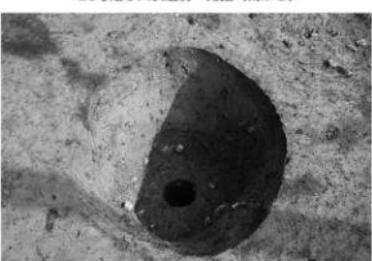
20号陥し穴状遺構 断面（南から）



20号陥し穴状遺構 完掘（南から）



21号陥し穴状遺構 断面（南から）



21号陥し穴状遺構 完掘（南から）

写真図版10 赤川II遺跡検出遺構・調査状況（6）



22号陥し穴状遺構 断面（南西から）



22号陥し穴状遺構 完掘（北から）



23号陥し穴状遺構 断面（南から）



23号陥し穴状遺構 完掘（南から）



24号陥し穴状遺構 断面（北から）



24号陥し穴状遺構 完掘（南から）



25号陥し穴状遺構 断面（南から）



25号陥し穴状遺構 完掘（南から）

写真図版11 赤川II遺跡検出遺構・調査状況（7）



26号陥し穴状遺構 断面（南から）



26号陥し穴状遺構 完掘（南から）



27号陥し穴状遺構 断面（北から）



27号陥し穴状遺構 完掘（北から）



28号陥し穴状遺構 断面（南から）



28号陥し穴状遺構 完掘（北から）



29号陥し穴状遺構 断面（南西から）



29号陥し穴状遺構 完掘（南から）

写真図版12 赤川II遺跡検出遺構・調査状況（8）



30号陥し穴状遺構 断面（南から）



30号陥し穴状遺構 完掘（南東から）



31・34号陥し穴状遺構 断面（南東から）



31・34号陥し穴状遺構 完掘（南から）



32号陥し穴状遺構 断面（北から）



32号陥し穴状遺構 完掘（北から）



33・35号陥し穴状遺構 断面（北西から）



33・35号陥し穴状遺構 完掘（北から）

写真図版13 赤川II遺跡検出遺構・調査状況（9）



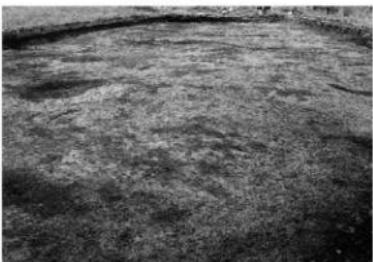
二次調査区 遠景（北から）



作業風景（東から）



遺構検出状況（東から）



遺構検出状況（西から）



201号陥し穴状遺構 断面（南から）



201号陥し穴状遺構 完掘（東から）



202号陥し穴状遺構 断面（南から）



203号陥し穴状遺構 断面（南から）



204号陥し穴状遺構 断面（南から）

写真図版14 赤川Ⅱ遺跡検出遺構・調査状況（10）



202号陥し穴状遺構 完掘（南から）



203号陥し穴状遺構 完掘（南から）



204号陥し穴状遺構 完掘（南から）



206・207号陥し穴状遺構 完掘（南から）



205号陥し穴状遺構 断面（南から）

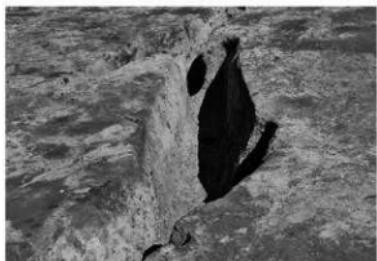


206号陥し穴状遺構 断面（南から）



207号陥し穴状遺構 断面（南から）

写真図版15 赤川II遺跡検出遺構・調査状況 (11)



206号陥し穴状遺構 完掘（南から）



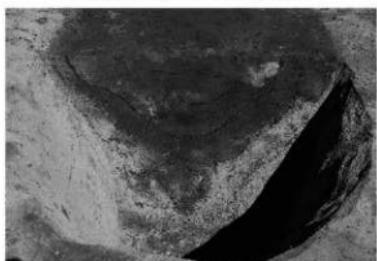
207号陥し穴状遺構 完掘（南西から）



208号陥し穴状遺構 断面（南から）



208号陥し穴状遺構 完掘（南から）



209号陥し穴状遺構 断面（南から）



209号陥し穴状遺構 完掘（南から）

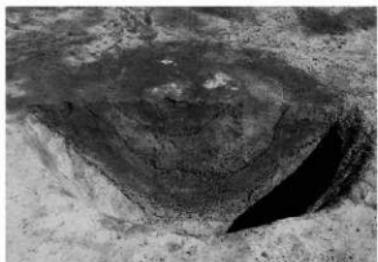


210号陥し穴状遺構 断面（南から）



210号陥し穴状遺構 完掘（南から）

写真図版16 赤川II遺跡検出遺構・調査状況 (12)



211号陷し穴状遺構 断面（南から）



211号陷し穴状遺構 完掘（南から）



212号陷し穴状遺構 断面（南から）



212・213号陷し穴状遺構 断面（南から）



213号陷し穴状遺構 断面（南から）



212・213号陷し穴状遺構 完掘（南から）



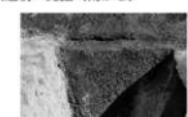
214号陷し穴状遺構 断面（南から）



214号陷し穴状遺構 断面（南から）



215号陷し穴状遺構 断面（南から）



215号陷し穴状遺構 断面（南から）

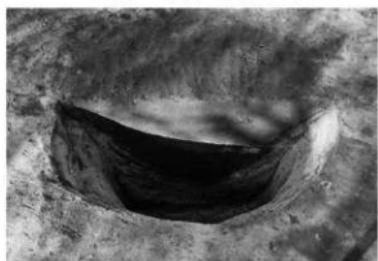
写真図版17 赤川II遺跡検出遺構・調査状況（13）



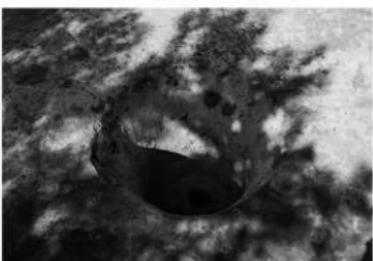
216号陥し穴状遺構 断面（東から）



216号陥し穴状遺構 完掘（南から）



217号陥し穴状遺構 断面（南から）



217号陥し穴状遺構 完掘（南から）



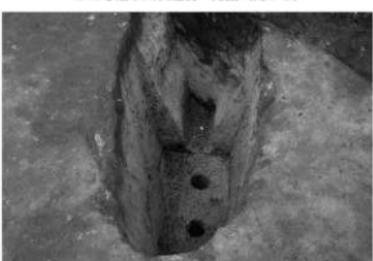
218号陥し穴状遺構 断面（南から）



218号陥し穴状遺構 完掘（南から）



219号陥し穴状遺構 断面（東から）



219号陥し穴状遺構 完掘（東から）

写真図版18 赤川II遺跡検出遺構・調査状況（14）



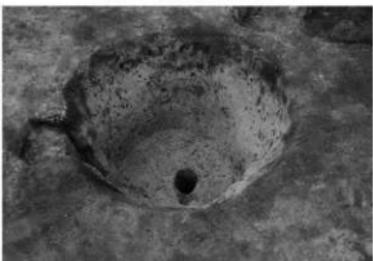
220号陥し穴状遺構 断面（南から）



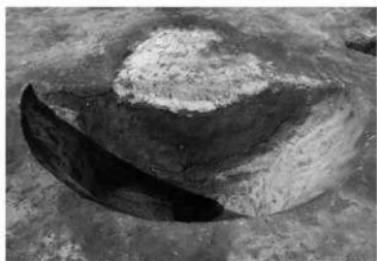
220号陥し穴状遺構 完掘（南から）



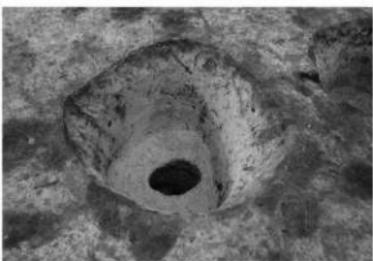
221号陥し穴状遺構 断面（南から）



221号陥し穴状遺構 完掘（南から）



222号陥し穴状遺構 断面（南から）



222号陥し穴状遺構 完掘（南から）



223号陥し穴状遺構 断面（南から）



223号陥し穴状遺構 完掘（南から）

写真図版19 赤川II遺跡検出遺構・調査状況（15）



224号陥し穴状遺構 断面（南から）



224号陥し穴状遺構 完振（南から）



225号陥し穴状遺構 断面（南から）



225号陥し穴状遺構 完振（南から）



226号陥し穴状遺構 断面（南から）



226号陥し穴状遺構 完振（南から）



227号陥し穴状遺構 断面（南から）



227号陥し穴状遺構 完振（南から）

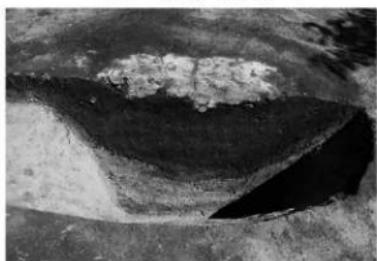
写真図版20 赤川II遺跡検出遺構・調査状況 (16)



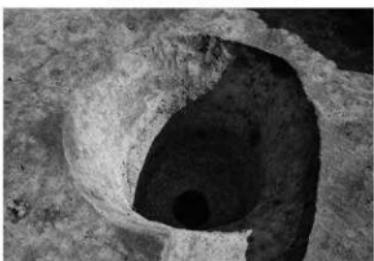
228号陥し穴状遺構 断面（南から）



228号陥し穴状遺構 完掘（北から）



301号陥し穴状遺構 断面（西から）



301号陥し穴状遺構 完掘（北から）



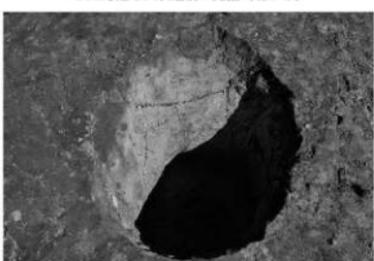
302号陥し穴状遺構 断面（西から）



302号陥し穴状遺構 完掘（北から）



303号陥し穴状遺構 断面（西から）



303号陥し穴状遺構 完掘（北から）

写真図版21 赤川II遺跡検出遺構・調査状況（17）



調査区南端遺構検出状況（南から）



調査状況（南から）



調査状況（南西から）



調査後の状況（道路西側）

写真図版22 赤川II遺跡検出遺構・調査状況（18）



写真図版23 赤川II遺跡出土遺物

5 経営体育成基盤整備事業六原地区

町の内道下遺跡 (ME75-2064)

町の内道上遺跡 (ME85-0011) (本文のみ掲載)

所 在 地：金ヶ崎町六原町の内道の下

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成25年10月21日(月)～10月23日(水)

町の内道下遺跡は金ヶ崎町役場の北西約7.1km、県道288号(北上水沢線)西側の住宅地に隣接する水田面に立地している。付近は北上市との行政界に程近く、東へと徐々に標高を下げた水田が連なる田園地帯であるが、遺跡付近は微高地状の宅地とその周辺の標高高い水田・畠地である。昨年度実施した六原地区は場整備事業に係る試掘調査において、工事予定地内で柱穴・土坑等の遺構が検出され、土師器が出土したため、今回の発掘調査を実施したものである。調査は工事により掘削される、田区352北・西辺、田区353北西辺に沿う水路工事予定地を対象とした。

基本層序は次のとおりである。I a層：暗褐色土(層厚15～20cm。水田耕作土)。I b層：暗褐色土と黄褐色土の混土(層厚10cm。水田底土)。I c層：碎石・盛土(層厚10cm。現道部分(試掘T1))。II層：黒褐色(層厚30～40cm。現道部分(試掘T1))。III層：褐色土(層厚10～20cm。地山)。IV層：黄褐色粘質土(層厚不明。地山)。

掘削の結果、田区352の西側隣接部分で柱穴約70個、土坑5基、溝跡2条を検出した。柱穴は径30～50cmで、開口部の平面形は円形を基調としている。その配列から、掘立柱建物跡1棟が想定された。想定される建物は、梁行3間×桁行6間の身舎に庇が付く南北棟で、東西側には6間の庇が付く。南北側は擾乱もあって明らかではないが、南側2間の庇が付いていると推測される。柱穴の断ち割りを試みたが、前週の降雨の影響で湧水し、底面までの掘削が適わなかったため、柱穴の深さは確認できなかった。柱穴の埋土には土器細片(土師器か)や焼土粒・炭化物が混入している。柱穴付近での出土遺物はなかったが、試掘調査では周辺で土師器片が出土している。当建物は、時期特定が難しいが、古代～中世の四面庇建物と推測される。

また、北側で検出された溝跡は東西方向に調査区を横断しており、溝以北には遺構が殆どない状況であった。この溝が建物を中心とする領域を区切る区画溝だった可能性がある。溝の伸長方向を確認するため、調査区外の田面に試掘トレンチを設定した結果、溝は直線的に東側へと延びていることが確認された。

昨年の試掘調査では、田区352に設定したT5・6では多数の遺構が検出されているが、今回調査の結果、調査区の北側では遺構は全く検出されなかった。上述の溝を境として溝以南に遺構が集中しているものと思われる。当遺跡の所在する金ヶ崎町には、11世紀に奥六郡に勢力を誇った安倍氏の拠点「鳥海柵」が置かれており、四面庇建物であればそれに関連する可能性もある。建物はその規模から主要建物ではないと思われるが、調査区外の田面により規模の大きな建物が存在している可能性もあると思われる。以上から、調査区西側については重要遺構の可能性があると判断したため、検出のみに止めて精査を行わず、盛土により保護層を確保し現状保存を行った。

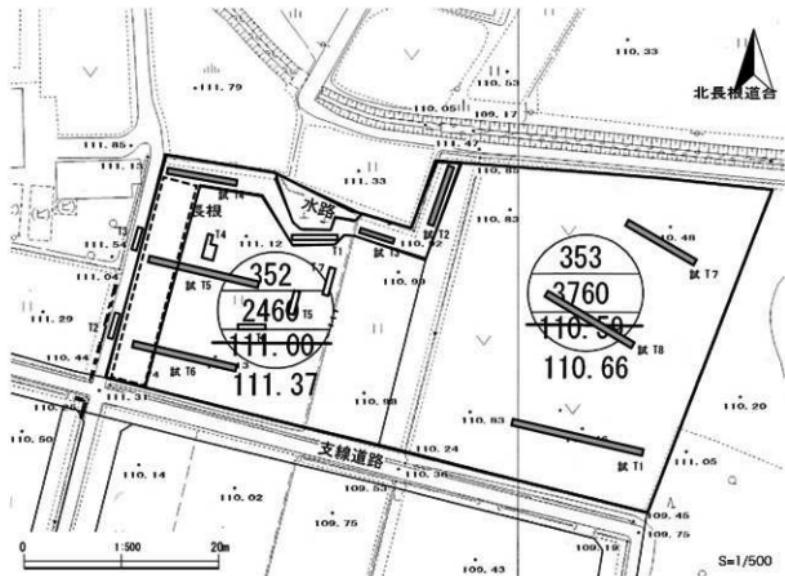


第35図 町の道下・上遺跡位置

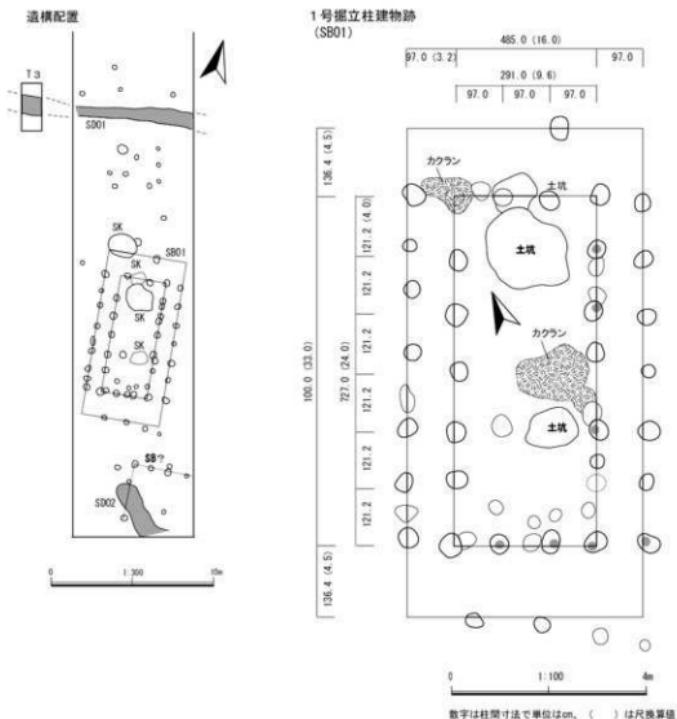
町の内道上遺跡は金ヶ崎町役場の北西7.2km、検断谷地堤の東側に隣接する田面に立地している。遺跡の南側には堤から流れる用水路が東西に走っており、水路周辺は低湿地状を呈している。

今回の調査は六原地区は場整備事業に係るもので、田区289の南を除く3辺に沿う水路・道路工事予定範囲を対象とした。昨年度実施した試掘調査において、田区東側のT36で土坑1基（古代か）が検出されているが、試掘T36部分は今回調査区には含まれていない。

土坑検出箇所の東側に隣接する部分については全面の表土掘削を行ったところ、30cm程度の表土下で砂礫層が確認され、遺構・遺物ともに検出されなかった。また、調査区の北・西部部分については、断続的にトレチを設定して遺構・遺物の有無を確認したが、全く検出されなかった。以上から、調査区外には遺構が存在しているものの、今回の調査区内には遺構・遺物はないと判断した。



第36図 町の道下遺跡調査位置



第37図 町の道下遺跡遺構配置・検出遺構



1号掘立柱建物跡 検出状況（南西から）



1号掘立柱建物跡 検出状況（北西から）



1号掘立柱建物跡（南側） 検出状況（西から）



2号溝跡 検出状況（南西から）



T3 溝跡 検出状況（南西から）



試掘T2 柱穴 検出状況（北東から）

写真図版24 町の道下遺跡検出遺構・調査状況

6 経営体育成基盤整備事業和賀中部第四地区

伍大坂II遺跡 (ME64-2318)

所在 地：北上市和賀町岩崎11・12地割

六軒遺跡 (ME65-2055)

所在 地：北上市上鬼柳2・3地割

事 業 者：県南広域振興局農政部北上農村整備センター

調査日：平成25年11月18日(月)～11月22日(金)

伍大坂II遺跡は北上市役所の西約4.7km、和賀川の右岸低位段丘面に立地している。遺跡の南側には伍大坂I遺跡及び欠ノ下台地遺跡が隣接し、南西側の段丘面には高田坂遺跡・久田II遺跡が所在しており、岩崎地区に所在するそれらの遺跡は「岩崎台地遺跡群」と総称されている。今回の調査は和賀中部第四地区のほ場整備事業に係るもので、平成24年度の試掘調査において工事予定地内で「土坑」が検出されたため、当該箇所を対象として実施した緊急発掘調査である。調査箇所は、岩崎台地北東段丘線を走る農道の南西側路肩部分である。調査箇所は欠ノ下台地遺跡との境界付近に位置し、厳密には調査区南側が欠ノ下台地遺跡分、北側が伍大坂II遺跡分となるが、ここでは便宜的に伍大坂II遺跡として一括する。なお、調査の都合上、遺構検出は給水管埋設路線より広い幅1.5mの範囲で行った。

基本層序は次のとおりである。I層：盛土（層厚110～120cm。碎石、道路盛土）。II層：暗褐色土（層厚5～10cm。漸移層。遺構検出面）。III層：黄褐色粘質土（層厚不明）。

遺構精査は、竪穴住居跡は全体、溝跡については工事範囲のみに止めた。調査地が現道であるため、現路面から1～1.2mは盛土されており、一部にII層が残るもの全体に旧表土層は失われており、盛土直下がIII層という状況であった。それでも周囲の水田面よりも地山面は高くなってしまっており、水田部分はより著しく削平されていると思われる。そういう意味においては、今回調査地は未だ「残りが良い」状態であるといえる。

調査区北側で竪穴住居跡1棟、中央部から南側で溝跡8条が検出された。竪穴住居跡は、南東・北西のそれぞれの壁の立ち上がりを確認したもので、全形は不明である。南西側に試掘調査時のトレントラシがIII層を掘り込む形で入っており、トレントラシにより南壁及び床面の一部が失われている。検出した壁から推定すると一辺3.6mの方形を呈すると推測される。壁はII層から掘り込まれており、壁高15～20cmである。床面はIII層に相当し、南側が硬く縮まっている。試掘時の「土坑」を再確認したが、住居跡との位置関係から住居に付属するものと解釈した。なお、住居に付随するその他の施設（カマドや柱穴等）は検出されなかった。遺物は土師器小片1点が出土したのみである。時期特定の根拠に乏しいが、その形態から古代の住居跡と推測される。溝跡は調査区全体で8条検出されている。溝の幅・深さにはバラつきがあるものの、1号溝（東～西）を除けば溝の方向はほぼ北東～南西である。遺物は全く出土しなかつたため、これらの溝の時期・性格は特定できなかった。

調査の結果、今回調査地は削平されているものの、古代の集落跡の一部であることを確認した。

六軒遺跡は北上市役所の西南西約4.1km、和賀川の右岸中位段丘（村崎野段丘）から低位段丘面にかけて立地している。当遺跡はもともと上鬼柳I～IVの4遺跡に分かれていたが、それらが統合されて改称したものである。遺跡の東から北西にかけての段丘縁辺部を東北横断自動車道秋田線が横断し

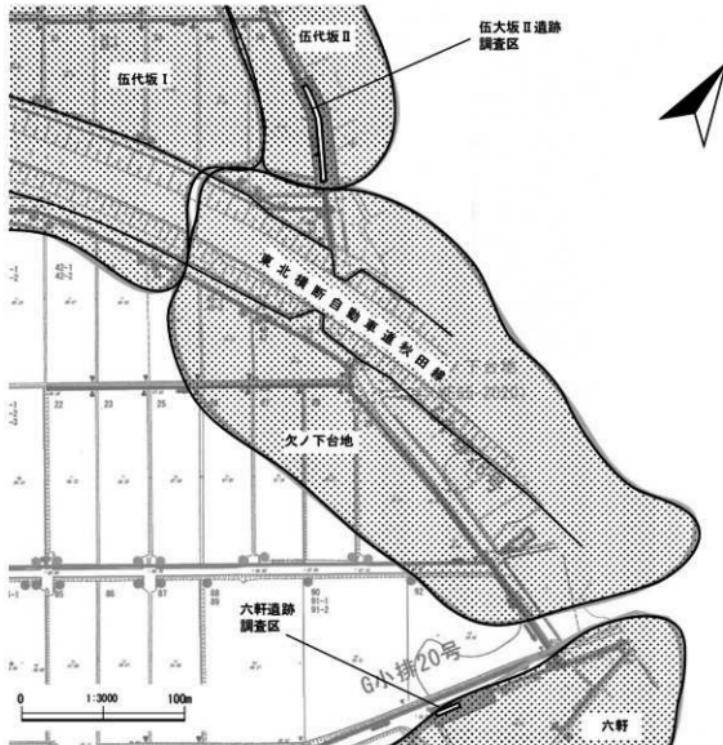


第38図 伍大坂II遺跡・六軒遺跡位置

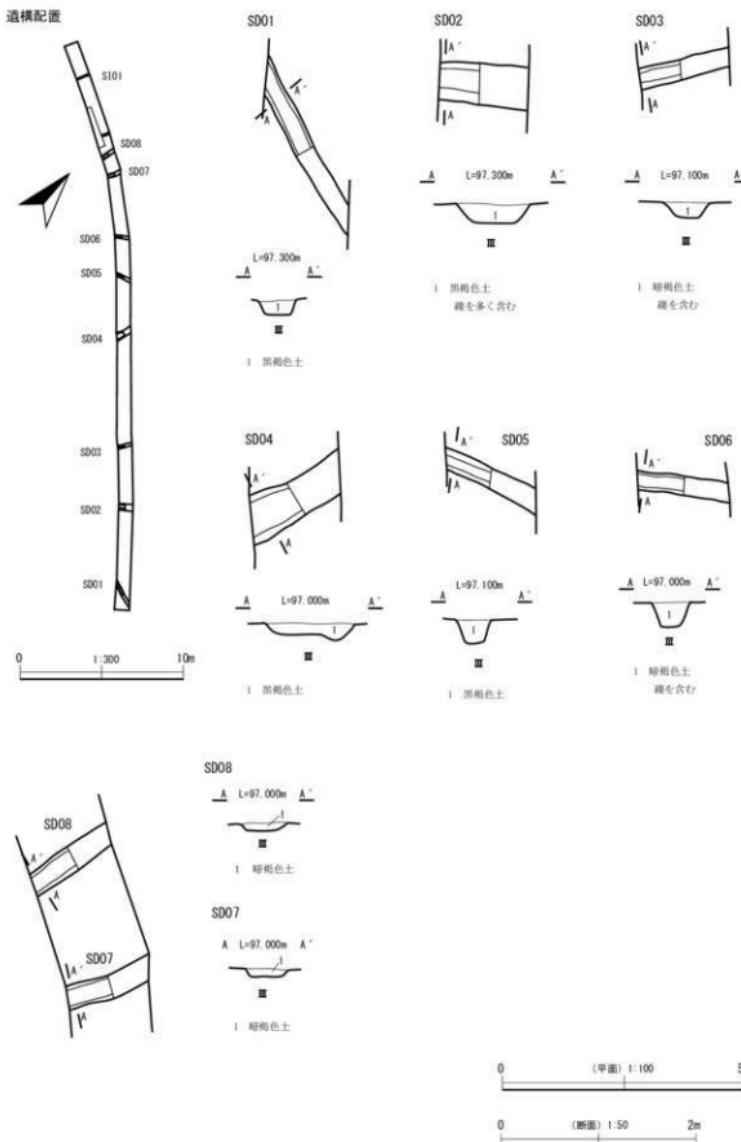
ている。今回の調査は和賀中部第四地区のは場整備事業に係るもので、平成24年度の試掘調査において工事予定地内で遺構が検出されたため、当該箇所を対象として実施した緊急発掘調査である。調査箇所は北上市清掃事業所入り口付近の市道東脇路肩部分で、遺跡範囲の西側縁辺付近にあたる（調査地点は厳密には登録されている遺跡範囲の隣接地であるが、今回調査結果から遺跡範囲が現道路まで広がるものと考えられる）。東北横断自動車道秋田線の建設に伴って発掘調査が行われた旧・上鬼柳I遺跡では、調査の結果、弥生時代の住居跡や遺物が検出されている。今回調査箇所は上鬼柳I遺跡の調査地の南西約200mに位置している。

基本層序は次のとおりである。I a層：黒褐色土（層厚5~10cm。表土）。I b層：盛土（層厚45~70cm。道路盛土。現道側のみ）。II層：暗褐色土（層厚10~20cm）。III層：黒褐色土（層厚5~10cm）。IV層：暗褐色粘質土（層厚5~15cm。漸移層。遺構検出面）。V層：明黄褐色粘土（層厚不明。地山）。

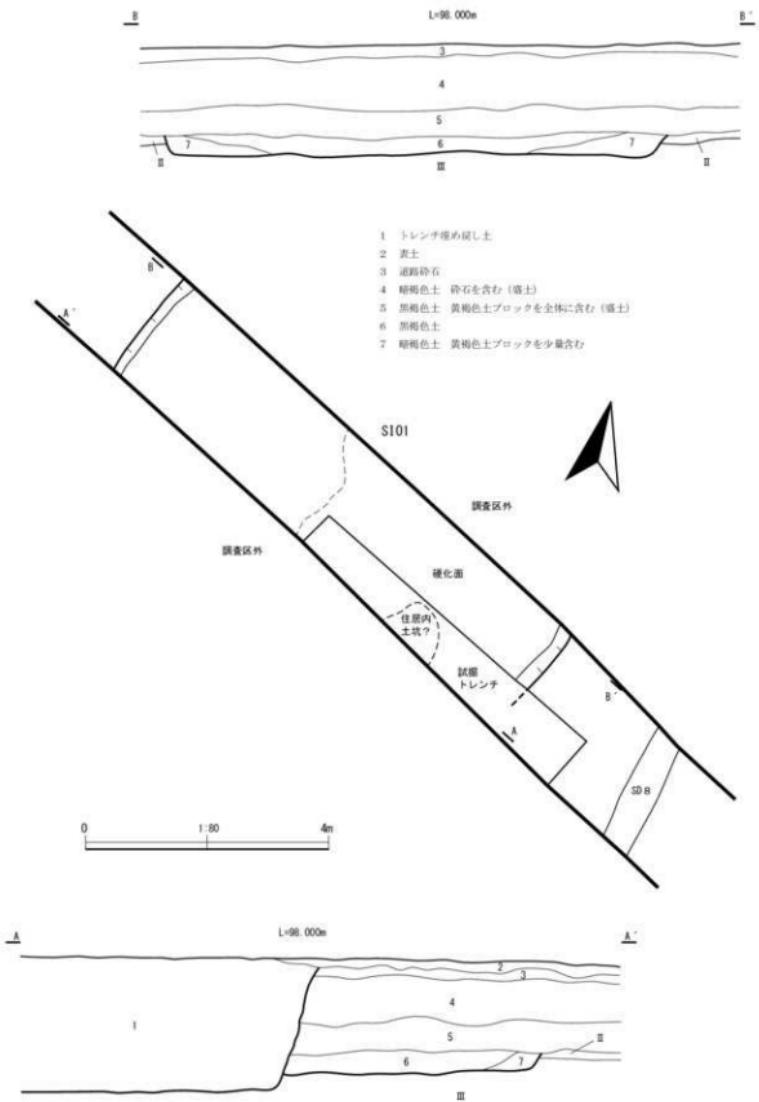
調査の結果、調査区南西側のIV層面で土坑I基を検出した。この土坑は南半部分が試掘調査時のトレンチにより消失しており、試掘で検出された「焼土」にあたるものと推測される。壁ははつきりせず、底面から緩く立ち上がる浅皿状となっている。残りが悪く判然としないが、略円形平面を呈する



第39図 伍大坂II遺跡・六軒遺跡調査位置



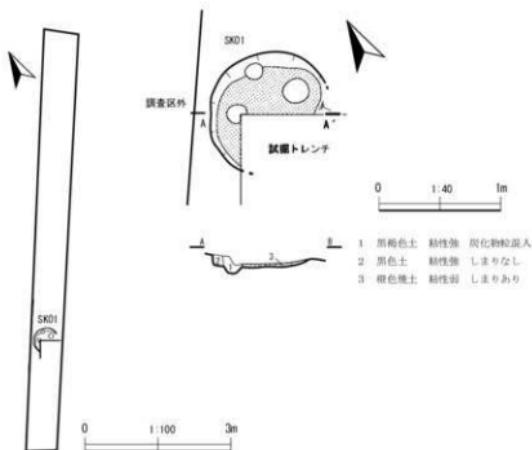
第40図 伍大坂Ⅱ遺跡遺構配置・検出遺構（1）



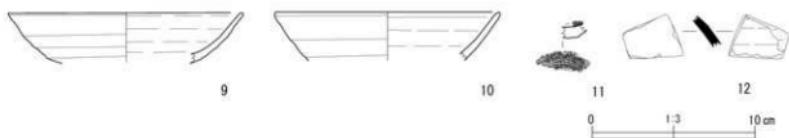
第41図 伍大坂II遺跡遺構配置・検出遺構 (2)

と思われる。底面は被熱して焼土化している（厚さ約2～3cm）。試掘調査の影響で埋土は僅かしか残っていないが、確認した埋土は固結した焼土塊及び土師器小破片を含んだ黒褐色土である。焼土塊は上から崩落したものと思われ、土坑の上部が土で覆われていた可能性がある。この土坑の性格は不明であるが、出土遺物から古代（平安時代）に属すると推測される。

土坑以外の遺構は検出されなかった。また遺物は、土坑埋土から出土したもの以外は、調査区中央付近の水路跡状の凹地から出土した土師器小破片1点のみである。



第42図 六軒遺跡遺構配置・検出遺構



第43図 六軒遺跡出土遺物

第5表 六軒遺跡出土遺物観察表

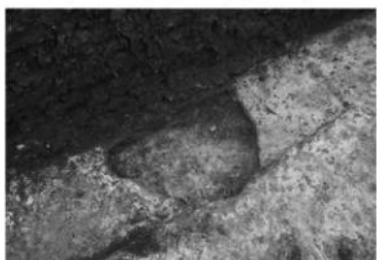
遺跡名	荷致番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm)				特徴
							口径	頭高	底部径	重量	
							底 盤	幅 頸	厚さ		
六軒	9	土坑	埋土	土師器	壺	口縁	—	—	—	—	外面クロナデ
六軒	10	土坑	埋土	土師器	壺	口縁	—	—	—	—	外面クロナデ
六軒	11	土坑	埋土	土師器	壺	底部	—	—	—	—	底部回転系切り、内面黑色処理
六軒	12	発掘区		須恵器	壺?	体部	—	—	—	—	外面ミガキ、内面ナデ



伍大坂II遺跡 調査区全景（南東から）



伍大坂II遺跡 1号竪穴住居跡 完掘（東から）



伍大坂II遺跡 1号竪穴住居跡内土坑 完掘（北東から）



伍大坂II遺跡 1号溝跡 完掘（東から）



六軒遺跡 調査区全景（南西から）



六軒遺跡 1号土坑 完掘（南から）

写真図版25 伍大坂II遺跡・六軒遺跡検出遺構・調査状況



写真図版26 六軒遺跡出土遺物

7 経営体育成基盤整備事業和賀中部岩崎地区

本郷野遺跡 (ME63-1252)

所在地：北上市煤係2地割地内

事業者：県南広域振興局農政部北上農村整備センター

調査期日：平成25年11月7日(木)～11月8日(金)

本郷野遺跡は、北上市役所から西へ10.2km、北上市煤係2地割地内に位置する。今回の調査は和賀中部岩崎地区の圃場整備に伴う計画排水路の工事に係るものである。調査に先立つ試掘調査で、遺跡の範囲内、調査区範囲より半円形の土坑が検出されたため、調査を行った。周辺の地形は岩崎台地の砂礫段丘に区分されている。(『土地分類基本調査 北上』岩手県1975)

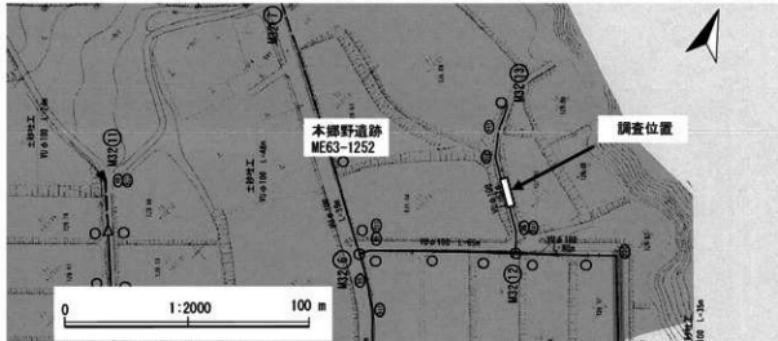
調査地は、和賀川の右岸、秋田自動車道が遺跡内を横断する(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第164集)南側に位置する。現況は、水田造成により改変されているが、調査区周辺は、現地形面が残る北東向き緩斜面となっている。調査地の基本層序は、I層：表土・耕作土(層厚5～10cm)、II層：盛土・農道基盤層ほか(層厚0～100cm)、III層：黒色土(層厚0～50cm・黒ボク土)、IV層：暗褐色土(0～5cm・遺物包含層)、V層：褐色土(30cm～地山・一部礫混じり層)である。

検出された遺構は土坑1基である。平面形は隅丸の方形形で、断面形は開口部から内傾するフランコ状である。現存する計測値は、開口部径が長軸150cmで、深さは最大で80cm程度である。底面形は梢円形で、最大径で200cmを測る。平面形や断面形は、遺構上位が削平を受けていることを考慮に入れ必要があり、本来であれば、開口部は底部形と同様で円形と想定でき、遺構はフランコ土坑であった可能性が高い。埋土は人為的堆積の暗褐色シルトと黄褐色粘土を主体とした混合土で、上位は炭化物や土器片が多く混入し、中位から一括土器が3個体出土した。下位は、硬く締まる混合土で土器の出土はない。最下層には粘りのある黒色シルトが帶状に堆積している。出土土器3個体は、つぶれた形で出土しており意図的に置かれた(埋設されていた)可能性もある。遺構の時期は、出土土器から縄文時代中期前葉(大木7b～8a式併行か)と考えられる。

平成1～2年に発掘調査された区域から南に離れた地点で、貯藏穴であろうフランコ土坑が検出さ

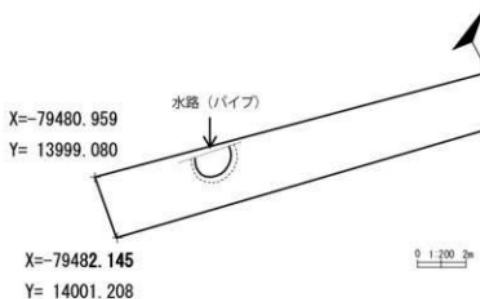


第44図 本郷野遺跡位置

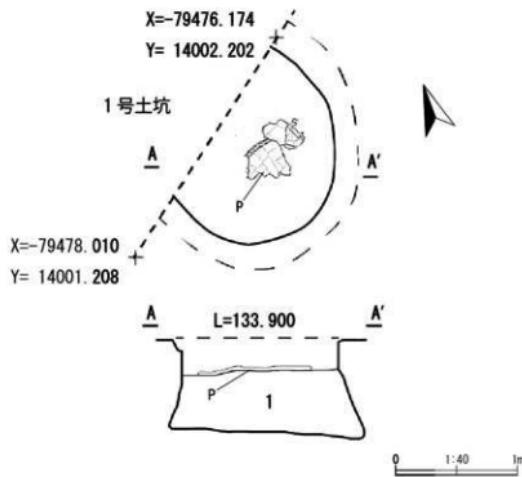


第45図 本郷野遺跡調査位置

れたことは、遺跡の性格を知る上で大きな意義がある。調査区の西側は現地形面が残存していると考えられ、集落の存在が想定される。

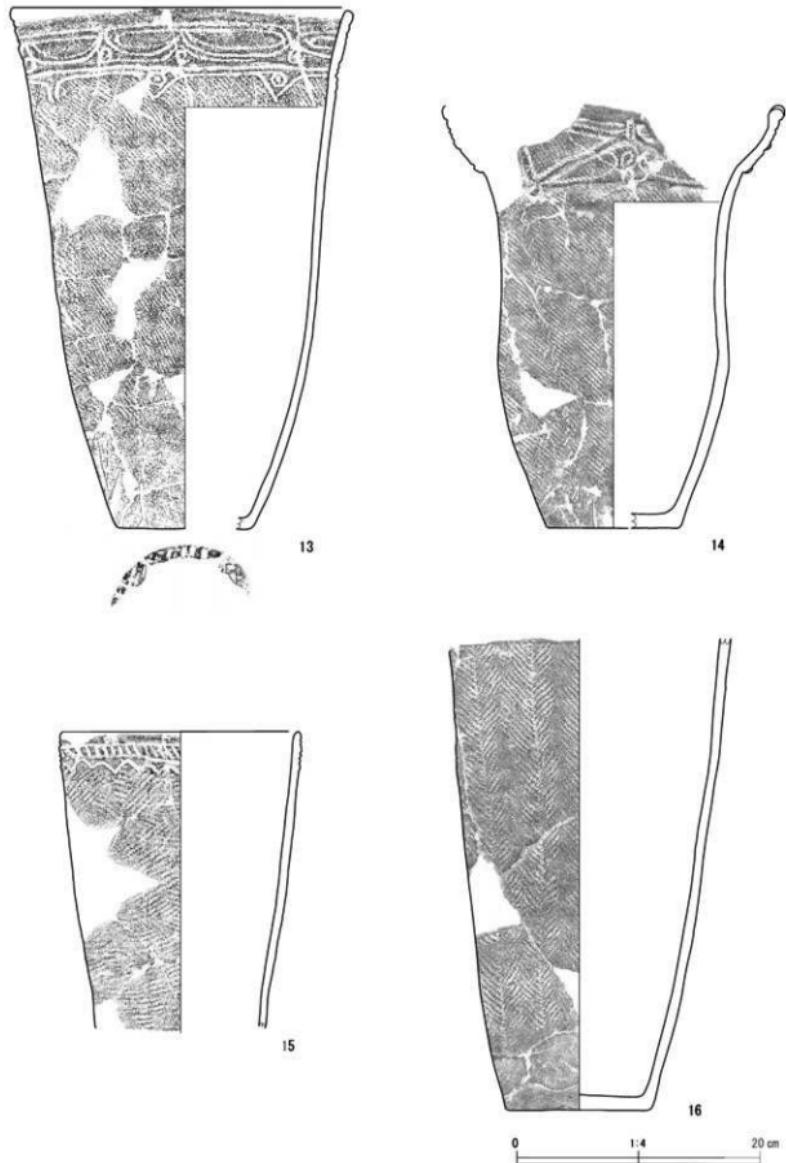


第46図 本郷野遺跡遺構配置

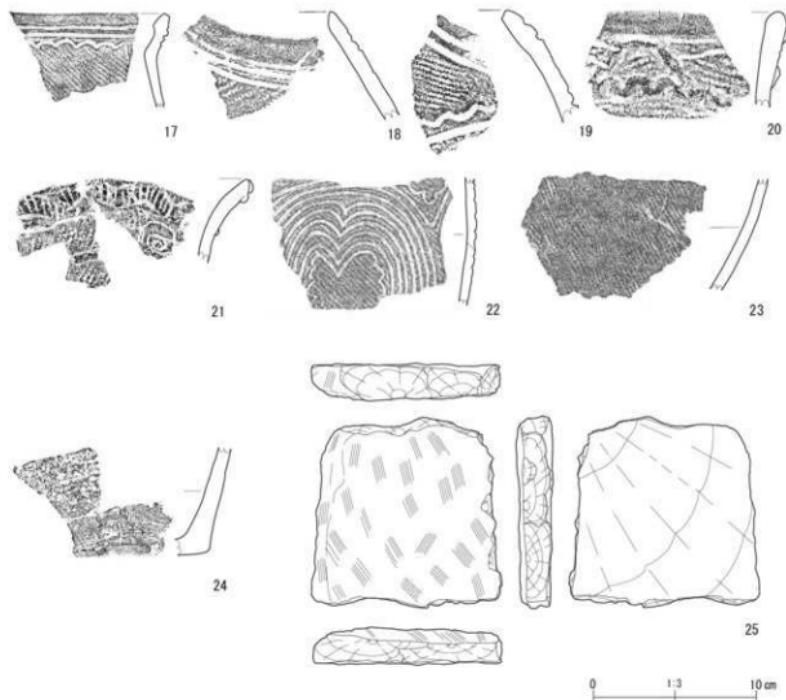


1 10YR 3/4 暗褐色 粘りあり しまりあり シルト
上位に 炭化粒・中位～下位に黄褐色粘土ブロック
最下位（底）に黒色土を含む

第47図 本郷野遺跡検出遺構



第48図 本郷野遺跡出土遺物（1）



第49図 本郷野遺跡出土遺物（2）

第6表 本郷野遺跡出土遺物観察表

遺跡名	揭露番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm)				特徴
							口径	器高	底部径	重量	
底径	柄	厚さ									
本郷野	13	SK01	理土中位	土器	深鉢	口縁部～底部	28.3	43.2	9.2	—	沈線、側面圧痕文、LR 横(結節繩文)、内面ミガキ
本郷野	14	SK01	理土中～上位	土器	深鉢	口縁部～底部	(28.2)	35.0	(10.8)	—	貼付文、側面圧痕文、LR 横(結節第2種)、内面ミガキ
本郷野	15	SK01	理土中～上位	土器	深鉢	口縁部～脚部	(20.0)	(24.5)	—	—	沈線(横走、断面状)、短刻、LR 横、内面ミガキ
本郷野	16	SK01	理土中位	土器	深鉢	脚部～底部	—	(39.0)	12.0	—	LR・RL 横(結節第1種羽状繩文)、内面ミガキ
本郷野	17	SK01	理土	土器	鉢	口縁部	—	—	—	—	沈線(横走、断面状)、LR 横、内面ミガキ
本郷野	18	SK01	理土	土器	鉢？	口縁部	—	—	—	—	沈線、LR 横、内面ミガキ
本郷野	19	SK01	理土上位	土器	鉢？	口縁部	—	—	—	—	沈線(横走、断面状)、LR 横、内面ミガキ
本郷野	20	SK01	理土中位	土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	蛇行貼付文、側面圧痕文、LR 斜、内面ミガキ
本郷野	21	SK01	理土中～上位	土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	蛇行貼付文、側面圧痕文、RL 横、内面ミガキ
本郷野	22	SK01	理土	土器	深鉢	脚部	—	—	—	—	弧状沈線、LR 横、内面ミガキ
本郷野	23	SK01	理土中～上位	土器	深鉢	脚部	—	—	—	—	LR 横、内面ナデ
本郷野	24	SK01	理土中～上位	土器	深鉢	底部	—	—	—	—	RL 斜、底部ミガキ、内面ナデ
本郷野	25	SK01	理土中位	石器	石皿？		10.0	4.9	2.5	93.8	全面磨り



調査状況（西から）



1号土坑 断面（南から）

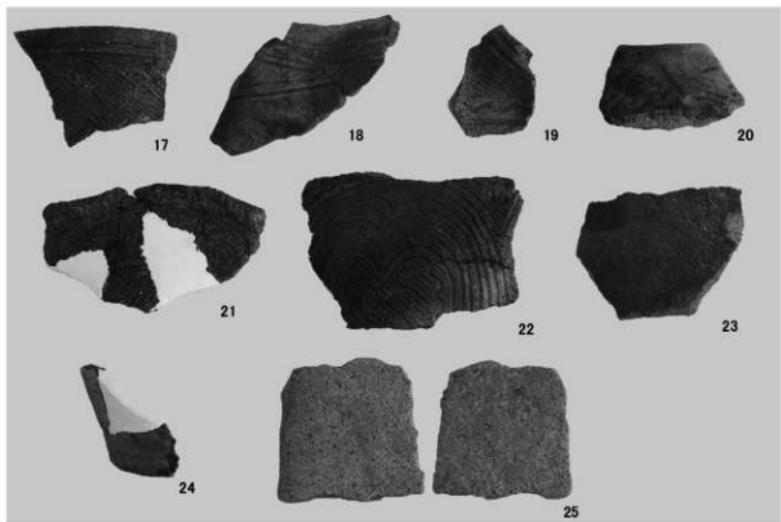


1号土坑 出土状況（南から）



1号土坑 完掘（南から）

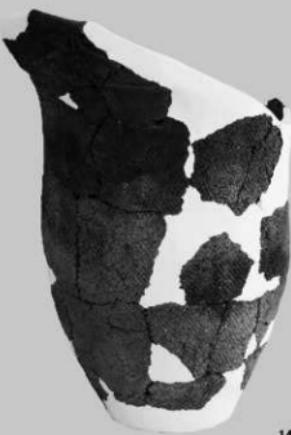
写真図版27 本郷野遺跡検出遺構・調査状況



写真図版28 本郷野遺跡出土遺物（1）



13



14



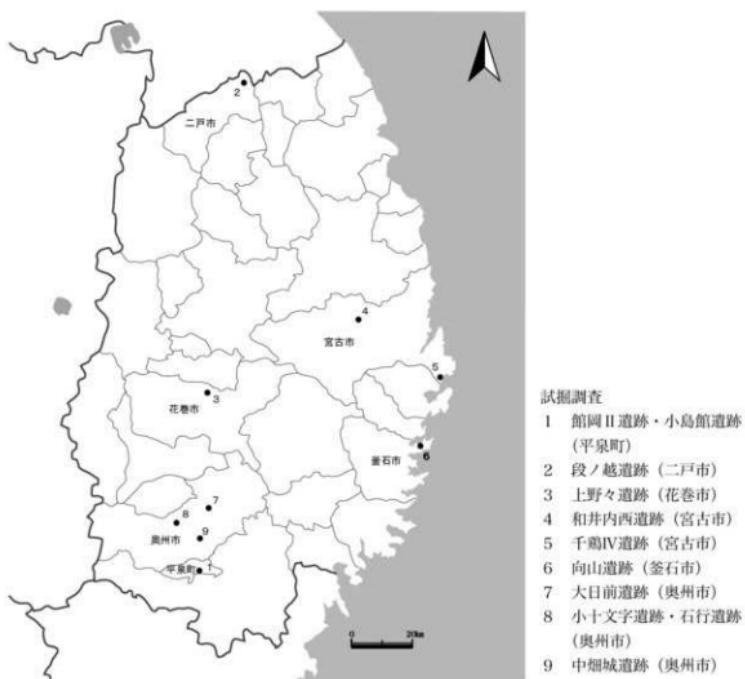
15



16

写真図版29 本郷野遺跡出土遺物（2）

II 試掘調査



第50図 試掘調査位置

1 一関遊水地事業（第2管理用通路）

館岡II遺跡 (NE76-1279)

小島館（古館）遺跡 (NE76-1383)

所在 地：西磐井郡平泉町長島字館岡・古館

事 業 者：国土交通省東北地方整備局岩手河川国道

事務所

調査期日：平成25年7月8日（月）

館岡II遺跡は平泉町役場の東約2.4km、北上川左岸の中位段丘面に立地している。遺跡の載る段丘は、東側の山稜から北上川へと流れる小河川によって開析されて南北に細長く張り出す丘陵状になっている。この張り出し部分の南側が当遺跡の範囲であり、館主不明の中世城館跡とされている。なお段丘の北側は館岡I遺跡（繩文時代晚期の遺物散布地）とされている。

今回の調査は遊水地の管理用通路工事に係るもので、遺跡の南西端に位置する平場部分について実施した。推測される館の縄張りから見れば、遺跡中央付近の小高い宅地が館中心部分の平場（主曲輪）にあたり、今回調査地は縁辺の平場であると解される。調査地は現況で3段の平場からなり、北側に狭い平場2段（便宜的に「上段」「中段」とする）、南側に低い平場（同じく「下段」）が見られる。上・中段は畠地、下段は宅地跡である。

調査地にトレント4箇所を設定した（T1～4）。上段のT1及び中段のT2では、表土下に礫交じりの暗褐色土（II層）が見られた。このII層を除去すると地山の黄褐色粘質土層（III層）となる。III層は南へと緩く傾斜しており、自然地形は緩斜面であったと推測される。地山の上に載るII層については人為的な盛土と解されるが、遺物を一切含まないため時期を特定できなかったが、城館の平場普請のための整地層である可能性がある。一方、中段から下段の間の法面裾にT3、下段の平場にT4を設定した。いずれも表土は10～20cmと薄い。T3では遺構・遺物は確認されなかったが、T4において柱穴6個が検出された。柱穴は円形ないしは椭円形のもので、規模から2種に分かれる。径60～70cmの大径のもの、径30cmの小径のもの、それぞれ3個である。柱穴に伴う遺物は出土せず、これら柱穴の時期は特定できなかったが、ごく新しいものとは思われず、城館に伴うものである可能性が高いと推測される。

今回試掘では、T1～3では遺構・遺物なし、T4で柱穴6個・遺物なし、という結果であった。しかし、整地層（II層）の存在から考えれば現況地形の平場そのものが遺構である可能性が高いと推測される。したがって、工事範囲内の平場全体について発掘調査が必要と判断される。

小島館遺跡は平泉町役場の東約2.7km、北上川左岸の中位～低位段丘面に立地している。遺跡の載る段丘は、北上川沿いの氾濫低地へと舌状に張り出している。当館跡は中世末期、城主は「小島三右衛門」と伝えられ、『岩手県中世城館跡分布調査報告書』（岩手県教委1986）では、城館の主郭は現在八幡宮が鎮座する箇所で、東に堀があると記載されている。

今回の調査は遊水地の管理用通路工事に係るもので、遺跡の西側縁辺、町道に隣接する宅地跡・畠地について実施した。南側の畠地にT6・7、北側の宅地にT8・9、合わせて4箇所のトレントを設定した。

現道に近いT6で土坑1基と溝跡1条を検出した。土坑と溝は重複しており、溝跡が新しいもので

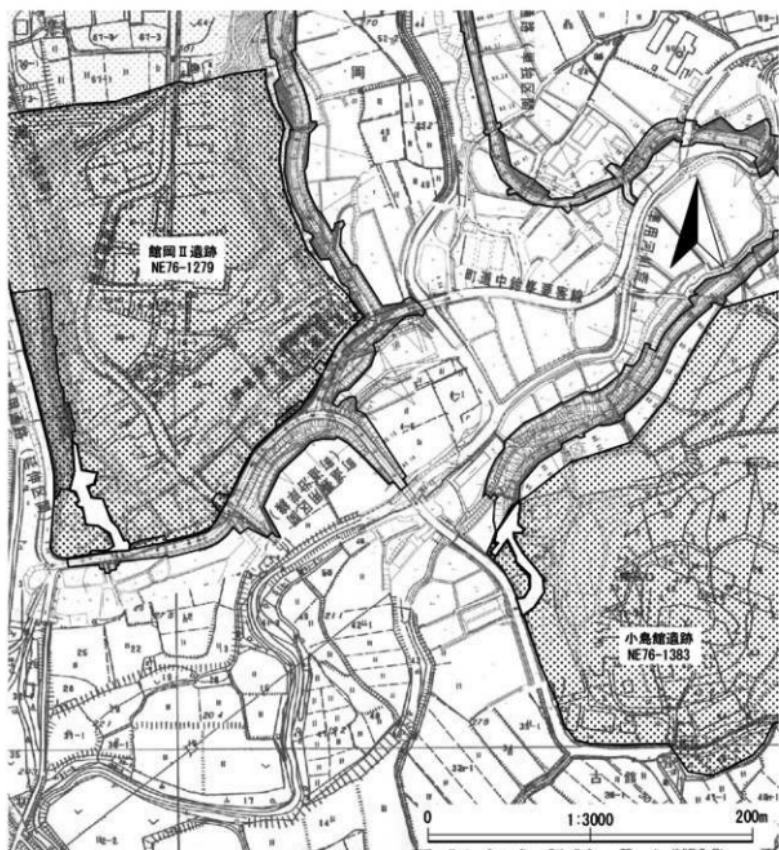


第51図 館岡II遺跡・小島館遺跡位置

ある。土坑は溝により東側の一部を破壊されているが、径1m程度の略円形を呈している。溝跡は埋土に疊を含んだ幅90cmのもので、ほぼ南北方向に伸びている。ともに地山であるIV層上面で検出した。遺構に伴う遺物は出土せず、時期は明らかではない。T7では遺構・遺物ともに確認されなかつた。宅地跡のT8・9では盛土が厚い状況であった。現況では一段高く平坦な宅地であるが、地形改変によるものであった。この地形改変そのものは城館の普請によるものではなく、宅地造成時のものと推測される。両トレンチとともに遺構・遺物は検出されなかつた。

以上のとおり、今回調査では南側の畠地で遺構（時期不明）が検出された。T6周辺について発掘調査が必要になると判断される。

（平成25年度、当課が発掘調査実施済み）



第52図 館岡II遺跡・小島館遺跡調査地点

2 煙地帯総合整備事業（担い手育成型）湯田地区

段ノ越遺跡 (IF70-2074)

所在 地：二戸市金田一字段ノ越

事 業 者：県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室

調査期日：平成26年3月13日(木)～3月14日(金)

段ノ越遺跡は、二戸市役所の北約6.4kmに位置し、馬淵川右岸の丘陵面（川との比高10m以上）に立地している。当遺跡の北側には下山井館遺跡（中世・城館）及び下山井遺跡（縄文・散布地）が、馬淵川の対岸には駒焼場遺跡（平安・集落跡：旧・府金橋遺跡を統合）が所在している。今回調査は、湯田地区的農業用給水管路設及び農道整備工事に係るものである。当事業に係る試掘調査は24年度に一部実施しており、今回は遺跡の南側から西側へと縱断する支線1本（18号）、東側の支線3本（18-1-1・3・4号）を試掘した。

西側の支線18号にトレンチ8箇所を設定したところ、土坑4基を検出した。土坑を検出したのはT 3・4・5・7である。T 3～5の土坑は、径2m内外の円形基調を呈するもので、検出面はいずれも南部浮石層（V層）上面である。埋土上位には十和田a火山灰（西暦915年頃に降下）と思われるバミスが堆積している。T 3～5設定箇所は北東側から連続する緩やかな丘陵面であり、この地形面に他にも同様な土坑が存在していると推測される。一方、T 7の土坑は径1m程度、火山灰は確認されなかった。検出面は明灰褐色のシラス面（VII層）である。堆積土層の状況から、上部が削平されていると思われる。T 7の周辺は、T 3～5の丘陵面と小谷を挟んで対向する狭い尾根状となっており、この部分にも他の遺構が存在する可能性は大きいと予想される。いずれのトレンチでも遺物は出土しなかった。検出された土坑は火山灰の存在から平安時代以前のものではあるが、現時点での時期特定はできない。

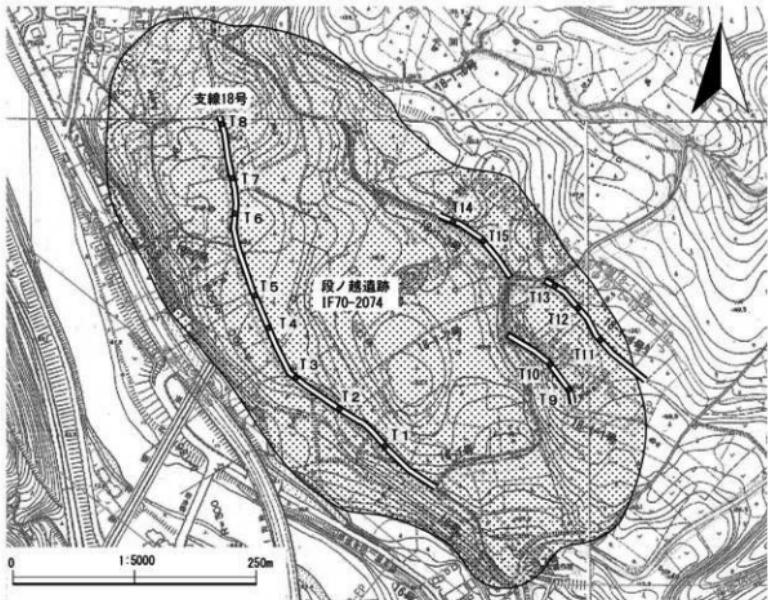
なお、路線南東のT 1・2周辺は傾斜面を造成して現道開削していると考えられ、周辺に遺構は無いと思われる。他の3路線については、遺構・遺物とともに検出されなかった。

以上の調査結果から、支線18号のT 3以北の路線について発掘調査が必要である。

(平成26年度、当課が発掘調査実施済)



第53図 段ノ越遺跡位置



第54図 段ノ越跡調査地点

3 一般国道456号関口地区交通安全施設整備事業

上野々遺跡 (LE97-2160)

所在地：花巻市石鳥谷町新堀

事業者：県南広域振興局土木部花巻土木センター

調査期日：平成25年6月6日（木）、7月1日（月）

上野々遺跡は花巻市役所の北北東約9.5km、北上川と稗貫川の合流点付近の低位段丘面に立地している。遺跡は縄文時代と古代の散布地とされており、北上川左岸の氾濫低地に張り出す段丘の北西縁に広がっている。近隣住民によれば、過去には場整備が行われており、それに伴う試掘調査において遺構・遺物が検出されていることである（詳細は未確認）。

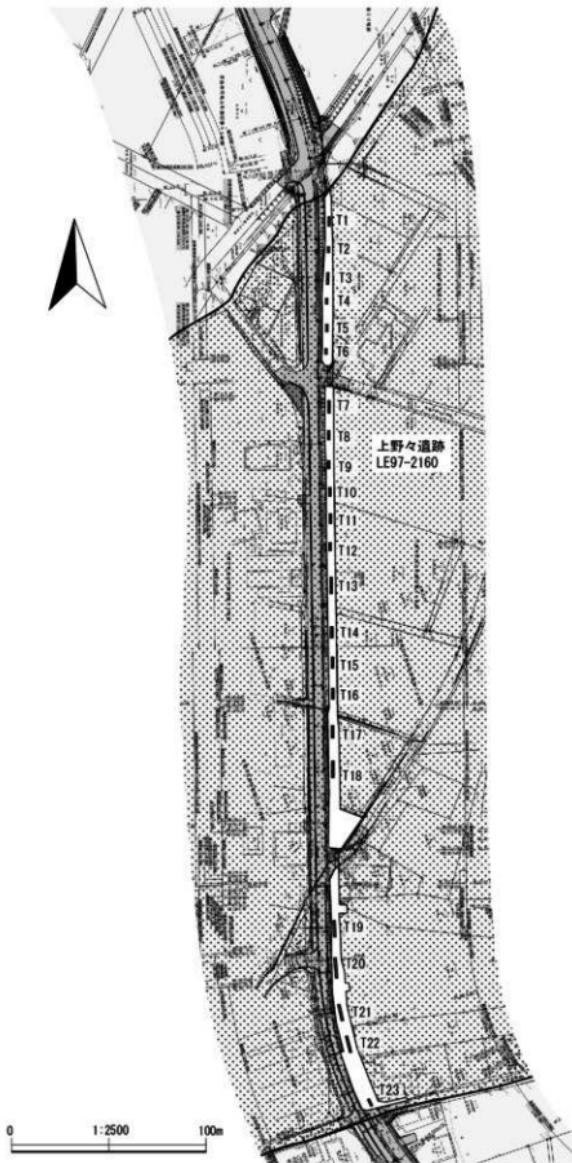
今回の調査は国道456号の改良工事に係るもので、調査地は現道東側に隣接する宅地・水田・畠地である。調査地にトレチ23箇所を設定した。段丘線にあたる調査区北側の畠地にT1～4では、表土層（Ia層）下で礫を多く含んだ黒褐色土層（II層）が見られた。この層は人為的なもので整地のための盛土層と推測される。旧表土層は確認されず、盛土直下が黄褐色土層（IV層；地山）となる。土地改良区事務所用地西側に設定したT5・6でも盛土層が50～80cmと厚かったが、ここでは盛土下に30cm程の自然堆積の黒色土層（III層）が残存していた。III層からの出土遺物はなく、IV層面で遺構確認したが検出されなかった。T7～18は現道東脇の水田部分に設定した。層序は北側のT1～6とほぼ同じであるが、III層が厚さ30～60cmとやや残存状況は良く、T9・13で遺構が検出された。T9では、東西方向へと延びる溝跡が検出された。検出面はIV層上面である。幅20cm、深さ10cm程と小規模で、遺物は出土しなかった。時期は明らかではない。T13では、焼土粒を含んだ遺構プランをIV層面で検出した。トレチ幅が狭いため規模詳細が不明であるが、トレチ長軸の南北方向では3m程度、黒褐色土が広がっている。遺構プラン内から縄文土器片が出土しており、該期の竪穴住居跡と推測される。また、T12・14・18で縄文土器片が出土している。一方、調査区南側の果樹林部分にT19～22、宅地部分にT23を設定した。宅地はもちろん、果樹林部分も地形変更を被っており、ともに旧表土層は消失していた。T19～23では遺構・遺物は検出されなかった。

以上のとおり、調査区南北両側は地形変更により遺構・遺物は消失しているが、中央付近の水田部分には遺構・遺物が遺存していると推測される。



第55図 上野々遺跡位置

（平成26年度、当課が発掘調査実施済）



第56図 上野々道跡調査地点

4 一般国道340号和井内地区地域連携道路整備

事業

和井内西遺跡 (LF18-1335)

所在 地：宮古市和井内字清水

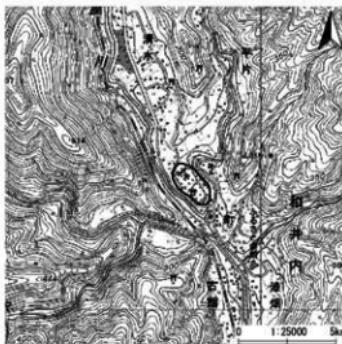
事 業 者：沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

調査期日：平成26年2月19日(水)

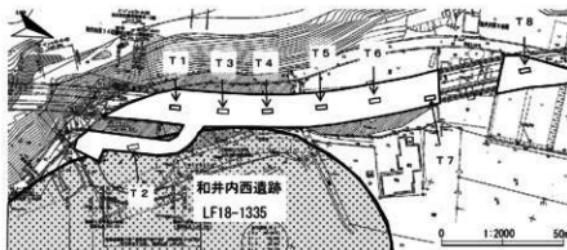
和井内西遺跡は宮古市役所の西北西約22.1 kmに位置し、国道340号（茂市・岩泉）の東にあたる。刈屋川中流域の左岸にあり、平片沢の合流点に近い場所である。地形は、中起伏山地に囲まれた砂礫段丘で、遺跡範囲の大部分が和井内小学校敷地造成により改変されている。対象地は、和井内小学校が所在する東に一段高い台地面と接し、西は谷底河川と接する狭く平坦な段丘面がみられ、現況は水田や畠地・宅地として使用されている。

今回の試掘調査区は、遺跡に隣接する南北に通る計画道路の本線部分と、遺跡範囲にかかる調査区南東部の取付道路部分である。全体の様相を把握するため、南側から順に8箇所のトレンチを設定した。調査区南端のT1では、表土層の下に灰褐色土の砂礫層(V層)起源の砂礫層がみられ、遺構・遺物はなかった。遺跡範囲にかかるT2では、黒色土(II層)の下位で焼土ブロックが多く確認された。何らかの遺構と思われたため、プラン把握のため、暗褐色土(III層)～V層と順次掘下げたが不明確であった。複数の遺構の重複である可能性も考えられる。包蔵地に近いT3からは、III層上面より、陥し穴状遺構と思われる長楕円の土坑が確認された。T4では、III層漸移層とIV層地山層が逆転している部分がみられた。人為的改変と考えられるが出土遺物はなく、改変の時期やその性格は不明である。T5では、基本層序の通りの堆積がみられたが、遺構・遺物は確認できなかった。T6では、IV層上面より、焼土と礫(炉石の一部?)が確認された。T7・T8では遺構・遺物とも確認されず、T8では、表土直下でV層起源の砂礫層がみられた。調査の結果、遺跡範囲が北西に広がることが確認された。どのトレンチからも遺物は確認されず、遺構の時期を決定づけるものはないが、遺跡台帳の記載より縄文時代と推測される。但し、T3の土坑や焼土については、その検出状況から、古代以降の可能性も否定できない。

(平成26年度、当課が取付道路部分を発掘調査実施済、平成27年度、本線部分を調査予定)



第57図 和井内西遺跡位置



第58図 和井内西遺跡調査地点

5 主要地方道重茂半島線千鶴地区地域連携道路

整備事業

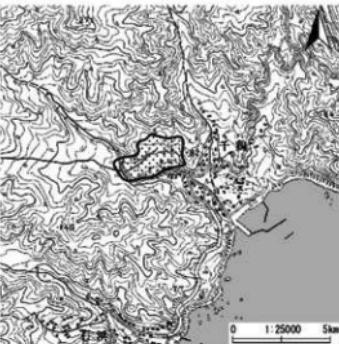
千鶴IV遺跡 (LG75-0248)

所在 地：宮古市重茂第12地割上野

事 業 者：沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

調査日：平成25年11月25日（月）

千鶴IV遺跡は、宮古市役所から南南東に13.5km離れた、太平洋に突き出た本州最東端の鮎ヶ崎の南西にある。太平洋並びに、宮古湾に面する海岸地帯には、山地が海にのぞんで海岸をつくっているが、屈曲に富み無数の入り江をつくっている。現在でもその入り江に多くの集落が点在するが、特に鮎ヶ崎北西の重茂地区と南西の千鶴地区に大きな漁村が形成されている。遺跡は半島北部の海岸段丘沿いと重茂地区、千鶴地区に多く、縄文時代前期～晩期にかけての土器を出土させており、千鶴遺跡では、縄文時代前期初頭の堅穴住居跡も確認されている。今回の試掘調査区は、千鶴IV遺跡の中央部を横断しており、13箇所のトレンチを設定した。T 1・T 2を設定した区域は、南東に張り出した尾根の先端である。やや広い平坦部があり、調査の結果、方形のプランを検出した。遺物は出土していないが、高地性の堅穴住居跡の可能性が考えられ、時期は古代と想定する。T 6は、遺跡の東に隣接する丘陵地の南西緩斜面に設定している。なだらかな斜面に急激に落ち込む部分が見られ、大型の円形のプラン（土坑）が検出された。底面が平坦なことから堅穴住居跡の可能性もある。T 4・5はT 1・2と同様のやせ尾根に設定した。平坦部は狭小であり、また地山は花崗岩質で脆く、遺物も出土していない。T 3・T 7については遺構・遺物とも検出されていない。T 101では、硬く踏み固められた盛土の下より、半円形で検出された遺構（土坑）を確認した。また、その土坑の埋土より縄文の土器片が出土している。T 102では、トレンチ北東隅より、焼土が確認された。T 103は、山の尾根筋斜面に位置し、I～IV層が少なく遺構は確認されなかった。但し試掘できなかったがT 103南の、南向き緩斜面については、位置や標高などから包蔵している可能性が高いと思われる。T 104は沢の脇に位置し、湧水が激しく遺構を確認できなかった。T 105・T 106においては、ほぼ基本層序に近い堆積が認められたが、遺構・遺物を確認することはできなかった。調査の結果、縄文時代と古代と考えられる遺構が包蔵されていることが確認された。



第59図 千鶴IV遺跡位置



第60図 千鶴IV遺跡調査地点

（平成26年度、県埋蔵文化財センターが発掘調査実施、平成27年度継続調査予定）

6 災害復旧事業白浜（鵜）地区

向山遺跡（MG43-2358）

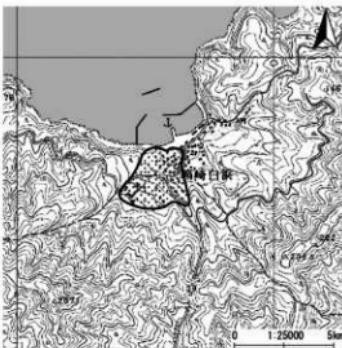
所在 地：釜石市箱崎町白浜

事 業 者：沿岸広域振興局水産部漁港復旧課

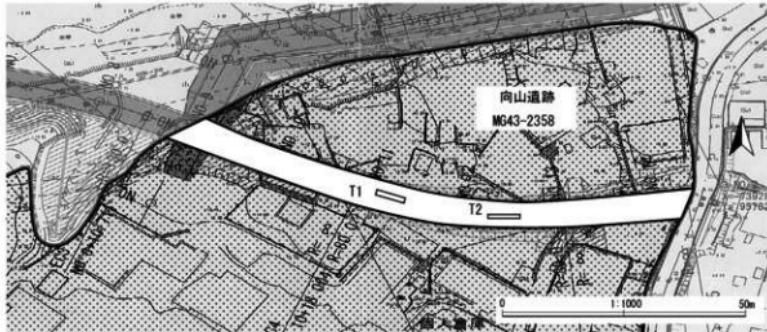
調査期日：平成26年2月27日（水）

向山遺跡は、釜石市役所の北東7.5kmに位置する。太平洋に開ける大槌湾の南岸に細長く突き出た、箱崎半島の付け根から3.5kmほど離れた北向き緩斜面に立地し、背後は小起伏山地に囲まれる。半島の北側に開けた2つの地区（箱崎町箱崎、箱崎町白浜）には6遺跡があり、時期的には縄文時代から弥生時代、そして古代・近世に及ぶ。また、付け根や先端部分の遺跡を含めた、半島全体では、大槌や釜石市で出土例の少ない弥生土器の出土させる遺跡の多いことも特色である。

今回の試掘調査は、防潮堤の建設に伴う付属道路が、向山遺跡内に計画されたことから行われた。計画された現道に接続される最東端部分は、宅地造成や道路建設などのために大きく削られてしまい、盛土されていることが判明したために、調査していない。試掘トレンチは事業予定区域の中央部に2箇所設定した。北西側T1では、表土下の黒色土下位から焼土が検出されている。その周囲から土器が検出し、円形の遺構を検出した。大型であり、土器の出土も多いことから堅穴住居跡の可能性が高い。土器は、深鉢の胴部の破片で、縄文時代中期前葉（大木7b～8a式併行か）のものと推定される。T2は段丘の縁に当たる区域に設定した。盛土は地表から20cm程であり、その下からは黒色土が確認されたことから、トレンチを設定した段丘面においては、大きな地形の改変はなく、遺構は残されていると判断される。検出した遺構は大型の土坑1基である。検出面はⅢ層（土器包含層）上面で、時期は縄文時代より新しい遺構（中近世か）と考えられる。T2では地山面まで確認しておらず、よってⅢ層包含層の厚さは不明であるが、Ⅲ層包含層上面を検出面とする時代と、Ⅲ層下（Ⅳ層面）を検出面とする2つの時代の遺構が存在すると考えられる。



第61図 向山遺跡位置



第62図 向山遺跡調査地点

7 経営体育成基盤整備事業石山地区

大日前遺跡 (NE18-0050)

所在 地：奥州市江刺区田原字大日前

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成25年11月11日(月)

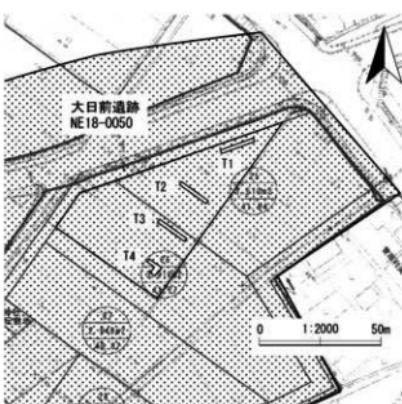
大日前遺跡は奥州市役所の東北東約5.2km、国道456号と県道251号の交差点付近から県道251号東から南西側の水田面に広がっている。付近は伊手川右岸の自然堤防及びその周辺の谷底平野にあたる。自然堤防部分は周囲の水田面よりも僅かに高位で、現況では宅地・畑地となっている。今回の調査は石山地区は場整備に係るものである。当事業に係る試掘調査は平成24年に当課が実施しているが、今回は前回調査の未了部分について試掘を行った。調査地は国道と県道の交差点の南東側に位置する田面3枚である。

田面にトレンドチ4箇所を設定した。北側の三角形の田面区分に設定したT1では、耕作土層の直下が砂礫層(III b層)であり、遺構・遺物ともに確認されなかった。またT2・3では、耕作土下に20cmほどの盛土整地層(II層)が見られた。II層を除去すると砂質土層(III a層)となったが、遺構は検出されず、遺物も出土しなかった。

一方、南側の田面のT4では、耕作土の直下の黄褐色砂質土層(III a層)上面で溝跡1条・柱穴2個を検出した。溝跡は、ほぼ南北方向に延びており、幅2.3mを測る。埋土には炭化物が疎らに混入し、埋土上面で土師器甕の破片1点が出土した。平安時代の遺構と推測される。また、溝の東側には径30cmほどの柱穴2個が検出された。1個の埋土上面には土師器壺の底部片が出土しており、平安時代に属するものと推測される。遺構の検出面は溝・柱穴とともに地表面-20cmである。



第63図 大日前遺跡位置



第64図 大日前遺跡調査地点

前回試掘では、今回調査箇所の東側(宅地寄りの高位面)の自然堤防上を中心に、平安時代及び12世紀の遺構・遺物が検出されている。前回検出された遺構分布域が、今回調査のT4付近まで広がっていると判断される。

(平成26年度、(一財)奥州市埋蔵文化財調査センターが発掘調査実施済)

8 経営体育成基盤整備事業荻ノ窪地区

小十文字遺跡 (NE25-1065)

石行遺跡 (NE25-2033)

所在地：奥州市胆沢区南都田字小十文字・石行
事業者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成25年11月7日(木)～11月8日(金)

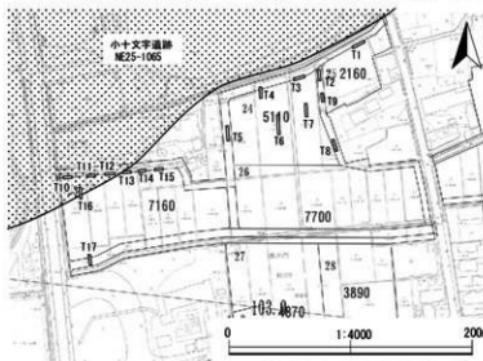
平成25年12月4日(水)～12月5日(木)

小十文字遺跡は奥州市役所の西南西約6.5km、胆沢扇状地の扇央部中央付近に位置している。胆沢扇状地には北緯を東流する胆沢川の下刻作用により複数の段丘面が形成されているが、当遺跡はそのうち中位段丘下位面に載っている。遺跡の範囲は主に周囲の水田面より僅かに標高高い微高地部分であるが、その中心部分は旧胆沢町の体育施設建設に伴い大規模開発されており、体育館・野球場・陸上競技場等が設置されている。周辺には宅地・畠地が広がっている。

今回の調査は荻ノ窪地区のは場整備工事に係り、遺跡範囲及び隣接する工事範囲について試掘したものの、調査範囲は遺跡南東側（体育館・陸上競技場敷地の南側隣接部分）の水田面である（計画田面23～25）。トレチ17箇所を設定した。東半部の田区24・25にはT1～9を設定した。北辺の道路予定地に設定したT1・3・4では厚さ40～90cmの盛土層が確認された。昭和50年代の空中写真の判読から今回調査範囲の北辺付近には旧河道の存在が想定されるが、旧河道（現水路）沿いについては盛土整地されていることが確認できた。またT6～9では耕作土直下が地山であり、田面の南側は削平されている。以上のトレチでは遺構・遺物とともに検出されなかったが、田区24と25の間に計画されている水路予定地のT2で遺構が検出された。埋土中には灰白色バミス（十和田a火山灰か）が混入しており、平面形及び埋土の状況から古代（平安時代か）の竪穴住居跡と推測した。T2付近には旧表土（II～III層）が残っており、削平を被っていないため、遺構が残存したものと思われる。西側の田区23にはT10～17を設定した。殆どのトレチでは「耕作土直下で地山」という状況であり、全体に削平を被っていたが、T11で土坑1基、T12で竪穴住居跡1棟・溝跡2条、T14・



第65図 小十文字遺跡・石行遺跡位置



T16で溝跡各1条を検出した。一方、確認のため田区南辺に設定したT17では、遺構は確認されていない。

今回調査範囲北辺の旧河道を境として、それ以北の微高地面が遺跡の中心部分と推測されるが、旧河道南岸縁辺付近にも遺構が存在している状況が確認された。検出された遺構群は遺物が確認できなかつたため詳細な時期は特定できないが、その形態等から平安時代のものと推測される。なお、調査

第66図 小十文字遺跡調査地点

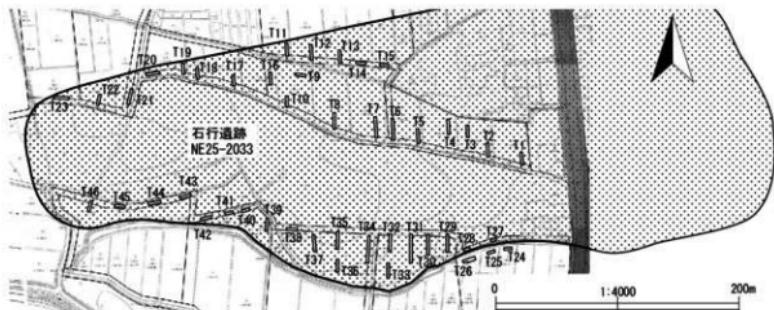
地中央から南側については著しく削平されており、遺構・遺物は消失したものと思われる。以上より、田区25及びその北へ西辺の農道・水路部分、田区23の北西部及びその北辺の農道部分について発掘調査（農道については確認調査）が必要となると判断される。

石行遺跡は奥州市役所の西南西約6.9km、胆沢扇状地の扇央部中央付近に位置している。胆沢扇状地には北縁を東流する胆沢川の下刻作用により複数の段丘面が形成されているが、当遺跡はそのうち中位段丘中位面に載っている。遺跡の範囲は主に周囲の水田面より標高高い微高地部分である。遺跡範囲の東側を県道176号が南北に縱貫し、県道両側には奥州市役所胆沢総合支所や郵便局が建てられており、その他は宅地や畠地、林地となっている。

今回の調査は茨ノ窪地区のは場整備工事に係り、遺跡範囲及び隣接する工事範囲について試掘したもので、調査範囲は県道以西の遺跡西半部の南北両辺付近である（計画田面8～14、15-1～18）。北側田区15-1～18にT1～23、南側田区8～14にはT24～46、合計46箇所のトレンチを設定した。北側のT1～10・16～23は一段低い水田面であるが、これらの田面は現況でも耕作土がぬかるむ軟弱な状態であり、低湿地的な状況と捉えられる。遺構・遺物ともに検出されなかった。この低い田面は遺跡が載る微高地面に北西側から貫入する形となっているが、この部分は元々沢及び周辺の低湿地だったと思われる。現在郵便局舎が建つ地点付近（盛土により嵩上げされていると推測される）を抜けて東の低い田面へと沢・湿地が抜けていると考えられる（その場合、遺跡範囲は南北に分断される形になる）。北側の一段高い田面のT11～15では耕作土直下に黒褐色土の堆積層（Ⅱ層）が見られたが、遺物は含まれず、遺構も検出されなかった。

一方、南側田区のうち北側の畠地にT29～38を設定したところ、T30で柱穴2個、T33で竪穴住居跡1棟（貼床のみ検出）、T34で柱穴列1条（掘立柱建物跡と思われる）、T35で溝跡1条・土坑3基、T37で溝跡1条・土坑1基をそれぞれ検出した。この畠地は耕作土直下がⅢ層（暗褐色土の漸移層。遺構検出面）～Ⅳ層（黄褐色土。地山）となることから削平されていると思われるものの、旧地形がある程度残しており、全体に遺構が残存しているものと推測される。削平されているため遺物はごく少なく、T33の住居跡と思われる範囲から須恵器1点（壺か）、周辺の耕作土から陶器1点（微細部で詳細不明）が僅かに出土したのみである。検出遺構については遺物が殆どないため時期を特定できないが、須恵器が出土していることから古代（平安時代か）に属すると思われる。その他のT24～28・39～46では遺構・遺物ともに検出されなかった。

以上から、田区16・17北側の畠地部分及びそれに隣接する農道・水路部分について発掘調査（農道については確認調査）が必要であると判断される。



第67図 石行遺跡調査地点

9 経営体育成基盤整備事業古城2期地区

中烟城遺跡 (NE46-0322)

所在 地：奥州市前沢区古城

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成25年10月18日（金）

中烟城遺跡は奥州市役所の南約7.2km、奥州市前沢区古城に所在する。遺跡は柏山氏が拠点とした中世館跡であるとされており、「樺山城」とも呼ばれる。

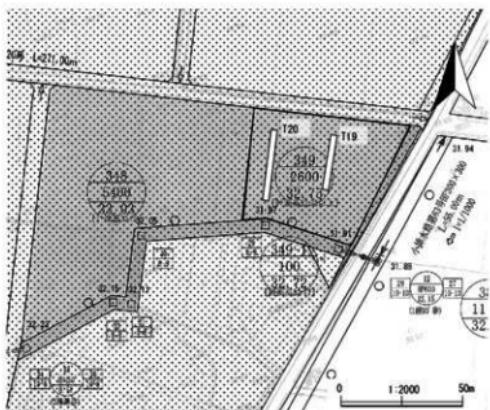
今回の調査は、古城2期地区は場整備に係る暗渠排水溝設置工事にともなうものである。古城地区は場整備に係る当遺跡の試掘調査は平成21年に実施され、工事範囲内で遺構・遺物が確認された。試掘調査の結果を承けて当課と農村整備室との間で工法変更協議が行われ、厚さ20cmの保護層が確保できる範囲については遺構・遺物は盛土保存されることとなった。今回、保護盛土により遺構・遺物を保存した田区について暗渠設置（掘削深度40cm）が計画されたことから、設置予定路線について試掘調査を実施したものである。

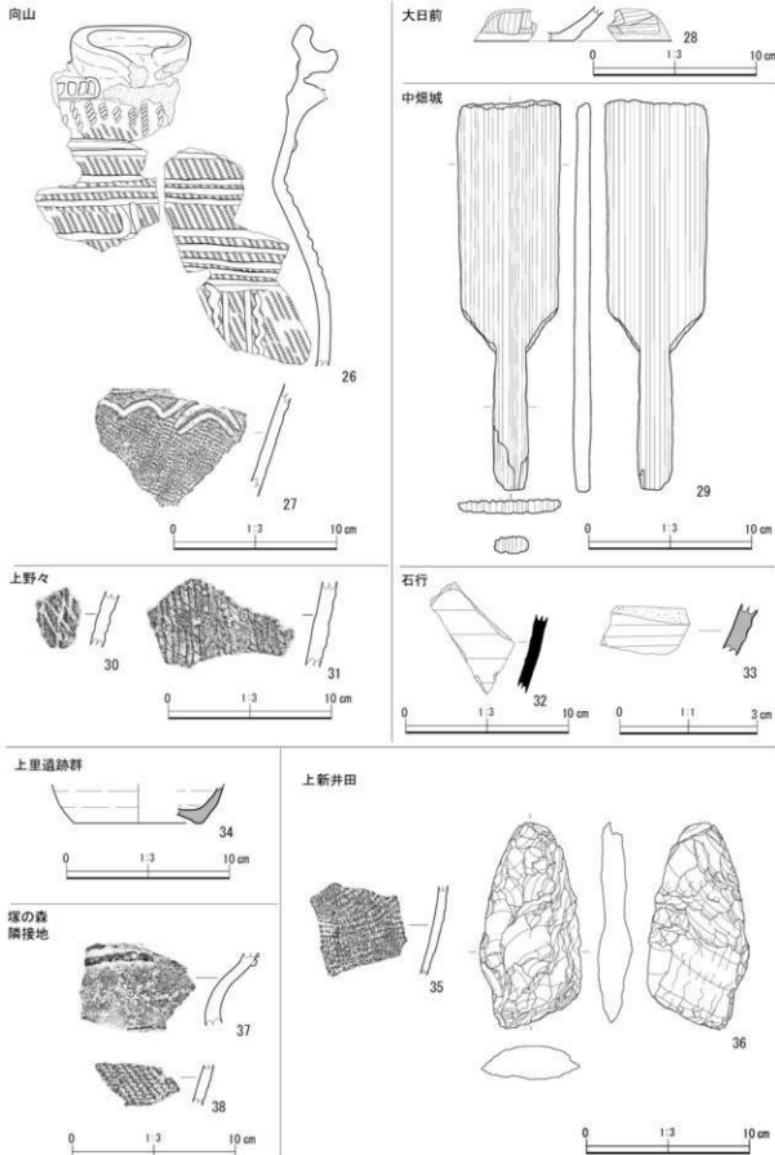
今回調査対象は田区348・349の2箇所である。これらの田区は、試掘調査の結果、土坑・柱穴・溝等が検出されている。田区349にトレーニチ2箇所（T19・20）を設定した。T19では溝跡1条（表土-30cm）、T20では溝跡1条、堀跡1条（表土-30cm）がそれぞれ検出された。溝跡は南北方向に走るもので、幅20~30cmである。T20の堀跡はトレーニチ内では東側の一部を確認したのみで、堀幅は不明である（2m以上と推測）。堀跡の埋土から、竪状の木製品1点（機種不明）が出土した。田区349の状況から、田区348についてはより遺構が密であると推測されることから試掘を省略した。

T20の堀跡は、県埋蔵文化財センターの発掘調査で検出された「1号堀跡」に該当するものと思われる。当堀跡は「中烟城」の外堀であると推測されている。また、古地籍図の読み取りから、現況地形では判別できないものの、田区349内に小区画の曲輪（馬出）が存在している可能性が指摘されている。一方、外堀は田区348まで延びており、明後沢川の旧河道へと連結していると推測される。試掘状況及び繩張りから見て、田区348・349ともに工事に先立って発掘調査が必要になると判断される。



第68図 中烟城遺跡位置



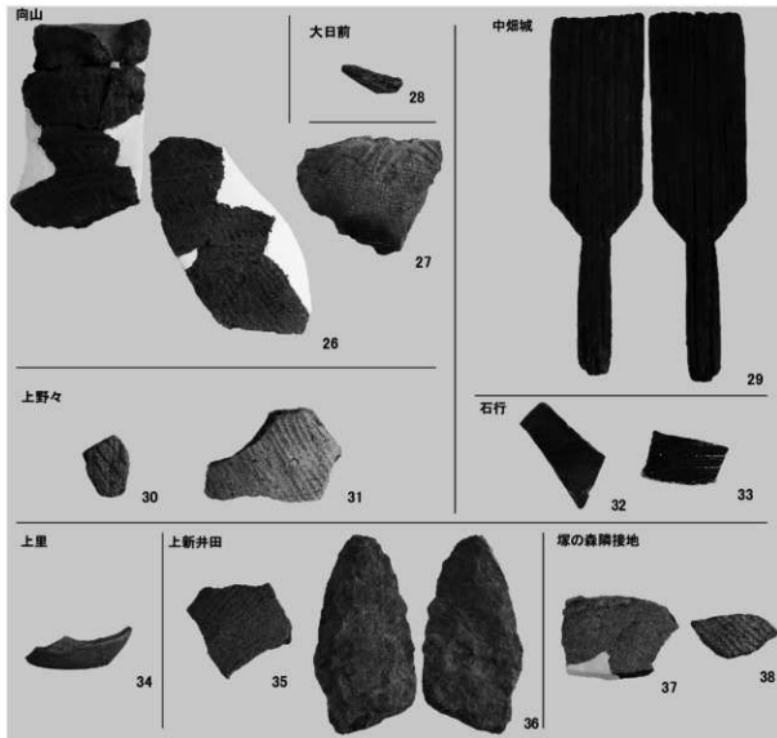


第70図 試掘調査出土遺物

第7表 試掘調査出土遺物観察表

遺跡名	測定番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm)				特徴
							口径 幅	器高 横	底部径 厚さ	重量	
向山	26	T1		土器	深鉢	口縁部 ～胴部	—	—	—	—	貼付文、刻目文、沈線(横走、鋸歯状)LR縦
向山	27	T1		土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	鋸歯状沈線、LR縦
大日前	28	T4柱穴		土師器	甕	底部	—	—	—	—	内外面ナデ
中畠城	29	講?	埋土	木製品			24.2	6.3	1.1	—	跳ないし明き具?
上野々	30	T13		土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	網目状燃え文
上野々	31	T25		土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	LR縦
石行	32	T33	住居埋土?	須恵器	甕?	体部	—	—	—	—	内外面クロナデ
石行	33	T33	住居埋土?	陶器	甕?	体部	—	—	—	—	内外面釉薬
上里	34	T4		陶器	甕?	底部	—	(2.5)	(8.0)	—	内外面クロナデ。釉薬?
上新井田	35	T9	黒色土	土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	LR横、内面ミガキ
上新井田	36	T9	黒色土	石器	打製石片 未製品?		12.9	6.3	2.2	155.2	粗い加工
塚の森I 隣接地	37	T25.26	表様	土器	壺	頸部	—	—	—	—	貼付文、内面ナデ
塚の森I 隣接地	38	T25.26	表様	土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	LRL横

※34~38は遺物のみ掲載



写真図版30 試掘調査出土遺物

1 発掘調査一覧

No.	調査日程	事業名	事業者	遺跡名	所在地	検出遺構	面積(m ²)
1	平成25年8月21日～8月22日	一関港水地事業（第2管理用道路）	国土交通省東北地方整備局岩手河川国土事務所	小島原遺跡	平泉町	土坑2基、かわらけ、北宋瓦、石器12点（藤原氏時代の遺構、遺物）	25
2	平成25年5月7日～8日	地域連携道路整備事業 鶴岡工区	鶴岡広域振興局土木課	大宮遺跡	鶴岡市	溝跡1条	960
3	平成25年6月18日～21日	羽手谷企業局大規模太陽光発電所建設事業	企業局経営秘書室	稻去遺跡	北上市	竪穴状遺構1基	50
4	平成25年7月22日～8月20日 ※ 8月12日～16日（作業休止） 平成25年9月9日～10月1日	地域連携道路整備事業 鶴岡工区	県南広域振興局土木部 遠野土木センター所	赤川Ⅱ遺跡	遠野市	土坑頃35基（内竪穴状遺構34基）、圓文土器片。石器数点、土坑1基、竪穴状遺構30基、圓文土器片	1,000
5	平成25年10月21日～10月23日	県営体育成基整備事業 第六原地区	県南広域振興局農政部 農村整備室	町の内道下遺跡	金ヶ崎町	検出遺構：孤立柱建物跡1棟、溝跡2条、土坑5基、柱穴32個 出土遺物：無	805
	平成25年10月21日～10月23日	県営体育成基整備事業 第七原地区	県南広域振興局農政部 農村整備室	町の内道上遺跡	金ヶ崎町	検出遺構：無 出土遺物：無	1,540
6	平成25年11月18日～11月22日	経営体育成基整備事業 第八原中郡第四地区	県南広域振興局農政部 北上農村整備センター	佐大日Ⅱ遺跡 六軒遺跡	北上市	竪穴住居跡1棟、溝跡8条 土坑1基	35 10
7	平成25年11月7日～8日	経営体育成基整備事業 和賀中部羽崎地区	県南広域振興局農政部 北上農村整備センター	本郷野遺跡	北上市	土坑1基	40

2 試掘調査一覧

※ アミセはⅡ章で記載したもの

No.	調査日	事業名	事業者	遺跡名	所在地
1	平成25年4月8日	地域自主戦略事業（交通安全）一般道路沿岸史山線	県南広域振興局土木部	安久沢遺跡	奥州市
2	平成25年4月16日	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木課一関土木センター	西郷ノ口遺跡	一関市
3	平成25年5月2日	予防的山事業	県南広域振興局林務部	屋ノ沢遺跡	葛巣町
4	平成25年5月10日	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木課花巻土木センター	高木中郷遺跡	花巻市
5	平成25年5月13日	林道整備事業（地域主権地交付金）森林整備道・平根郷（第2工区）改善工事	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター林務室	大穴切田遺跡	一戸町
6	平成25年5月16日、17日	北上川小流域治水対策事業（日本地区）	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	可能性あり（南日出小路11号道跡付近地）下田原ノ口遺跡及び接続地	紫波町
7	平成25年5月27日	地域自主戦略事業（防雪・凍雪対策）	県南広域振興局	可能性あり	西和賀町
8	平成25年6月4日	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部	大谷鉄山跡	芦野町
9	平成25年6月6日	地域自主戦略事業（交通安全）	県南広域振興局土木部	安久沢遺跡	奥州市
10	平成25年6月6日、7月1日	一般国道45号開口地区交通安全施設整備事業	県南広域振興局土木課花巻土木センター	上野ノ遺跡 貝の殻1遺跡 可能性あり（塙の森1遺跡隣接）	花巻市
11	平成25年6月14日	地域自主戦略事業（交通安全）一般道路衣川水堀越	県南広域振興局土木部	上忍谷遺跡	奥州市
12	平成25年6月24日	林道整備事業（霞ヶ丘山地整備交付金）森林整備道新規・千賀嶺（第1工区）改良工事由 施工場計画地	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター林務室	田岡ノ口遺跡	一戸町
13	平成25年6月27日	地域連携道路整備事業（スマートインターフェース設置）	岩手県、NEXCO東日本	中島遺跡	奥州市
14	平成25年7月1日	一般国道平泉寺中尊寺線志願山地区	県南広域振興局土木課一関土木センター	衣間遺跡	平泉町
15	平成25年7月5日	市道原尻原木平瀬若柳地区道路改良工事	県南広域振興局土木部	大常沢遺跡	奥州市
16	平成25年7月8日	一関遊水地事業(第2管理用通)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	館岡ノ口遺跡 小島底遺跡 可能性あり（館岡ノ口遺跡隣接）	平泉町
17	平成25年7月25日	災害公営住宅整備事業（妻の沢地区）	岩手県墓石整備建築住宅課	細田前遺跡隣接地	山田町
18	平成25年7月31日	費用地災害避難地区整理事業 山田地区竹笠工区（土取場）	沿岸広域振興局農林部古殿農林振興センター	可能性あり	遠野市
19	平成25年8月23日	一関遊水地事業	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	舞草神社西遺跡	一関市
20	平成25年9月5日	地域連携道路整備事業	県北広域振興局農政部二戸土木センター	田舎内1遺跡	二戸市
21	平成25年9月9日	和賀中部農業水利事業 湯木幹線用水路調整池下流水路工事	東北農政局和賀中部農業水利事業所	由那領伊達領境域	金ヶ崎町
22	平成25年9月10日	一般国道440号・立丸地区区域連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木課宮古土木センター	可能性あり 1	宮古市
23	平成25年9月24日	横浜川特定緊急砂の事業	港岡広域振興局土木課岩手土木センター	上横沢遺跡	岩手町
24	平成25年10月2日	復興基盤総合整備事業	沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター農村整備室	大野遺跡、大野日遺跡	大船渡市
25	平成25年10月18日	経営体育施設整備事業古林2期地区	県南広域振興局農政部農村整備室	下町遺跡、中畠城遺跡、古城林遺跡、八反町遺跡、古城方八町遺跡	平泉町
26	平成25年10月21日～22日	経営体育施設整備事業	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	八幡前遺跡、八幡野日遺跡、本郷野遺跡	宮古市
27	平成25年10月24日	広域河川改修事業	県南広域振興局土木課遠野土木センター	板木遺跡	遠野市
28	平成25年10月24日	北上川上流流域地区治水対策事業第一課	国土交通省岩手河川道事務所公務第一課	曲田都隣接地	一関市
29	平成25年10月25日	一関遊水地事業(井丹川堤防整備)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	可能性あり	一関市

No.	調査日	事業名	事業者	遺跡名	所在地
30	平成25年10月25日	細地帯総合整備事業(長い手育成型) 男神・米沢・湯田地区	県北広域振興局農政課二戸農林振興センター農村整備室	上里遺跡群	二戸市
31	平成25年10月29日	費用地震関連河川整備事業 宇都御用地区	県北広域振興局農政課農村整備室	上新山道路	久慈市
32	平成25年11月7日～8日	経営体育基盤整備事業 萩ノ瀬地区	県南広域振興局農政課農村整備室	小十文字遺跡	奥州市
33	平成25年11月11日	経営体育基盤整備事業 石山地区	県南広域振興局農政課農村整備室	大日前遺跡	奥州市
34	平成25年11月13日	災害公営住宅整備事業	県土整備部建築住宅課	可能性あり(平林遺跡近隣)	大船渡市
35	平成25年11月14日～15日	西和賀町火葬場建設事業	西和賀町教育委員会	鍵門遺跡	西和賀町
36	平成25年11月20日	災害公営住宅整備事業	県土整備部建築住宅課	該当なし	大船渡市
37	平成25年11月20日	地域道路整備事業(一般国道282号西利ババズ2丁目)	盛岡広域振興局土木部岩手土木センター	東落日遺跡	八幡平市
38	平成25年11月22日	広域公園整備事業(施設) 岡所磨広域公園整備(矢板地区)	盛岡広域振興局土木部	板木遺跡	平石町
39	平成25年11月25日	主要地方道及平島橋千曲地区地域道路整備事業	沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター	千廟IV遺跡	宮古市
40	平成25年11月26日～27日	中山間地域総合整備事業 大清水地区	県北広域振興局農政課二戸農林振興センター農村整備室	上新井田遺跡、小屋沢5遺跡	輕米町
41	平成25年11月28日	地域道路整備事業 一般国道407号御前原駅線(駅場の2区)	沿岸広域振興局土木部岩手土木センター	千丈遺跡、千丈塙(平野遺跡)、可能性あり	川野郷村
42	平成25年12月4日～5日	経営体育基盤整備事業 萩ノ瀬地区	県南広域振興局農業整備課農村整備室	石行遺跡	奥州市
43	平成25年12月9日	中伊地域総合整備事業 川内町	盛岡市広域振興局農政課農村整備室	可能性あり①	葛西町
44	平成25年12月10日	地域道路整備事業(スマートインターフェース設置)	岩手県、NEXCO東日本	中島遺跡	奥州市
45	平成25年12月13日	主要地方道及平島橋川代地区地域道路整備事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	田代田遺跡	宮古市
46	平成25年12月12日	主要地方道及平島橋川代地区地域道路整備事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	可能性あり①	宮古市
47	平成25年12月16日	地域道路整備事業(羽根工区)	盛岡広域振興局土木部	羽根道路	盛岡市
48	平成25年12月17日	農地整備事業(通作業整備)	盛岡広域振興局農政課農村整備室	通作遺跡	盛岡市
49	平成25年12月19日	主要地方道東平島橋大沢～源川日高地域道路整備事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	可能性あり⑤	山田町
50	平成25年12月20日	鹿ヶ森地区春祭りの山工事(災害開避急患山)事業	県南広域振興局農政課花巻農林振興センター	エゾ穴遺跡	花巻市
51	平成26年1月7日	地域自立戦略事業(交通安全)	県南広域振興局土木部 道路河川堤防課	安久沢東遺跡	奥州市
52	平成26年1月8日～9日	農地等災害復旧事業 (H25大船渡工区)	沿岸広域振興局農林水産部大船渡農林振興センター農村整備室	泊貝塚・尾久松山遺跡、大船貝塚	大船渡市
53	平成26年1月28日	地域道路整備事業 桜庭地区(宝船ババズ)	県南広域振興局土木部一関土木センター	浜横堀城	一関市
54	平成26年2月19日	一般国道340号和井内地区地域道路整備事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	和井内西遺跡	宮古市
55	平成26年2月25日	災害復旧事業	沿岸広域振興局水産部漁港復旧課	赤道絆塚・白船遺跡	大船町
56	平成26年2月26日	災害復旧事業(鶴地区)	沿岸広域振興局水産部漁港復旧課	向山遺跡	釜石市
57	平成26年3月6日	細地帯総合整備事業(長い手育成型) 男神・米沢・湯田地区	県北広域振興局農政課二戸農林振興センター農村整備室	上里遺跡群	二戸市
58	平成26年3月13日～14日	細地帯総合整備事業(長い手育成型) 男神・米沢・湯田地区	県北広域振興局農政課二戸農林振興センター農村整備室	段ノ船遺跡	二戸市
59	平成26年3月19日	地域道路整備事業	県南広域振興局土木部巻土木センター	戸棚遺跡及び隣接地	北上市
60	平成26年3月24日	地域道路整備事業 一般国道大川沿線本町～大船地区	沿岸広域振興局土木部岩手土木センター	可能性あり。寺庭遺跡、寺庭道路隣接地 可能性あり	岩手町

3 分布調査一覧

No.	道跡コード	道跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1 大船病院・山田病院・高田病院新築								
1	MG32-2214	寺野道跡隣接地				大船町小船第22地塊内	平成25年4月13日	影響なし
2		可能性あり①				山田町藏原第14地塊内	平成25年4月9日	要試掘
3						跨原高田市高田町大田地内	平成25年4月15日	影響なし
2 道路彌うり調査費 (H25地域通報道路整備事業予定)								
No.	道跡コード	道跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		可能性あり②				一関市南武字石谷地内	平成25年3月27日	要試掘
3 中山間地域能代整備事業 上小田代よどぎ沢地区								
No.	道跡コード	道跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						州市江刺区田代地内	平成25年4月4日	影響なし
4 恵賀体育会易賀整備事業 福ノ瀬地区								
No.	道跡コード	道跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE25-1065	小十文字道跡	圓文・奈良・平安		集落跡	州市山田区南御宇字小十文字地内	平成25年4月4日	要試掘
2	NE25-2033	石行道跡	圓文・古代		散布地	州市山田区南御宇字石行地内	平成25年4月4日	要試掘
3	NE25-1203	国文御道跡	圓文		散布地	州市山田区南御宇字国文御道	平成25年4月4日	影響なし
4	NE25-1332	桃谷田道跡	圓文・古代		散布地	州市山田区南御宇字桃谷田地内	平成25年4月4日	要試掘
5	NE25-1313	片子竹道跡	圓文・古代		散布地	州市山田区南御宇字片子竹地内	平成25年4月5日	要試掘
6	NE25-2205	森下道跡隣接地				州市山田区南御宇字森下地内	平成25年4月4日	要試掘
7	NE25-1375	見分川道跡	平安		生産跡	州市山田区南御宇字見分地内	平成25年4月4日	要試掘
5 中山間地域能代整備事業 安岩地区								
No.	道跡コード	道跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE24-1140	土崎道跡	圓文		散布地	州市山田区若柳字土崎地内	平成25年4月4日	要試掘
2	NE23-2308	赤洲道跡	圓文		散布地	州市山田区若柳字赤洲地内	平成25年4月4日	要試掘
3	NE24-1090	赤洲山道跡	圓文		散布地	州市山田区若柳字赤洲山地内	平成25年4月4日	要試掘
4	NE25-1154	宮沢山道跡群	圓文		散布地	州市山田区若柳字宮沢山地内	平成25年4月4日	要試掘
5	NE23-2204	宮沢山道成城道跡	圓文		散布地	州市山田区若柳字宮沢山成城道地内	平成25年4月4日	要試掘
6	NE22-23196	宮沢山道隣接地	圓文		散布地	州市山田区若柳字宮沢山銀堂地内	平成25年4月4日	要試掘
7	NE23-2124	青岡山道跡	圓文		散布地	州市山田区若柳字青岡山地内	平成25年4月4日	要試掘
8	NE22-2353	青岡山道隣接地	圓文		散布地	州市山田区若柳字青岡山道隣接地内	平成25年4月4日	要試掘
9		可能かあり(上愛ノ瀬原道跡隣接)				州市山田区若柳字上愛原地内	平成25年4月4日	要試掘
10	NE22-2310	三木道跡	圓文		散布地	州市山田区若柳字林尻地内	平成25年4月4日	要試掘
11		可能かあり②(青坂道跡・三木道跡隣接)				州市山田区若柳字宮坂地内	平成25年4月4日	要試掘
12	NE21-2308	旧六山駒跡	中世～現代		生産跡	州市山田区若柳字馬止地内ほか	平成25年4月4日	影響なし
13	NE33-0229	十ヶ村道跡	圓文		散布地	州市山田区若柳字下横沢村地内	平成25年4月4日	要試掘
14	NE33-0371	若柳山中道跡	平安		散布地	州市山田区若柳字下横沢山中道地内	平成25年4月4日	要試掘
15		可能かあり(小山森道跡隣接)				州市山田区若柳字上横沢地内	平成25年4月4日	要試掘
16	NE33-0055	萩森山道跡	圓文・野生		散布地	州市山田区若柳字上萩森地内	平成25年4月4日	要試掘
17	NE22-2387	上横沢山道跡	圓文		散布地	州市山田区若柳字上横沢山道地内	平成25年4月4日	要試掘
6 経営体育会易賀整備事業 藤ノ瀬地区								
No.	道跡コード	道跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		作原敷道跡隣接				州市山田区南御宇字作原地内	平成25年4月5日	要試掘
2	NE24-0399	若坂道跡	圓文・古代		散布地	州市山田区若柳字若坂地内	平成25年4月5日	要試掘
3	NE24-1329	若柳山中道跡	中世		城址地	州市山田区南御宇字若柳山中道地内	平成25年4月5日	要試掘
4	NE24-1378	芦の門道跡	圓文・平安		散布地	州市山田区若柳字芦の門地内	平成25年4月5日	要試掘
5	NE24-2300	十ヶ村道跡	圓文・古代		散布地	州市山田区小字下十ヶ字地内	平成25年4月5日	要試掘
6		土崎道跡隣接				州市山田区若柳字土崎地内	平成25年4月5日	要試掘
7	NE24-1335	山田道跡	中世		城址地	州市山田区若柳字明神下地内	平成25年4月5日	要試掘
8	NE24-0188	明神下道跡	平安		散布地	州市山田区若柳字土崎地内	平成25年4月5日	要試掘
7 鳥城山城跡事業 (経営体育会) 武道地区								
No.	道跡コード	道跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	KE57-1101	八幡道跡	中世		城址跡	唐津市玉山町下羽田字下武道地区	平成25年4月10日	要試掘
2		八幡道跡隣接				唐津市玉山町下羽田字下武道地区	平成25年4月10日	要試掘
3	KE57-1181	鶴塚御道跡	中世		城址跡	唐津市玉山町下羽田字鶴塚地内	平成25年4月10日	影響なし
4	KE57-1155	鶴御道跡	圓文		城址跡	唐津市玉山町下羽田字鶴御道地内	平成25年4月10日	影響なし
5	KE57-1125	武道山道跡	圓文		散布地	唐津市玉山町下羽田字武道山地内	平成25年4月10日	影響なし
6	KE57-0192	武道山道跡	圓文		散布地	唐津市玉山町下羽田字武道山地内	平成25年4月10日	影響なし
7	KE57-0197	武道山道跡	圓文		散布地	唐津市玉山町下羽田字武道山地内	平成25年4月10日	影響なし
8 経営体育会易賀整備事業 和賀山瀬地区								
No.	道跡コード	道跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	MHE3-1296	上里寺道跡	圓文		集落跡	北上市和賀町御保3地頭地内	平成25年4月11日	要試掘
2		可能かあり③				北上市和賀町御保8地頭地内	平成25年4月11日	要試掘
3	MHE3-0194	花賀畠上道跡	平安		散布地	北上市和賀町御保8号地内	平成25年4月11日	要試掘
4		可能かあり④				北上市和賀町御保8号地内	平成25年4月11日	要試掘
5	MET3-0236	望野山道跡	圓文		散布地	北上市和賀町御保8号地内	平成25年4月11日	要試掘
6		可能かあり⑤				北上市和賀町御保8号地内	平成25年4月11日	要試掘
7	MET3-1281	神楽道跡	圓文		散布地	北上市和賀町御保8号地内	平成25年4月11日	重要遺跡
9 広域河川改修事業 和賀山瀬地区								
No.	道跡コード	道跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	ME25-1111	掛山道跡	圓文・中世		集落跡	遠野市附山町安田台地内	平成25年4月12日	要試掘
2	MF25-1165	南村道跡	圓文		散布地	遠野市附山町安田台地内	平成25年4月12日	要試掘
3		可能かあり				遠野市附山町安田台地内	平成25年4月12日	要試掘

10 豊島整備事業(通作条件付箇) 上野地区								
No.	道路コード	道路名	時代	道網・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	JF10-1050	下村向	詞文・古代	詞文土器・土師器	散布地	一戸字小平田・下村向・大沢	平成25年4月25日	要試掘
2	JF19-2339	大沢通路	詞文・平安		散布地	一戸字一戸町・一戸字大沢	平成25年4月25日	要試掘
3	JF20-0064	上野通路	詞文・中世		集落跡	一戸字一戸町・一戸字上野・字北館	平成25年4月25日	要試掘
4	JF10-1050	一戸田中通路	詞文・平安		散布地	一戸町一戸町・一戸字中	平成25年4月25日	要試掘
5	JF20-1142	上地切口道路	古代(平安)		集落跡	一戸町別所字上地切	平成25年4月25日	要試掘
11	中山間地域総合整備事業大瀬水地区(霞道・新井出線)					根北広域振興局農政部・戸農林振興センター農村整備室		
No.	道路コード	道路名	時代	道網・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	JF92-0032	上新井田	詞文		散布地	軽米町大字山内字上新井田	平成25年4月25日	要試掘
2	JF91-0358	小屋戸5	詞文		散布地	軽米町大字山内字小屋戸	平成25年4月25日	要試掘
12	一般県道新古賀線在郷～施術町施用道路災害防除工事					治印広域振興局土木部彦古木セクター		
No.	道路コード	道路名	時代	道網・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LG24-2111	施術町通路	中世		散居跡?	古吉山郷野原町境内	平成25年5月7日	要監査なし
13	農林省立農業整備事業 德山田地区					根北広域振興局農政部農村整備室		
No.	道路コード	道路名	時代	道網・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LE47-2090	白沢X V道跡	平安		散布地	矢吹町大字白沢第2地割地内	平成25年5月13日	要協議
2	LE47-0071	飯島I 道跡	古代		散布地	飯島町大字飯島第9地割地内	平成25年5月13日	要協議
3	LE47-2039	越谷地 道跡	古代		城跡跡	矢吹町大字越谷地第6地割地内	平成25年5月13日	要協議
4	LE47-2090	重島 道跡	平安		散布地	矢吹町大字重島野々字15地割地内	平成25年5月13日	要監査なし
5	LE47-2203	下道通路	詞文・古代		散布地	矢吹町大字重島第11地割地内	平成25年5月13日	要監査なし
14	地域連携道路整備事業(霞道交付金) 今泉地区					治印広域振興局土木部大船渡土木セクター		
No.	道路コード	道路名	時代	道網・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NF07-1020	中井通路	詞文		散布地	跡高町大字氣仙沼今泉地内	平成25年5月14日	要試掘
15	中山間地域総合整備事業 小野々地区					根北広域振興局農政部農業整備センター		
No.	道路コード	道路名	時代	道網・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						根北市萩原町境内	平成25年5月21日	要監査なし
16	ため池等整備事業(原則、現存施設有効活用する等)					根北広域振興局農政部農村整備室		
No.	道路コード	道路名	時代	道網・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	KE46-1338	学校尾敷設跡	詞文		散布地	盛岡市玉山字学校内	平成25年6月3日	現取工事
2	KD66-2260	大崎IV道跡	詞文		散布地	南川町大字子砂崎地内	平成25年6月3日	現取工事
3	KE76-1276	野沢V道跡	詞文		散布地	南川町大字子砂地内	平成25年6月3日	現取工事
4	KE76-1265	追久保 I 道跡	詞文		散布地	南川町大字追久保	平成25年6月3日	現取工事
5	KE76-1283	追久保II 道跡	詞文		散布地	南川町大字追久保深地内	平成25年6月3日	現取工事
6	KE76-2049	追久保間道跡	詞文		散布地	南川町大字追久保深地内	平成25年6月3日	現取工事
7	KE86-0000	木戸川通路	詞文		集落跡	南川町大字木戸子大石窪	平成25年6月3日	現取工事
8	KE85-0379	御坂道跡	詞文		集落跡	南川町大字御坂御坂?	平成25年6月3日	現取工事
9	KE85-0343	舟寄I 2 道跡	詞文		散布地	南川町大字舟寄舟寄地内	平成25年6月3日	現取工事
10	KE85-0352	舟寄IV 道跡	詞文・歩生・平安		集落跡	南川町大字舟寄舟寄地内	平成25年6月3日	現取工事
11	KE85-0363	舟寄XV道跡	詞文・歩生・古墳・平安		散布地	南川町大字舟寄舟寄XV地内	平成25年6月3日	現取工事
12	KE85-0390	舟寄XVI V道跡	詞文		散布地	南川町大字舟寄舟寄XVI地内	平成25年6月3日	現取工事
13	KE85-1229	舟寄XVII 通路	詞文		集落跡	南川町大字舟寄舟寄XVII地内	平成25年6月3日	現取工事
14	KE85-1229	舟寄XVIII II 道跡	詞文・平安		散布地	南川町大字舟寄舟寄XVIII地内	平成25年6月3日	現取工事
15	KE85-1265	舟寄XIX V 道跡	詞文・歩生		散布地	南川町大字舟寄舟寄XIX地内	平成25年6月3日	現取工事
16	KE85-1274	けや木の引地道地跡	詞文・歩生・平安		集落跡	南川町大字けや木引地内	平成25年6月3日	現取工事
17	KE85-2226	外山田道跡	詞文・古代		散布地	南川町大字外山田地内	平成25年6月3日	現取工事
18	KE85-2226	外山 I 道跡	詞文・歩生・平安		集落跡	南川町大字外山田地内	平成25年6月3日	現取工事
19	KE85-2234	外山IV道跡	詞文・歩生		散布地	南川町大字外山田地内	平成25年6月3日	現取工事
20	KE85-2189	外山V道跡	詞文・平安		散布地	南川町大字外山田地内	平成25年6月3日	現取工事
21	KE95-0029	平坂足 I 道跡	詞文・平安		集落跡	南川町大字足平坂足地内	平成25年6月3日	現取工事
22	KE95-0029	平坂足 II 道跡	詞文		散布地	南川町大字足平坂足地内	平成25年6月3日	現取工事
23	KE95-1101	須坂ZII 道跡	詞文		散布地	南川町須坂字外久保地内	平成25年6月3日	現取工事
24	KE95-1131	外久保間道跡	詞文		散布地	南川町須坂字外久保地内	平成25年6月3日	現取工事
25	KE95-1161	外久保II 道跡	詞文・古代		集落跡	南川町須坂外久保地内	平成25年6月3日	現取工事
26	KE95-2029	上の山道跡	詞文		集落跡	南川町御前字舟原・外久保・上原	平成25年6月3日	現取工事
27	KE95-2018	三日月神社通路	詞文		集落跡	南川町御前字上原・御前・上原	平成25年6月3日	現取工事
28	KE95-1054	大堀通路	詞文・平安		集落跡	南川町大字一堀字御前・大堀・上原	平成25年6月3日	現取工事
29	KE95-2052	上山道跡	詞文		散布地	南川町御前字上原・御前・上原	平成25年6月3日	現取工事
30	KE95-2062	上山 I 道跡	詞文		散布地	南川町御前字上山地内	平成25年6月3日	現取工事
31	KE95-0062	大沢通路	中世		城跡跡	南川町大字子沢子・豊地・豊地内	平成25年6月3日	現取工事
32	KE04-0389	熊道跡	中世		城跡跡	南川町大字熊子地内	平成25年6月3日	現取工事
33	KE04-1337	上森木道跡	詞文・歩生・平安		散布地	南川町大字上森木地内	平成25年6月3日	現取工事
34	KE04-1388	森木エノ原道跡	詞文・中世		散布地	南川町森木字森谷平・中森・御前・	平成25年6月3日	現取工事
35	KE04-2346	細屋道跡	詞文・平安		散布地	南川町大字細字白山地内	平成25年6月3日	現取工事
36	KE04-2375	白山通路	詞文・歩生・平安		散布地	南川町大字細字白山地内	平成25年6月3日	現取工事
37	KE04-2375	白山 I 道跡	詞文・古墳・奈良・平安		散布地	南川町大字細字白山地内	平成25年6月3日	現取工事
38	KE04-2382	八幡前山道跡	中世		城跡跡	南川町大字細字白山・少川隣地内	平成25年6月3日	現取工事
39	KE04-2388	千ヶ原道跡	平安		集落跡	南川町大字千ヶ原御前地内	平成25年6月3日	現取工事
17	ため池等整備事業平地区					根北広域振興局農政部・戸農林振興センター農村整備室		
No.	道路コード	道路名	時代	道網・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	JF50-0059	下野尻通路	詞文	詞文土器	散布地	一戸町平野字下野尻	平成25年6月3日	現取工事
2	JF50-1142	野尻川道跡	詞文	詞文土器	散布地	一戸町平野字野尻	平成25年6月3日	現取工事
3	JF50-0342	名子松IV道跡	詞文	詞文土器	散布地	一戸町平野字名子松	平成25年6月3日	現取工事

地域連携道路整備事業（一般国道340号立矢崎町はいだ地区、主要地方道赤茂平島大沢～浜田日
地区ほか6地区、一般県道宮古山川横瀬・豊岡地区）

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

No.	道路コード	道路名	時代	道幅・面積	種別	所在地	調査日	備考
1	FL98-2170	新田遺跡	縦文	土器片	散布地	宮古市立丸崎内地	平成25年6月10日	要試験
2		可能性あり1（新田遺跡北東側）				宮古市立丸崎内地	平成25年6月10日	要試験
3		可能性あり2（新田遺跡南西側）				宮古市立丸崎内地	平成25年6月10日	影響なし
4	LF118-1335	船井内西道跡	縦文		散布地	宮古市舟井内字清水地内	平成25年6月11日	要試験
5		可能性あり1				宮古市舟井内字清水地内	平成25年6月11日	要試験
6		可能性あり①				山田町大沢内地	平成25年6月12日	要試験
7		可能性あり②				山田町大沢内地	平成25年6月12日	要試験
8	LG84-2227	大沢遺跡	中世	道幅	城跡地	山田町大沢内地	平成25年6月20日	要試験
9		可能性あり③				山田町大沢内地	平成25年6月20日	要試験
10	LG84-2273	紅山ノ遺跡	縦文	土器片	集落跡	山田町大沢内地	平成25年6月20日	要試験
11		可能性あり④				山田町大沢内地	平成25年6月20日	要試験
12	LG84-2381	浜川口沢田Ⅱ遺跡	縦文	道幅	集落跡	山田町大沢内地	平成25年6月20日	要試験
13	LG84-2493	浜川口沢田Ⅲ遺跡	縦文	土器等	集落跡	山田町大沢内地	平成25年6月20日	要試験
14		可能性あり⑤				山田町大沢内地	平成25年6月20日	要試験
15	LG85-0183	川代遺跡	縦文		散布地	宮古市重利第22地瀬田代本坂地内	平成25年6月13日	要試験
16	LG75-1238	石頭ノ遺跡	縦文		集落跡	宮古市重利第16地瀬石頭地内	平成25年6月13日	影響なし
17	LG75-0248	千鶴ノ遺跡	縦文	道幅・面積	集落跡	宮古市重利第12地瀬上野地内	平成25年6月13日	要試験
18						宮古市里地内	平成25年6月13日	影響なし
19	LG54-0113	小船ノ遺跡	縦文・伴生・奈良		集落跡	宮古市赤神地内	平成25年6月21日	要試験
20	LG54-0113	船内IV遺跡	縦文・伴生・奈良		集落跡	宮古市赤神地内	平成25年6月21日	要試験
21		可能性あり				宮古市赤神地内	平成25年6月21日	要試験
22	LG54-0123	小船ノ遺跡				宮古市赤神第14地瀬小船内	平成25年6月19日～20日	要試験
23	LG54-0142	小船内田遺跡	縦文・奈良	散歩道		宮古市赤神町第14地瀬小船内	平成25年6月19日～20日	要試験
24	LG54-0160	赤頭ノ屋屋ノ遺跡	縦文・古代・近世	散歩道		宮古市赤神町第13地瀬屋屋ノ頭	平成25年6月19日～20日	要試験
25	LG54-0089	赤頭ノ屋屋ノ遺跡	縦文・古代	散布地		宮古市赤神町第12地瀬屋屋ノ頭	平成25年6月19日～20日	要試験
26	LG54-1025	可能性あり				宮古市赤神第12地瀬屋屋ノ頭	平成25年6月19日～20日	要試験
27	LG63-2133	羽々の下I遺跡	縦文		散布地	山田町阿摩根地内	平成25年6月12日	影響なし
28	LG63-2153	羽々の下II遺跡	縦文・古代	散歩道、生糸道		山田町阿摩根地内	平成25年6月12日	影響なし

19 広域公園整備事業（施設）御所浦広域公園整備（矢板地区） 沿岸広域振興局土木部

No.	道路コード	道路名	時代	道幅・面積	種別	所在地	調査日	備考
1	LE23-2240	町場V遺跡	縦文（時期不明）	土器・土器	測量	平石町西安庭第47地瀬	平成25年6月11日	要試験
2	LE23-2169	町場V遺跡	縦文（時期不明）		散布地	平石町西安庭第46地瀬	平成25年6月11日	要試験

20 河原川災害復旧事業 二级市道沿の河岸の開削 岩の原地区 沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

No.	道路コード	道路名	時代	道幅・面積	種別	所在地	調査日	備考
29	KG84-1259	津浦澤I遺跡	縦文		散布地	宮古市田字重津澤地内	平成25年6月12日	要試験
29		河原川災害復旧事業 一般国道343号～ノ通地区						

21 地域連携道路整備事業 一般国道282号八坂神社工区 沿岸広域振興局土木部・開土木センター

No.	道路コード	道路名	時代	道幅・面積	種別	所在地	調査日	備考
1						一関市大東町原字一ノ浦～松ノ木田内	平成25年6月27日	影響なし

22 社会資本総合交付金（復興特）事業【地域連携道路整備事業】一般国道281号 久慈山田町案内工区 沿岸広域振興局土木部

No.	道路コード	道路名	時代	道幅・面積	種別	所在地	調査日	備考
1	JF46-1064	外山VII遺跡	縦文	土器・土器	散布地	山田町川井2地瀬	平成25年7月13日	影響なし
2		歩行空間整備事業 一般国道282号八坂神社工区						

23 歩行空間整備事業 一般国道282号八坂神社工区 沿岸広域振興局土木部原手手木セシナ

No.	道路コード	道路名	時代	道幅・面積	種別	所在地	調査日	備考
1						八幡市大更地区	平成25年7月4日	影響なし

24 (仮称) 開拓スマートインターチェンジ設置

No.	道路コード	道路名	時代	道幅・面積	種別	所在地	調査日	備考
1								
2	KI95-1277	大久保遺跡	縦文	道幅	散布地	御前村高字大久保地内	平成25年7月25日	要試験
2	KI95-1226	高尾原ノ遺跡	縦文		散布地	御前村高字高尾原平地内	平成25年7月25日	要試験

25 経済育成基盤整備事業 久慈地区

No.	道路コード	道路名	時代	道幅・面積	種別	所在地	調査日	備考
1								
2		可能性あり1				一関市真庭内地内	平成25年6月1日	要試験
2		可能性あり2				一関市真庭内地内	平成25年8月1日	要試験
3		可能性あり3				一関市真庭内地内	平成25年8月1日	要試験
4		可能性あり4				一関市真庭内地内	平成25年8月1日	要試験
5		可能性あり5				一関市真庭内地内	平成25年8月1日	要試験
6		可能性あり6				一関市真庭内地内	平成25年8月1日	要試験
7		可能性あり7				一関市真庭内地内	平成25年8月1日	要試験
8		可能性あり8				一関市真庭内地内	平成25年8月1日	要試験
9		可能性あり9				一関市真庭内地内	平成25年8月1日	要試験
10		可能性あり10				一関市真庭内地内	平成25年8月1日	要試験
11		可能性あり11				一関市真庭内地内	平成25年8月1日	要試験
12		可能性あり12				一関市真庭内地内	平成25年8月1日	要試験

26 県民交通安全設営整備事業 宇南田地区歩道設置工事地域づくり緊急改善事業 一般国道281号中田地区側溝整備工事

No.	道路コード	道路名	時代	道幅・面積	種別	所在地	調査日	備考
1	NE12-2353	宇南田遺跡	平安		集落跡	奥州市駒形区南御田字宇南田地内	平成25年8月16日	発見・立証
2	NE15-2256	要害遺跡（左々井館遺跡）	平安・近世	散歩道・城跡地		奥州市駒形区南御田字木本地内	平成25年8月16日	確認
3	NE29-2125	宿ノ井遺跡	弥生		散布地	奥州市駒形区川脇字宿ノ井地内	平成25年8月16日	確認

27 中山町地域総合防災事業 鹿地区

但馬広域振興局農政部・農村整備センター

No.	道路コード	道跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		可能性あり1				一関市大東町市民	平成25年8月21日	要試掘
2		可能性あり2				一関市大東町市民	平成25年8月21日	要試掘
3	MH01-0118	和田沢跡及び隣接地	銅文	鏡文土器、石器	散布地	一関市大東町市民	平成25年8月21日	要試掘
4		可能性あり3				一関市大東町市民	平成25年8月21日	要試掘
5		可能性あり4				一関市大東町市民	平成25年8月21日	要試掘
6		可能性あり5				一関市大東町市民	平成25年8月21日	要試掘
7		可能性あり6				一関市大東町市民	平成25年8月21日	要試掘
8		可能性あり7				一関市大東町市民、神田	平成25年8月21日	要試掘
9		可能性あり8				一関市大東町市民、神田	平成25年8月21日	要試掘
10		可能性あり9				一関市大東町市民、神田	平成25年8月21日	要試掘
11		可能性あり10				一関市大東町市民、神田	平成25年8月21日	要試掘
12		可能性あり11				一関市大東町市民、黒沢	平成25年8月21日	要試掘
13		可能性あり12				一関市大東町市民	平成25年8月21日	要試掘
14		可能性あり13				一関市大東町市民	平成25年8月21日	要試掘
15		可能性あり14				一関市大東町市民	平成25年8月21日	要試掘

28 農村災害対策整備事業 沿本地區

但馬広域振興局長農政部・農業整備センター

No.	道路コード	道跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						花谷市志摩町内	平成25年8月21日	影響なし
29 農地整備事業(通作条件整備)春耕2期地区								
No.	道路コード	道跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						志岡市玉山区	平成25年8月21日	影響なし
30 農村地域防災減災事業 丹波地区								
No.	道路コード	道跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						弓手町川原第18番地跡山下地内	平成25年8月21日	影響なし
31 中山町地域総合防災事業 江潤地区								
No.	道路コード	道跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	JF83-1290	小森道跡	銅文	石器	散布地	慈布市江利町内	平成25年9月1日	要試掘
32 中山町地域総合防災事業上野地区								
No.	道路コード	道跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		可能性あり1				一関市室町久越	平成25年9月1日	要試掘
2		可能性あり2				一関市室町久越	平成25年9月1日	要試掘
3		可能性あり3				一関市室町久越	平成25年9月1日	要試掘
4		可能性あり4				一関市室町久越	平成25年9月1日	要試掘
5		可能性あり5				一関市室町久越	平成25年9月1日	要試掘
6		可能性あり6				一関市室町久越	平成25年9月1日	要試掘
7		可能性あり7				一関市室町久越	平成25年9月1日	要試掘
8		可能性あり8				一関市室町久越	平成25年9月1日	要試掘
9		可能性あり9				一関市室町久越	平成25年9月1日	要試掘
10		可能性あり10				一関市室町久越	平成25年9月1日	要試掘
11		可能性あり11				一関市室町久越	平成25年9月1日	要試掘
33 農地等災害復旧事業(H25大船渡工区)								
No.	道路コード	道跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	MG21-2096	泊目塚	銅文			泊目塚市二陸町泊目字泊、小泊地内	平成25年8月21日	要試掘
2	NF49-0294	久居稻山遺跡	銅文			泊目塚市赤崎町稻山地内	平成25年8月21日	要重工事
3	NF94-1265	生形貝塚(生形館と複合)	銅文			泊目塚市赤崎町生形地内	平成25年8月21日	要試掘
4	NF49-1341	大洞貝塚	銅文			泊目塚市赤崎町大洞内	平成25年8月21日	要試掘
5	NF69-2084	門之浜遺跡	銅文・平安			泊目塚市赤崎町門之浜、各務地区	平成25年8月21日	要重工事
34 農地等災害復旧事業								
No.	道路コード	道跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						泊目塚市西浦町泊、泊内地内	平成25年9月1日	要試掘
2						泊目塚市赤崎町泊地内	平成25年9月1日	要重工事
3						泊目塚市赤崎町泊地内	平成25年9月1日	要試掘
35 農地等災害復旧事業								
No.	道路コード	道跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						泊目塚市高田町氣仙町中野、土手影、木場地内	平成25年9月4日	影響なし
36 農地等災害復旧事業								
No.	道路コード	道跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						泊目塚市高田町氣仙町中野、土手影、木場地内	平成25年9月4日	影響なし
37 農地等災害復旧事業								
No.	道路コード	道跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						泊目塚市高田町氣仙町、竹駒町、乍作町、高田町、米崎町、小友町地内	平成25年9月4日	影響なし
38 地域淮干保全施設灾害復旧事業 一般田原野伏見屋継続地の2地区								
No.	道路コード	道跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NF78-0166	島崎1遺跡	土器類			跨境高田市小友町子母島地内	平成25年9月4日	要重工事
2	NF78-0178	船引1遺跡	銅文			跨境高田市小友町子母谷地内	平成25年9月4日	要重工事
39 農地等災害復旧事業								
No.	道路コード	道跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						跨境高田市氣仙町、竹駒町、乍作町、高田町、米崎町、小友町地内	平成25年9月5日	影響なし
40 地域淮干保全施設灾害復旧事業 一般田原野伏見屋継続地の木センターライン								
No.	道路コード	道跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LE46-0144	桜山1遺跡	古代		キャンプ場	矢守町大字桜山第19番地桜木ノ木地内	平成25年9月19日	要試掘

40	宇部川地区農業基盤整備事業					幕北広域振興局農政部農村整備室	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	JG51-1032 JG50-1319 JG50-1308	中新山遺跡 上新山一帯跡 上新山遺跡	縄文・古代 江戸時代 古代		散布地 一部限 集落跡	久慈市宇都御町、野田村大字野田字中 新山地内	
41	地域合意活性化交付金事業					幕北広域振興局土木部・二戸木セセンター	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	IP92-1056	まつこ遺跡	縄文・古代	圓文土器、土質 器	散布地	駒木町大清水地内	
42	農地等災害復旧事業					沿岸広域振興局農林部	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	MG52-0239	泉石屋敷跡	縄文	圓文・漆片。石 器	集落跡	釜石市駒住第25地割	
2	MG53-1008 MG53-0097 MG53-0092	夏本遺跡 尻山遺跡 扶井遺跡	縄文、古代 縄文、平安 中世	圓文・漆片。石 器、漆器 漆器、土器 漆器、城館跡	散布地 一部限 城館跡	大槌町大槌第24・23地割	
3						釜石3工区	
4						釜石9工区	
43	復旧整備治水事業					沿岸広域振興局農林部大槌丘陵林務振センター・農村整備室	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	NP28-0129	松原遺跡				大槌坂市日頃町字岡谷	
44	治山治水、面積地区					県南広域振興局林務課	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	NE57-0129	西原遺跡	圓文後期・中世	石器、石器片 鐵器	散布地 城館跡	广州市前河口生母字西瀬	
45	北上川流域地区治水対策事業					岩手河川国道事務所	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	OE49-1088	曲田舎(大内郡)	中世	丹戸鉢、猿耳 城館跡	勝沼町黄海字曲田舎内	平成25年10月24日	
2	OE49-2092	青葉之城 (東井戸鉢、東館)	室町	曲輪、土塁、空 堀、油井、腰壁	城館跡	花巻市井手字角屋	平成25年10月24日
46	ため池等整備事業大川田地区					幕北広域振興局農政部農村整備室	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	JF38-0225	外里遺跡	縄文		集落跡	久慈市大川田町19地割地内	
47	ため池等整備事業大川田地区					幕北広域振興局農政部農村整備室	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	JF38-0255	外里遺跡	縄文		集落跡	久慈市大川田町19地割地内	
48	一関港水事事業(第3避水地 潟草木門)					国土交通省東北地方開発局岩手河川国道事務所	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	NE76-2347	宿原船(曳城)	中・近世		城館跡	平泉町長島字須崎	
49	一関港水事事業(第3避水地 管理用通路)					国土交通省東北地方開発局岩手河川国道事務所	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	NE87-1186	平糞跡	縄文・古代		散布地	一関市舞川字平	
2	NE87-2137	川岸遺跡	縄文		散布地	一関市舞川字川岸	
50	一関港水事事業(第2避水地 小堤)					国土公津商東北地方整備局岩手河川国道事務所	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	NE56-1215	月瀬I遺跡	縄文・平安・中 世		散布地	平泉町長島字月瀬	
51	主要地方道二戸五日市藤沢川原地区調整整備事業					幕北広域振興局土木部・二戸木セセンター	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	JE36-1272	金森遺跡	縄文		散布地・ 配石	二戸市淨法寺町御保11・鏡見橋	
52	一般国道340号赤石地区道路整備事業					幕北広域振興局土木部・二戸木セセンター	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	JF95-2325	玉川鉢山B遺跡	近世		耕作地	鶴来町大字小字鉢山字屋敷	
2	JF95-1384	玉川鉢山A遺跡	近世		耕作地	鶴来町大字小字鉢山字屋敷	
3	JF96-2163	赤石村東の沢	近世		耕作地	鶴来町大字小字鉢山字野々	
53	一般国道340号長岡寺跡地区道路整備事業					幕北広域振興局土木部・二戸木セセンター	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	JF12-1148	漆沢田遺跡	縄文・古代		散布地	九戸村長瀬寺11・20・1号	
2	JF12-1179	大道寺遺跡	縄文・古代		散布地	九戸村長瀬寺9・87号	
3	JF12-1251	沖遺跡	縄文・古代		散布地	九戸村長瀬寺10・47号	
54	川内川上事業若吉里甲斐地区及び白浜(鍋)地区					沿岸広域振興局水資源開拓課	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1	MG34-0062	赤羽根跡	近世		経界	大槌町古里吉里30地番字白山	
2	MG34-0064	向畠遺跡	中世		城館跡	大槌町古里吉里四丁目	
55	地域づくり緊急改善事業 宮野地区					沿岸広域振興局土木部大槌七木セセンター	
No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺物・遺物	種別	所在地	
1						大槌町二郎町宮野地内	

No.	道跡コード	道跡名	時代	通納・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LG04-0157	羽衣 I 道跡	縄文		散布地	山田町大沢原中地内	平成25年12月10日	影響なし
2	LG84-2393	羽衣日御碭II 道跡	縄文		散布地	山田町大沢原日御碭地内	平成25年12月10日	要試掘
3	MG05-0039	施馬遺跡	縄文		散布地	山田町施馬地内	平成25年12月10日	影響なし
4	MG05-0171	司馬只塚	縄文, 不明		只塚、散布地	山田町大沢浜日地内	平成25年12月11日	要試掘
5	MG14-0376	羽衣の浜原遺跡及び隣接地	中世		城郭跡	山田町船越地内	平成25年12月3日	要試掘
6	MG14-0321	羽衣瀬遺跡	縄文		集落跡	山田町船越地内	平成25年12月3日	要試掘
7	MG14-0310	船越湖所遺跡	縄文, 中世		城郭跡	山田町船越地内	平成25年12月3日	要試掘
8	MG14-0217	船越V 道跡	縄文		散布地	山田町船越西泊地内	平成25年12月3日	影響なし
9	MG14-0202	船越西泊遺跡	縄文, 中世、不明		散布地、城郭跡及び鐵器・製鉄跡	山田町船越西泊地内	平成25年12月3日	影響なし
10	MG14-0222	山ノ内 I 道跡	中世		城郭跡	山田町船越地内	平成25年12月11日	影響なし
57	一般国道4号線 三ヶ尻交差点改良事業						国土交通省東北地方整備局岩手川河川国道事務所	
No.	道跡コード	道跡名	時代	通納・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						金ヶ崎町三ヶ尻地内	平成25年12月6日	影響なし
58	一般河川伊豆利根野南地区河川災害復旧工事						県南広域振興局土木部	
No.	道跡コード	道跡名	時代	通納・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE09-2111	菅原遺跡	縄文		集落跡	奥州市江刺区菅原字菅原地区	平成25年12月6日	影響なし
59	一般河川荒谷川伊豆利根野南地区河川災害復旧工事						県南広域振興局土木部	
No.	道跡コード	道跡名	時代	通納・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE09-1329	久我遺跡	平安		散布地	奥州市江刺区久我地内	平成25年12月6日	影響なし
2	NE01-1358	神馬道跡	縄文		祭祀跡	奥州市江刺区伊手側和地内	平成25年12月6日	影響なし
60	中山間地域総合整備事業 直野地区						県南広域振興局農政部	
No.	道跡コード	道跡名	時代	通納・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE34-1228	北小原遺跡	平安		散布地	奥州市郡石小字北小原地内	平成25年12月18日	要試掘
2	NE35-2002	笠原山遺跡	縄文		散布地	奥州市郡石小字笠原山地内	平成25年12月18日	要試掘
62	経済育成基盤整備事業 宮城北地区						県南広域振興局農政部 農村整備室	
No.	道跡コード	道跡名	時代	通納・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE34-1070	林井 I 道跡	平安		集落跡	奥州市水沢区真城字延地内	平成25年12月19日	要試掘
63	経済育成基盤整備事業 宮城南地区						県南広域振興局農政部 農村整備室	
No.	道跡コード	道跡名	時代	通納・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	NE36-0247	小林下遺跡	平安		散布地	奥州市水沢区真城町小林下地内	平成25年12月19日	要試掘
2	NE36-1265	吉者遺跡	中・近世		城郭跡	奥州市水沢区真城字吉者地内	平成25年12月19日	要試掘
3	NE36-1297	北祖遺跡	中世		環濠居址	奥州市水沢区古城字北祖地内	平成25年12月19日	要試掘
64	北上川上流域治水対策事業 下曲田地区						国土交通省東北地方整備局岩手川河川道事務所	
No.	道跡コード	道跡名	時代	通納・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	OE49-1088	御山田開拓地				一関市藤沢町海賊字御山田地内	平成26年1月22日	要観察
65	地域連携活性化整備事業(国造340号) 恵津津野石狩市場跡付替工事						沿岸広域振興局土木本部宮古土木センター	
No.	道跡コード	道跡名	時代	通納・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LF19-2060	磐美道跡	縄文・中世・近世 有		集落跡	宮古市磐井串内地内	平成26年1月26日	要試掘
2		河岸性あり(磐美道跡隣接)				宮古市磐井串内地内	平成26年2月1日	要試掘
66	地域連携活性化整備事業(国造340号) 恵津津野石狩市場跡付替工事						沿岸広域振興局土木本部宮古土木センター	
No.	道跡コード	道跡名	時代	通納・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LG35-1207	津軽石大森遺跡	縄文		散布地	宮古市津軽石大森地内	平成26年2月1日	影響なし
67	急傾斜地崩壊対策事業山丘五丁目地区						沿岸広域振興局土木本部宮古土木センター	
No.	道跡コード	道跡名	時代	通納・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LG23-1253	高松道跡	縄文			山丘第11地割付地内	平成26年3月11日	影響なし
68	上郷地帯災害復旧事業津軽石大森地区費用地用地災害開通路地整理事業宮古地区(津軽石・赤浜工区)						沿岸広域振興局森林整備部宮古土木センター	
No.	道跡コード	道跡名	時代	通納・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						宮古市津軽石地内	平成26年2月20日	影響なし 1~9地割
69	基幹水系施設ストックマネジメント事業						県南広域振興局農政部	農村整備室
No.	道跡コード	道跡名	時代	通納・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	U1	鳥島遺跡	縄文			奥州市水沢区鳥島字鳥島地内	平成26年3月11日	影響なし

4 工事立会一覧

No.	調査項目	事業名	事業者	道跡名	所在地
1	平成25年4月16日	経営体育基盤整備事業 那島3期地区	県南広域振興局農政部農村整備室	漆町道路	奥州市
2	平成25年4月18日	小沢地区子防治山工事	宮古農林振興センター林務室	小沢Ⅱ大上道路	宮古市
3	平成25年4月18日	根市地区子防治山工事	宮古農林振興センター林務室	下根市遺跡	宮古市
4	平成25年5月17日	経営体育基盤整備事業 日形地区	県南広域振興局農政部一閑農村整備センター	小野道路	一閑市
5	平成25年5月30日	一般国道106号宮古西道路地域連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	田舎東山頭道路	宮古市
6	平成25年9月9日	和賀中部農業水利事業 右岸導水幹線用水路調整 湖建設工事 右岸地区内幹線用水路 導水幹線用水路(その4)工事	東北農政局和賀中部農業水利事業所	南部銀田遺跡堤堰	金ヶ崎町
7	平成25年10月7日	経営体育基盤整備事業小瀬垣地区	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	小瀬垣振跡	花巻市
8	平成25年10月23日	盛岡地家裁庁機会設備等改修	仙台高等裁判所事務局	盛岡外曲輪路	盛岡市
9	平成25年10月24日	地域連携道路整備事業一般国道282号一本木地区 孤森1の橋下流水工事	沿岸広域振興局土木部	砂込1遺跡	南沢村
10	平成25年10月28日	ため池等整備事業 大川口地区第3号工事	県北広域振興局農政部農村整備室	中田道路	久慈市
11	平成25年10月29日	経営体育基盤整備事業 那島3期地区	県南広域振興局農西郡農村整備室	漆町道路	奥州市
12	平成25年11月1日	山田地区復旧治山工事	沿岸広域振興局農林部 宮古農林振興センター林務室	馬子母Ⅱ遺跡	宮古市
13	平成25年11月6日	太陽光発電設置整備事業(一閑工業高等学校太陽光発電設置工事)	教育企画室	筆置道路	一閑市
14	平成25年11月6日～8日	一般県道平泉停車場中尊寺雄志山地区電線共同 溝整備	県南広域振興局土木部一閑土木センター	鉢沢の池遺跡	平泉町
15	平成26年1月10日	釜石地区中書仮設公舍(仮称)整備事業	沿岸広域振興局経営企画部	中斐宝町遺跡	釜石市
16	平成26年1月14～16日	経営体育基盤整備事業 古城2期地区	県南広域振興局農政部農村整備室	下町道路	奥州市
				中根城遺跡	奥州市
				八反町遺跡	奥州市
				古城林遺跡	奥州市
17	平成26年1月27日	林草地急傾斜地崩壊対策事業 中沢の2地区急傾斜 地崩壊対策工事 ほかⅠ工事	沿岸広域振興局 大船渡土木センター	中沢浜坂	陸前高田市
18	平成26年2月4日	治水施設整備事業 一級河川市川	県南広域振興局土木部花巻土木センター	高畠Ⅱ遺跡	花巻市
19	平成26年3月7日、10日	集落基盤整備事業(地域用水型)麗婆耕原地区第6 号工事	沿岸広域振興局農政部農村整備室	紫波城跡	盛岡市
20	平成26年3月7日	経営体育基盤事業田代第二・下矢次地区第18号 工事	沿岸広域振興局農政部農村整備室	高畠道路	矢巾町
21	平成26年3月18日	三段高瀬対策事業 二級河川小本川筋小本地区左 岸堤防嵩上げ工事	沿岸広域振興局土木部羽庭土木センター	體抱遺跡	羽泉町

報告書抄録

ふりがな	いわてけんないいせきはつくちょうさほうくしょ
書名	岩手県内遺跡発掘調査報告書
研書名	平成25年度 国庫補助事業
シリーズ名	岩手県文化財調査報告書
シリーズ番号	第142集
編集者名	岩手県教育委員会
編集機関	岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課
所在地	〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL 019-629-6180
発行年月日	平成27年3月27日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東緯	調査期間	調査面積 (m ²)	調査 原因
		市町村	遺跡番号					
おじまとこ ふるでこ いせき 小島館(古館)遺跡	西磐井郡平泉町長島字古 館	3402	NE76-1383	38度 59分 8秒	141度 8分 38秒	20130821 ~0822	25	記録保存 調査
おじまとこ いせき 大宮遺跡	盛岡市本宮町大宮	3201	LE16-2035	39度 41分 1秒	141度 7分 1秒	20130507 ~0508	960	記録保存 調査
あいざと いせき 相去遺跡	北上市相去町高前樋	3206	ME75-1139	39度 15分 38秒	141度 4分 52秒	20130618 ~0621	50	記録保存 調査
あかねじ いせき 赤川Ⅲ遺跡	遠野市上郷町板沢	3208	MF56-2180	39度 17分 56秒	141度 34分 41秒	20130722 ~0820 20130909 ~1001	1,600	記録保存 調査
まちのうちあるしま いせき 町の内道下遺跡	胆沢郡金ヶ崎町六原町の 内道の下	3381	ME75-2064	39度 14分 54秒	141度 3分 50秒	20131021 ~1023	805	記録保存 調査
まちのうちあるしま いせき 町の内道上遺跡	胆沢郡金ヶ崎町六原町の 内道の上	3381	ME85-0011	39度 14分 39秒	141度 3分 45秒		1,540	
ふくいせき いせき 伍大坂Ⅱ遺跡	北上市和賀町岩崎	3206	ME64-2318	39度 16分 48秒	141度 3分 37秒	20131118 ~1122	35	記録保存 調査
ろくせん いせき 六軒遺跡	北上市上鬼柳2・3地蔵	3206	ME65-2055	39度 16分 42秒	141度 3分 48秒		10	
ほんごのいせき 本郷野遺跡	北上市和賀町堀係2地割	3206	ME63-1252	39度 17分 2秒	140度 59分 44秒	20131107 ~1108	40	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
小島館(古館)遺跡	散布地・城 館跡	绳文・中近世	土坑2		かわらけ・北宋銭			
大宮遺跡	集落跡	古代・中世	溝跡1		なし			
相去遺跡	集落跡	平安	陥し穴状遺構1		なし	繩文か		
赤川Ⅲ遺跡	散布地・狩 場	绳文	陥し穴状遺構64・土坑2		绳文土器			
町の内道下遺跡	散布地	绳文・平安	掘立柱建物跡2・溝跡2・柱穴		なし	11世紀の遺構か		
町の内道上遺跡	散布地	平安	なし		なし			
伍大坂Ⅱ遺跡	散布地	古代	堅穴住居跡1・溝跡8		なし			
六軒遺跡	散布地	平安	土坑1		土師器・須恵器			
本郷野遺跡	集落跡	绳文	土坑1		绳文土器			

岩手県文化財調査報告書 第142集
岩手県内遺跡発掘調査報告書
(平成25年度 国庫補助事業)

発行日 平成27年3月27日
発 行 岩手県教育委員会
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1
編 集 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課
印 刷 小松総合印刷㈱
〒020-0827 岩手県盛岡市鉢屋町15-4
